

### (1) 総合的な基本方針

草津川跡地公園は、先進的な公園として大きな注目を集めてきました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大をはじめ、社会情勢が大きく変化し、日本の都市公園を取り巻く状況も大きく変化しつつあります。その中で今後も、草津川跡地公園が先進的な公園でありつづけるための指定管理のあり方が、この提案では求められていると理解しています。

#### ① これからの大規模都市公園が目指すべき姿

##### ● 経営的視点を包含したサステイナブルな公園管理運営に向けた適切な公民バランス

年々厳しくなる行政の財政支出に加え、民間活力の導入が全国的に普及した社会的潮流をふまえ、公園全体が 1 つの事業として自立する経営の考え方が求められています。一方で、過度な民活導入によりパブリックスペース本来の意味を失うことのないよう、公と民の絶妙なバランスをひもとき、都市公園としての価値を向上させることが重要です。また、公園は都市緑地機能として、防災、良好な環境担保、生物生息空間など、重要な都市のインフラであり、恒久的資産として、適切な公民バランスによる維持が求められます。

##### ● 市民の日常の中に、当たり前前に市民活動が感じられる状況

新型コロナウイルスの感染拡大により、テレワークの普及や週休 3 日制、副業を斡旋する企業が増加し、自宅周辺など地域で過ごす時間が増えるなど、ライフスタイルも多様化しています。また、年齢や障害の有無に関係なく、あらゆる人を包摂する場としての屋外空間の価値が見直されています。次代の都市公園は、時代の変化に対応した新しい暮らし方や価値観を見つけられるような市民活動に出会い、参加できる場所、また、自身のやりたいことが実現できる場所としての存在であることが求められます。

##### ● 個人がまちへの投資の概念を持ち、公共空間の発展に繋げること

税金による公共施設の維持の限界もさることながら、個人が直接的にまちづくりへの出資者となり、まちへの責任と誇りをもって公共空間に関わる転換期といえます。まずはより多くの人に身近な、公園がその役割を担うことが考えられます。



## いま、草津川跡地公園に求められること

### ●全区間が完成し草津市の骨格軸となることを視野にいたした戦略的、挑戦的な管理運営の仕組みづくり（制度設計）

草津川跡地公園は、将来的に多様なキャラクターをもった区間の公園の集合体となります。快適なガーデン的区間から、商業的な区間まで、それぞれの公園区間の特性の長所をつなぎあわせた管理運営を成就させることにより、全国的にも稀にみる先進的なマネジメントパークになると考えます。



### ●公園を拠点とし、まちへとにじみ出す「健幸都市くさつ」の暮らしの拠点づくり

ウェルビーイングなライフスタイルを体現できる場所が草津川跡地公園であり、その幸せな状態をまちへと波及させていく、そんなパワーをもった公園運営が求められます。多様なライフスタイルを受容し、市民自らが、公園あるいはまちで積極的にアクションできるきっかけづくりの支援が必要です。



### ●公園の資産である市民活動、ガーデン、自主事業、そして公園で働く地域人材をはぐくみ、さらに新たな資産を創出する。

供用開始から5年経過し、公園を通じて沢山の資産が形成され、積み重ねられてきました。地域や事業者、行政とともに、その価値をさらに伸ばし、また、新たな資産を育むことが求められます。

- ・くさねっこ・グラッシー等の市民活動
- ・市民の想いをあつめたローズガーデン
- ・コンセプトブックとガイドツアー



### ●市民活動、ガーデン、自主事業の相互作用による、公園運営の次の展開へ

これまで、質の高いガーデン管理、丁寧な市民活動支援、あらゆる事業への挑戦がされてきました。第3期では、次のフェーズとして、それらを融合し新たな発展につなげていく段階と考えられます。特に、より多様な市民がガーデンにかかわり、活動していく仕組みづくりが必要です。



### ●新交通サービスや新たな制度を積極的に導入し、新しい公園をつくり続ける

草津川跡地公園は全国的な注目度が高い公園です。今後も、時代の変化を先取り、公共空間の在り方を最前線に問い続けていくことを目指します。

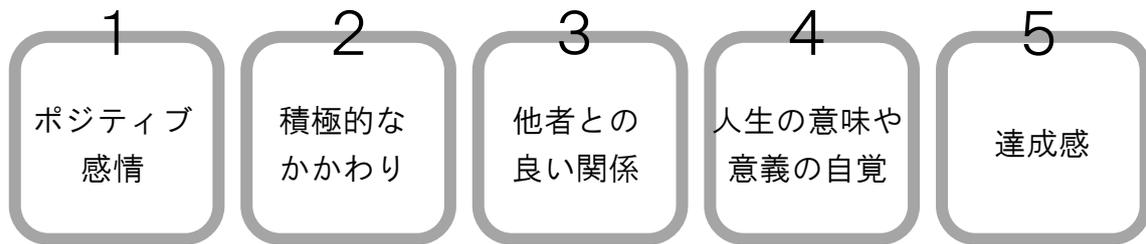


# 草津川跡地公園指定管理業務におけるコンセプト

わたしらしく暮らすまち草津を実感する公園

# Well-Being park

## 人と、まちの共創拠点へ



### ●自分らしい役割を持てる公園

草津川跡地公園を介して、多様な市民が社会に対して役割を持ち、その役割を果たすことで個人と公園、そしてまちが、良くなっていく状態が続くこと。ここでは、そのサステイナブルな状況づくりを Well-Being park と定義します。

### ●市民が誇りと愛着を感じる公園

草津川跡地公園とつむぐ新しい暮らし（ニューノーマルライフ）に、誇りと愛着をもつ市民を増やし続けます。

### ●かたち、うごき、しくみの融合

豊かなみどり空間形成をなす「かたち」、市民による市民のための活動づくりである「うごき」、新しい制度やルールを構築する「しくみ」。この3つを融合した公園の管理運営システムを導入します。

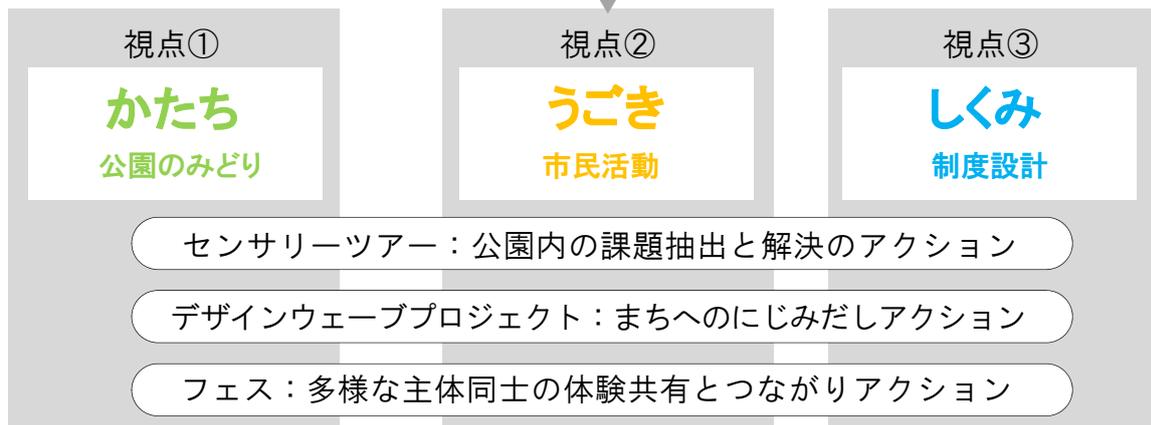
### 市が求める管理方針

- ①快適な公園の維持管理
- ②多様な主体の活動を活性化
- ③にぎわいとうるおいを創出
- ④サービスの継続的改善
- ⑤健幸都市、ゼロカーボン

+

### プラスアルファの管理方針

- ⑥全区間の統合管理の概念
- ⑦地域人材の育成



### 3つの視点の基本方針

#### ① かたち 美しいガーデンをつくり・まもり・楽しむことで、新たな賑わいを創出する

私たちは、指定管理第2期の期間、より快適なガーデンとするため、植栽管理マニュアルに基づいて丁寧な植栽管理を行ってきました。また、年に4回、ハードとソフトの両面から公園の状況を診断し改善を行う“センサリーツアー”を開催することで、管理運営に関する自己評価を継続してきました。さらに、新しい市民参加型ガーデン（ローズガーデン）を新設し、みどりによる賑わいづくりも推進しました。一方で、一部の樹木の生育不良や、ガーデンの過密化、除草作業の膨大さ、木陰の少なさ、などの解決すべき課題も残っています。

これからの3年間は、快適なガーデンを持続的なものとするため、ゾーン毎の景観イメージをしっかりと共有し、空間的指標を見える化し、また、ガーデン管理を支える人材育成に注力し、費用対効果の高い管理を推進して美しいガーデンを市民に提供することの両立を目指します。これを実現させるための3つの手法を以下に整理します。

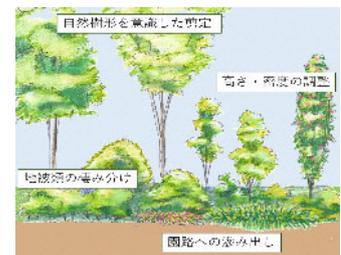
#### ●丁寧な管理の継続と積極的な人材育成により快適なみどりを保ちます

センサリーツアーやアンケートの結果などから、現在のガーデンは概ね評価を得ているものと考えますが、まだ生育不良の樹木も残っています。各ゾーンのコンセプトを具現化する景観づくりを徹底し、四季を超えた八季の植物の魅力を最大限に引き出せる植物管理を行います。そのために、景観イメージをより共有しやすい植栽管理マニュアルに更新すること、植栽管理スタッフの育成に力を入れます。管理スタッフは地域からの雇用を推進し、植栽管理技術の地域への定着を図ります。



#### ●みどりの位置づけにメリハリをつけ、植栽管理の新しい試みを行うことで管理の合理化を図ります

日々の園地作業の作業別集計結果から、植栽管理作業の多くを除草作業が占めていることを認識しています。改めてゾーン別のみどりのあり方を再考し、粗放管理が可能なエリアの設定や市民管理が可能なエリアの創出など、“みどりの質”の転換を検討します。また、長期的な樹木の生長・遷移を見据え、間引きや補植を含めた健全なガーデンの維持管理と改善に努めます。あわせて、作業の標準化・マニュアル化を進め、維持管理コストの縮減を図ります。



#### ●鑑賞するみどりから、関わるみどりへ。多様な主体が楽しめる機会をつくります

気づき、学び、感動の連鎖が誘発され、心豊かに楽しむガーデンを創出します。すなわち、鑑賞して楽しむだけのみどりではなく、多世代の様々な関わり方を可能とする、ガーデンをきっかけにコミュニケーションが生まれるプレイスメイキングの取組みを行います。市民参加によるガーデンの整備と新たな活動の場や機会の創出、さらに、市民への花と緑の管理技術や楽しみ方の情報提供の強化を行います。



●草津川跡地公園の市民活動の成長と今後の展開

草津川跡地公園は、市民が主体となって関わり、多様な市民活動が公園の各所で日常的に展開されることで地域再生や活性化に寄与する公園の実現を目指しています。それらを実現していくために、2020年度から専属コーディネーターを配置し、日常的な相談支援を充実させるとともに、パフォーマー登録制度を整備しました。その結果、2021年4月からは登録主体による日常プログラムが実施されるようになっていきます。合わせて、開催プログラムを紹介するリーフレット「くさねっこカレンダー」の発行（毎月）、活動の記録をwebサイトで紹介するくさねっこアーカイブサイトの整備・運営、SNSの発信強化やコミュニティFMへの出演など、さまざまな情報発信を駆使し、草津川跡地公園における市民活動の認知度の向上を図りました。これらは新たな活動主体の発掘にもつながっています。さらに、年間の取り組みをまとめたアニュアルレポートを発行し、市民活動を展開する意義や目的、効果を伝えることで、市民活動へのさらなる理解促進を図りました。引き続き、常に新たな活動主体が生み出され、魅力的なプログラムが日常的に展開されるような市民活動支援を実施していくことが求められます。

●大きく変化・多様化するライフスタイルに対応した、市民の新しい暮らし方や価値観を創出する市民活動の展開を支援します。

新型コロナウイルスの流行など大きく社会情勢が変化中、屋外空間のあり方も見直されています。テレワークの普及や週休3日制、副業を斡旋する企業が増加し、自宅周辺など地域で過ごす時間が増えるなど、ライフスタイルも多様化しています。草津川跡地公園が地域再生や活性化に寄与する公園となるためには、このような時代の変化に対応した新しい暮らし方や価値観を創出するような市民活動の展開を図ることが、地域のシンボルとしての役割と考えます。そのためには、公園内の活動支援にとどまるのではなく、草津川跡地公園と市民活動が市民にとってより身近なものとなり、地域の魅力を高め、豊かな暮らしづくりにつながっていることを市民が実感できるように、下記の方針で取り組んでいきます。

- ・公園の機能を活かした多種多様（みどり、健康、防災、子育て、ゼロカーボンなど）な市民活動が溢れるような状況の創出
- ・市民活動コーディネートに関する専門知識の地元への定着
- ・草津川跡地公園と市民活動がより身近なものとなるための広報展開



公園で多種多様なプログラムが展開されている



専属コーディネーターによる活動の相談支援

## しくみ 将来を見据え、新たな資産をつむぐ事業展開と制度活用

草津川跡地公園では、年間 100 以上の市民プログラムや 30 団体以上の活動主体、新しく創出されたローズガーデンやフォトスポット、そして、公園の自立に向けた有償視察等のコンテンツなど多様な資産で充実してきました。今後は、これらの資源を発展させるとともに、将来的な全区間供用開始も見据えて、数年後も最先端の公園であり続け、豊かな公園がある暮らしを持続していくために、新たな資産をつむぎます。

### ●人の力を結集させた他力本願事業と草津川跡地デザインウェブプロジェクトの立ち上げ

コロナ禍には実現が難しかった、事業者や大学、あるいは市民の活動を公園内の活動として積極的に誘致します。限られた指定管理の費用を自主イベント等の費用に充当せず、他者にプログラムを実施してもらい、公園来場者数の拡大、



### ●多様な主体とともに、つながりや新たなまちの魅力を共創するフェスの実施

公園内外で活動する市民や地域組織、事業者など多様な主体が一堂に介すフェスを開催します。つくるプロセスから協働し、属性の異なる主体が連携し、新たなまちの魅力を創造するきっかけとします。



### ●民間活力を導入したサステイナブル・イベントの実施

他力本願な他者事業に加え、自主事業として持続可能なイベント事業の展開を検討します。消耗するイベントではなく、一定期間の継続がなされ、かつある程度の収益が見込めるような事業のチャレンジを検討します。

- ・ガーデンカフェテリアの継続
- ・テントサウナ
- ・ほこみち社会実験プロジェクト



### ●包括的指定管理への制度検討協力

次期指定管理の期間は、区間 2、区間 5 だけでなく、区間 6 やその他のゾーンを含め、跡地全体管理の最適化を検討する時期にあたりと考えます。これまでの指定管理の実績や知見を踏まえ、最大限に検討への協力やアイデア提供を行います。



## (2) 快適な公園の維持管理・運営の方針

### ① 快適な公園・植栽の管理体制

#### ●草津川跡地公園の設置目的や目標像を皆が理解し、公園・植栽管理につなげます

- ・公園の設置目的（草津川跡地利用基本計画）で描かれた緑軸による活力のあるまちづくりを市民と事業者が一体となって実現できるように草津川跡地公園管理運営会議を運営します。
- ・快適なガーデンを維持するために基本計画のランドデザインの趣旨をよく理解し、植栽管理マニュアルを基本に年間管理運営計画を立て、PDCA マネジメントで品質向上を行います。
- ・草津市、設計者、施工者、指定管理者、まちづくり会社、グラッシーなどが一堂に会し実施する“センサリートัวร์”は年4回程度季節毎に行い、ツアー内で出た意見を管理に反映します。（新植、移植、間引き、補植、施設改修、利活用調整など）



#### ●みどりの位置づけの見直しによる管理の省力化の検討

- ・開園後6年を経過し、育成期から通常管理期に移行することから各ガーデンの位置づけを再考し、管理目標の再設定を行います。
- ・粗放管理が可能なエリアを検討し、草地の刈込回数を減らすなど管理の省力化を目指します。
- ・公園外周の法尻など、管理作業自体に危険を及ぼし、飛石・落石など近隣住宅のクレームにつながるエリアは除草剤散布やマルチング、除草シートの検討を行います。



### ●万博記念公園などで培った“高いレベル”の安全・安心・快適な管理を実施します

- ・万博記念公園や大阪府立花の文化園などで培った、来園者を感動させる風景づくり、落ち着いた景観の快適さを与えるメンテナンスを実施します。
- ・仕様書の管理業務の**要求水準を下限と位置付け**、園内の建築物、構築物、設備等の日常点検・定期点検の巡視を実施します。
- ・業務の均一化（誰が巡視しても同じ水準で点検が実施できる）、効率化、見落とし等の発生が無いように、**点検マニュアル、巡回マップ、施設別チェックリスト**を作成して点検、必要に応じて補修整備、良否の監視を行います。**記録は適切に保存**し、提出の請求に対しては遅滞なく提出できるよう対処します。



### ●専門の技能や資格や経験を有するチームでスクラムを組み“柔軟な”管理運営を行います

- ・管理・運営スタッフは、維持管理・運営の専門の能力と資格を持つ従業員もしくは同等の能力を有する従業員を配置し、その管理下に数名の維持管理・運営スタッフを置きます。
- ・スタッフは、作業手順書を作成して問題点やリスクの洗い出しを図り、日々の業務のマニュアルとして完成させ、あわせてOJTやロールプレイングによる維持管理・運営業務の質的向上と効率化（生産性の向上）によりスキルアップを図ります。
- ・樹木医や一級造園施工管理技士らと現場スタッフをバックアップする京阪園芸のPMO事業部（管理スタッフ・デザイナー・技術陣）による定期会議や現場チェックを行います。
- ・利用ピーク時期には、臨時職員を派遣して従事スタッフを増員し、利用者への対応や安全管理、サービス提供を行います。



大津支店スタッフ

### ●季節を問わず過ごしやすい場所を創出する日除け施設の増設

- ・草津川跡地公園の課題の一つとして、日差しを遮る施設が少ないことが挙げられています。これまで、まちづくり会社等の協力を得ながら日除け施設の増設をしてきましたが、今後も、同様のものの増設、あるいは可動式のものを含め、検討をすすめます。



## ② 樹木等植物の育成及び管理技能の状況

### ●植栽管理マニュアルの更新と積極的な人材育成

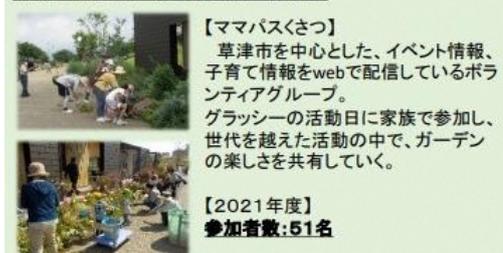
- 植栽管理マニュアルに基づきゾーン毎に設けられている管理方針をよく理解したうえで植物を適正に管理し、当初に設計されたデザインによる景観の創出（デザイン管理）を推進します。
- 開園から6年目を迎え、旺盛に生育している植物や気象・土壌条件などにより生育が不十分、もしくは枯れている植物も散見されるため、積極的な剪定や補植を推進します。
- 来園者が心地良いと感じるような、心や愛情が込められた丁寧な景観づくりを行います。
- 危険動植物対策については、来園者に害を及ぼすことがないよう細心の注意を払って巡視や点検を実施します。発見した場合や来園者から通報があった場合は、速やかに対処し、危険動物が生息しにくい環境づくりに努めるなど、安全確保に努めます。
- ゾーン毎の景観イメージを管理スタッフや評価者（市など）が共有できるよう、スケッチなどを用いて明確な空間的指標を設定します。
- 全ての管理スタッフが高いレベルの管理を行えるよう、視察ブックやDVDによりコンセプトや設計方針を理解させると共に、高い造園管理技能を持つ技術者が育成を行います。
- 管理スタッフを地域から雇用し、育成することで植栽管理技術の地域への定着を図ると共に、夏場の早朝集中除草なども可能となります。



### ●楽しく生きがいを感じながらみどりに関わる市民参加型の植栽管理の機会の提供

- 通常の植栽維持管理だけではなく、植栽管理を通じて地域団体や市民が学び、体験をしていく協働作業により公園をより魅力ある空間にしていく創造的管理を目指します。
- ガーデンの管理については、「グラッシー」や「湖南農業高校」との連携を継続し、より良い活動につながるよう支援を行います。
- コミュニケーションガーデナーの育成を目的とした「くさつロザリアン倶楽部」の取り組みを継続し、令和4年に竣工したローズガーデンの市民管理範囲を拡充します。
- 区間5の堤体に保存されたソメイヨシノには、腐朽菌による幹折れや枝折れ、倒伏のリスクがあります。旧草津川のシンボルでもある桜並木を次世代に引き継いでいくため、長期の市民活動として「(仮称)くさつ堤桜を守る会」を組成し、推進します。
- くさねっこカレッジでの市民意見による“苗木からの森づくり”“昆虫観察ができるバッタの草原”など、市民が楽しく管理に関われるプログラムを検討します。

#### 既存活動団体の活動主体の拡大



●**関西における造園・公園管理のリーディングカンパニーとして高度な管理を行います**

- 多数の一級造園施工管理技士と公園管理運営士、実績のある樹木匠を擁し、公営公園の植栽維持管理の実績や作業員の高い技能を生かして管理をおこないます。
- 公園管理専門の PMO 事業部（Park Managment Organization 事業部）による管理指導や、現場での OJT 以外に、万博記念公園等で開催する技能講習会や造園組合や公園緑地協会での技能・資格取得のサポートにより常に全スタッフの技能のレベルアップを図っています。
- 「柳ヶ崎湖畔公園（びわ湖大津館）の有料バラ園は、前管理者時代から比べ3倍の来園者数を実現し、万博記念公園や枚方市民の森などでは、その植栽管理技能を高く評価されています。

**・技術社員によるスタッフ研修**



社員が園地スタッフに造園技術（剪定方法・樹木の結束方法）などの技術研修会を行った。（年／3回）  
毎点検時に、剪定鋏を持ちその場で対応した

### ③ 快適なサービスの提供

#### ● 「6つのS」で、利用者にとって快適な、ホスピタリティあふれる接客を推進します

- 安全 (Safety)、スピード (Speed)、親切 (しんせつ)、正確 (せいかく)、スマイル (Smile)、清潔 (せいけつ) の「6つのS」を念頭に置き、来園者に快適なサービスを提供します。
- 万博記念公園や大阪府立花の文化園などの他の都市公園で培ったサービスのノウハウやおもてなしの精神を研修などで指導します。
- スタッフ全員が統一したユニホームを着用し、子供でも分かりやすいようにひらがなのネームプレートをつけて接遇します。
- イベントや春秋の行楽シーズンの利用ピーク時期には、本社及び大津支店から臨時職員を派遣して従事スタッフを増員し、利用者への対応や安全管理、サービス提供を行います。



#### ● 施設の予約等を電話やインターネットで受付可能とするための市への協力をおこないます

- 教養室等の公園施設の利用申込サービスの向上に向けて、窓口に限らないインターネット等での受付可能とするシステムが求められていると考えます。その導入について、市の支援を積極的におこないます。



#### ● 公園に関する情報をタイムリーにわかりやすく発信し、その効果などを常に検証します

- お客様の知りたい見頃の植物についての情報や、イベントなどの情報をリアルタイムに発信・掲示し、アンケートなどでその取り組みの反応をデータによって把握し改善します。
- 利用者が施設やイベント情報を分かりやすいように、近隣道路や駐車場及び園路に適切な案内看板や情報掲示板を設置する等整備を進めていきます。

#### ● 『公の施設』として、公平・平等・安全・快適に公園を利用して頂きます

- 全スタッフにコンプライアンスや公共サービスや安全管理や接遇に関する教育や指導を徹底します。
- 園路や施設が安全・快適に利用できるよう、毎日巡視を行います。巡視では、公園内の安全面、衛生面、機能面を確認し、充実した施設運用に努めます。

#### ● 公園利用のマナーの課題に関し、行政・警察・地域と連携して解決します。

- 園内の巡視や利用者からの情報により、解決すべき公園利用マナーの課題を認識しています。市民に快適に公園を利用してもらえるよう、スタッフの声掛けと共に地域や関係部局と協力してマナー向上を図ります。

### (3) 公園における多様な主体による活動支援の方針

#### ① 公園の機能を活かした多種多様なプログラムの開発・展開

●多様な主体との連携促進により多種多様な市民活動を創出し、公園内外へ展開していきます。

- A：コーディネーター連携（市民活動×緑×事業者）を活かしたプログラム開発を支援します
- ・草津川跡地公園の運営方針として最も特徴的である、市民活動・緑・事業者それぞれのコーディネーター間の連携を活かしたプログラムを開発します。
  - ・草津川跡地公園で活動する緑の活動団体と緑をテーマにしたくさねっこプログラムが連携し、公園の機能を活用した充実したプログラムの開発につなげていきます。
  - ・草津川跡地公園で展開されている事業者を巻き込んださまざまなイベントとくさねっこプログラムの連携を図ることで、市民活動主体と営利事業者の双方の活動を刺激し合いながら、より、公園利用者や地域にとって充実したプログラムを展開していきます。
  - ・以上のプログラム開発や活動支援を通して、公園内（区間2、区間5）だけでなく公園外での活動の展開を図っていきます。



ローズガーデンで開催したプログラム



生活を豊かにするガーデニングプログラム



くさねっこカフェプログラム

- B：さまざまな分野・主体（事業者・企業）との連携を促進します

- ・草津市の市民活動支援拠点との連携を図り、くさねっこパフォーマー登録を促進すると合わせて、くさねっこプログラムの公園外での活動展開を促進していきます。
- ・大学や高校、小中学校、研究施設や企業などの主体と連携し、公園の機能を活かした多種多様なテーマに特化したプログラムを展開していきます。

- C：草津川跡地公園と市民活動がより身近なものとなるための広報展開を図ります

- ・毎月発行している「くさねっこカレンダー」やwebサイトによる情報発信「くさねっこアーカイブサイト」、フェイスブックやインスタグラムなど公式 SNS による情報発信では、デザインや写真のクオリティを高めることにより、女性や子育て層、若者を対象にしたブランディングを図り、くさねっこのイメージの向上を図ってきました。引き続き、充実した情報発信を展開していきます。
- ・さらなる情報発信の充実を図ると同時に、草津川跡地公園や市民活動を地域や市民により身近に感じてもらうために、すでに情報発信を展開している地元ラジオとの連携をさらに強化していくとともに地元情報誌やwebサイトとの連携を強化していきます。さらに、公式アカウントだけでなく、パフォーマーやチームメンバー自身が発信していくためのサポートを展開し、SNS 発信の強化を図っていきます。
- ・草津川跡地公園の市民活動「くさねっこ」の取り組みの理解を広げていくために、アニュアルレポートを作成しています。さらに内容を充実させていくとともに、Web サイトでの展開などアニュアルレポートを効果的に活用し、「くさねっこ」の理解を広げていきます。



くさねっこアーカイブサイト



アニュアルレポート

## ② コーディネートに関する職員の配置及び取り組み方針

### ● 市民活動コーディネートに関する専門知識の地元への定着を図ります

- ・ 2020 年からコミュニティデザインのスキルを持つ専属の市民活動コーディネーターを配置し、くさねっこパフォーマー登録制度を整備し、コーディネーターによる活動支援を図り、多い時には月に 25 プログラムが開催されています。引き続き、コーディネーターによる市民活動支援を継続していきます。
- ・ 新しく地元人材を雇用し、コーディネーター人材として育成し、コーディネーターの持つ専門的なスキルの地元への定着を図っていきます。
- ・ コミュニティデザイン手法を活用して市民活動支援を実施している他の施設と連携して、コーディネーター研修プログラムを開発・実施しています。これらのプログラムも活用した研修、また、OJT などにより育成を進めていきます。
- ・ 市民活動のさまざまな知識を学ぶスキルアップ講座を実施し、市民活動主体の発掘や継続的な人材育成を図ります。



コーディネーターへの相談窓口  
「くさねっこ相談室」



「くさねっこカレッジ」の様子

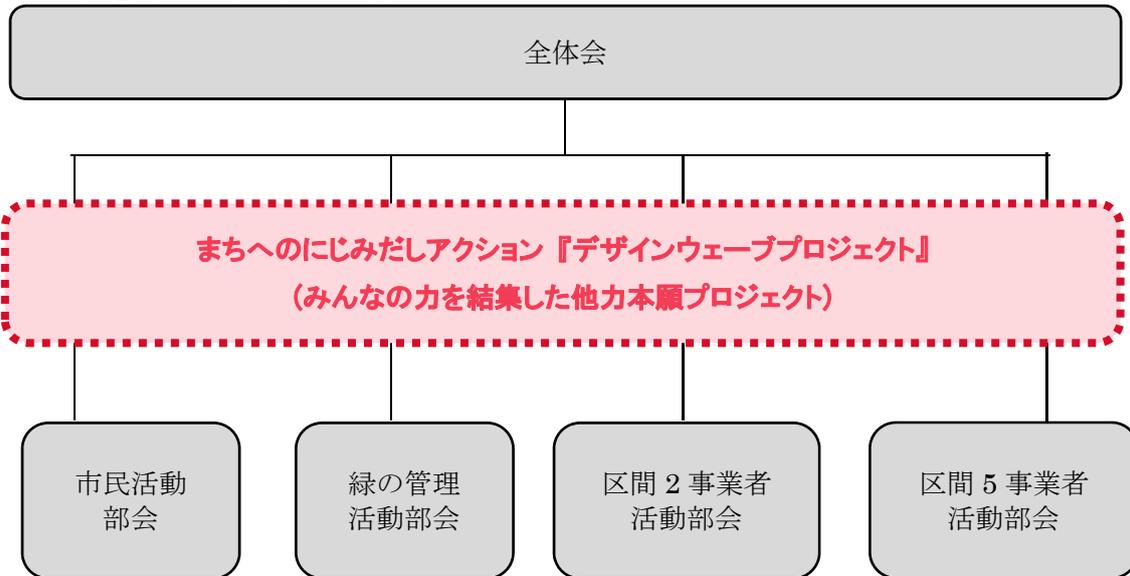


コーディネーター研修の様子

### ③ 新たな融合と支援の輪となる「草津川跡地公園管理運営会議」の展開

- **共通の課題やテーマと一緒に取り組み、みんなのチャレンジをビジュアル化して、まちへと展開します**
  - ・カーボンニュートラルや健幸都市などのテーマでは、公園だけでなく、まちも巻き込む必要があります。広いステークホルダーと課題を共有し挑戦するプラットフォームとします。
  - ・全体会では公園を拠点に生じる新たなプロジェクトを応援し、支援の輪を広げる役割とします
- **各部会に専門コーディネーターと地域人材を補佐として配置(常勤)し、支援の強化と部会の連携強化、人材育成を図ります**
  - ・専門的ノウハウを持つコーディネーターを各部会に配置し、コーディネーターは公園に常勤します。また、地域人材を雇用し、将来的なコーディネーターとして活躍していただける人を育成、ノウハウの提供をおこないます。

コーディネーター：  
草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ



コーディネーター：  
草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ

コーディネーター：  
草津まちづくり株式会社

#### 【デザインウェーブプロジェクト】

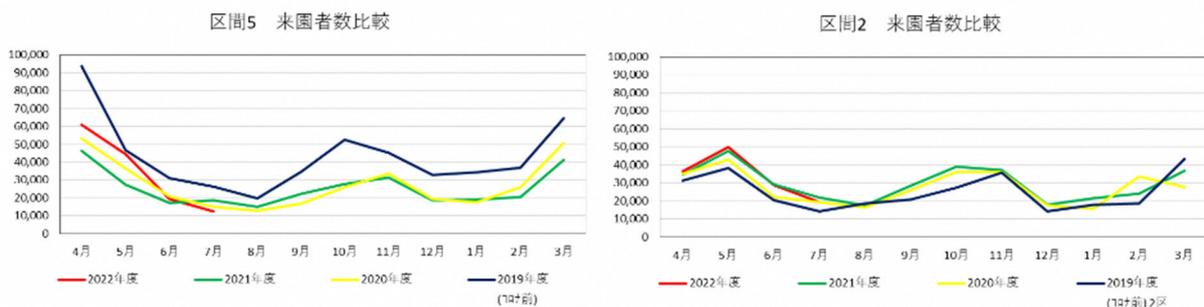
- 公園全体の共通テーマへともに取り組み、チャレンジをビジュアル化（デザイン）
- プロのグラフィックデザイナーを起用し、プロジェクトごとのトレードマークの制作、展開



## (4) 民間事業者のノウハウを活用した集客や自主事業の方針

### ●集客における課題と目標①：新型コロナウイルスの影響による来園者減少

コロナ禍での来園者人数は、コロナ前と比較すると約15万人減少しました。(2019年合計約80万人、2020年合計約65万人)特に、市街地に位置する区間5では20万人減少しました。一方、区間2では5万人増加し、一定の広さのある屋外空間への需要の高まりも分かりました。少しずつコロナの影響が収まることを想定しつつ、ポストコロナ時代の新しい屋外空間の需要も活かしながら、幅広い広報展開や日常型の自主事業展開で来園者数の回復を目指します。



### ●集客における課題と目標②：企画内容や屋外活用のみせ方のマンネリ化

供用開始から5年以上が経過し、草津川跡地公園では非常に多くのイベント等も開催されてきました。一方で、どのイベントも大変魅力的なもののコンセプトの違いの分かりにくさがありました。

さらに魅力を高め集客につなげるために、コンセプト重視の空間演出をとまなうイベントやいつもと違う風景づくりを推進します。



### ●集客における課題と目標③：駐車場不足による、収容人数の限界

ここ数年、イベント開催においては、区間5、区間2ともに蔓延的に駐車場が満車となる状況です。駐車場前には待機列が発生し、近隣へ迷惑となることもあります。

集客の回復においては、非常に重要な課題であるため、駐車不足を解消する方法を検討していきます。

### ●集客における課題と目標④：利用の制限による活用自由度の低さ

区間5の公園内道路や滞留施設の常設のハードルの高さなど、市民が公園の活用方法を制限されることが多くあります。

指定管理者が先導し、公園での活用自由度の幅を広げるための実験的な取り組みをおこない、徐々に活用実績を積み重ねてきます。

## ① 広報・利用促進

### ●多世代に届けるための、多様なツールを活用した広報展開

・草津川跡地公園は、メイン SNS を中心とした多様な広報を展開してきました。若年層をターゲットとした SNS、インターネットサイトから、年配層にも届くチラシやカレンダーの発行、えふえむ草津のラジオ放送、市内全域に届く広報くさつへの掲載から、全国的な発信力をもつ外部イベントサイトの活用、新聞掲載などを継続して展開し、さらに各広報媒体のブラッシュアップを図り、より利便性の高く伝わる広報をおこないます。

### ●ポストコロナツーリズムとしてのプロモーションネットワークやマイクロツーリズムの推進

・アフターコロナでは、身近な地域への旅行を楽しむことや、開放感のある屋外空間への需要が高まっている。滋賀県内などの周辺施設と連携し双方のプロモーション協力やマイクロツーリズムの提案をおこないます

### ●地域のメディアと連携したプロモーションによる、まちへ繰り出す広報

・コミュニティ FM であるえふえむ草津や草津市内で子育て支援活動をするまちのコミュニティハブツナグと連携したプロモーションを実施します

### ●公園のファンづくりと市民発信力によるコ・プロモーション

・草津川跡地公園の広報ツールは、2020 年 4 月から着々とファンを獲得し、インスタグラムのフォロワー(インフォメーション)は 1600 件以上、グーグルマップの閲覧数は平均 38 万件、HP 閲覧数は平均 5000 件と都市公園の中でも高い水準であると考えられます。今後は、見られる広報から、市民や事業者が主体的に発信したくなる広報へと成長させていきます

### ●広報媒体を活用した事業展開

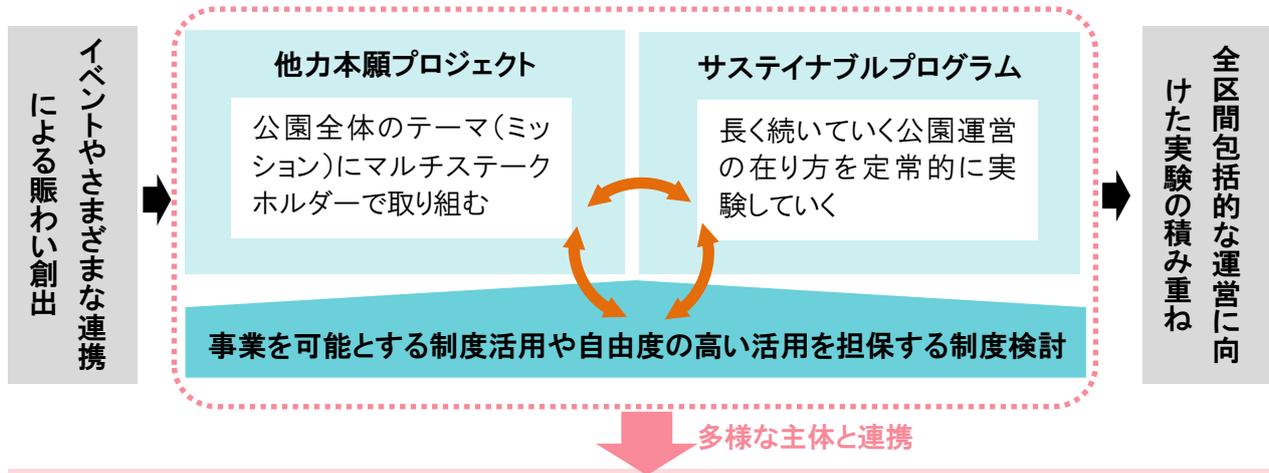
・周辺地域と連携したパンフレットは、さらに多くのステークホルダーや周辺企業とのネットワークを強化し、さらにまちの賑わい創出につながる公園パンフレットへと更新します。

・草津川跡地公園ガイドブックやくさねっこアニュアルレポートを積極的に活用し、広報ツールによる自主事業を展開していきます。



## ② 自主事業

自主事業は、プロジェクト事業、定常事業、制度活用・制度設計の3つで構成します。草津川跡地公園の屋外空間活用の可能性を模索し、市民や地域団体、企業とともに常に新しい挑戦をおこなうことで、将来的な、自立した公園運営に向けて前進します。



### 多様な主体が協働し共創するフェス

- ①市民、事業者等の属性を超えた協働を促し、次なる資源へ
- ②自己実現する姿を共有し合い、わたしらしく暮らす生きがいを実感
- ③成功体験とノウハウの蓄積による主体の成長



### ●産官学民マルチステークホルダーのハブとなるプロジェクト事業

草津川跡地公園の多様なプラットフォームを拡大しつつ、マルチステークホルダーが協働するプロジェクトのハブとして機能し、まち共通の課題や公園全体のテーマ（ミッション）に取り組めます。



### ●一時的な賑わい形成から、定常(日常化)事業へ。市民や企業のチャレンジを受けとめ協働する小規模多発的型の実験的活用

公園の認知度は高まり、新型コロナウイルスの影響は大きいものの、公園でのイベント実施希望者は多く見受けられる。次の段階として、一時的な賑わいに繋がる取り組みではなく、長く続いていく事業の在り方を指定管理者が主体となりおこないます。



### ●プロジェクトやその定常化を担保する制度活用、および制度設計の検討

公園にとどまらない事業展開や日常的な新しい挑戦には、そのハードルの解消と活用の自由度高める制度の活用が必要です。また、今後の継続的な公園運営を見据え、今から取り組むべき制度に関しても市へ積極的に協力します。



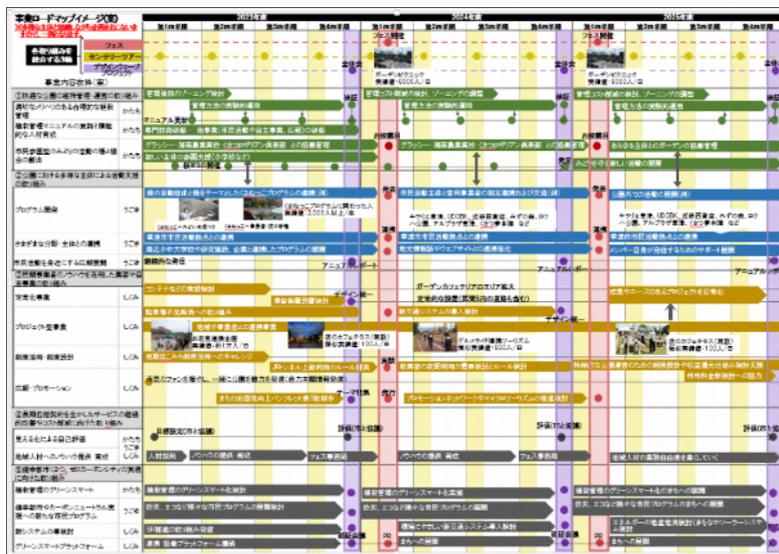
## (5) 長期包括契約を生かしたサービスの継続的改善やコスト削減に向けた方針

2019年度から2022年度の3ヶ年の指定管理期間を経て、その実績や課題を活かしながら、次の3ヶ年へステップアップしていくための、様々なサービス改善やコスト削減に取り組みます。

### ① サービスの継続的改善方法

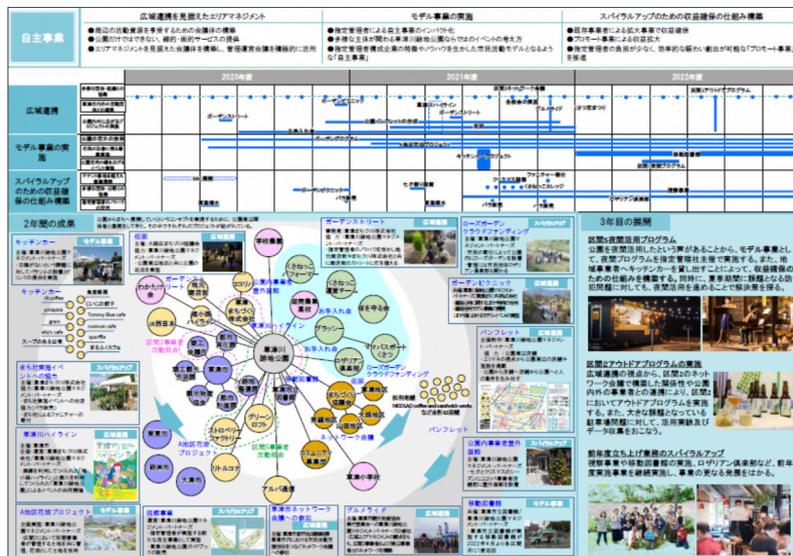
#### ●3ヶ年ロードマップ作成とPDCAマネジメントによる計画的かつ継続的な改善やコスト削減

- ・36カ月のスケジュールを組み、年度毎にスパイラルアップしていく長期的なPDCAサイクルプランを構築します。
- ・PDCAサイクルを繰り返し回すことにより、継続的改善とコスト削減を図ります。



#### ●指定管理事業の目標値を定め、成果と課題の『見える化』を継続し、精度の高い管理運営をおこないます

- ・年度ごとの事業目標を定め、各年度ごとに成果と課題を顕在化します。それら事業進捗をもって管理運営会議全体会への報告や市との協議をおこないブラッシュアップを図ること、事業全体のスパイラルアップに努めます。



●**単年度契約ではむずかしい春のイベントを実施します**

- ・単年度の契約では、秋以降の事業（イベント）実施となることが多いですが、3カ年の契約であるために、公園の資源の1つでもある桜の見ごろの時期となる春にイベント等の実施が可能となります。

●**3ヶ年の長期カリキュラムを組み、地域に根ざす人材を大切に育てます**

- ・植栽管理、施設管理、事務経理、市民協働、企画立案を含め、1年では十分な人材育成のカリキュラムを遂行できません。3年かけて有用な人材をじっくりと育てていくことが可能となります。

② **利用者ニーズの把握**

●**様々な方法で利用者ニーズを把握し、データベース化すると共に職員間で共有します**

- ・公園利用に関するアンケート調査、ホームページ上のアンケートシステムなどにより、意見や要望を把握します。
- ・普段から来園者に話しかけることで、フェースツーフェースの聞き取りを行います。電話での意見・要望を含め、データベース化を行い、朝礼や運営会議時に職員間で共有します。

●**利用者ニーズを運営方法に反映し、サービスの標準化を行います**

- ・構成企業が今までの指定管理業務で培ったノウハウを生かし、必要に応じてマニュアル化することで、利用者サービスの標準化につなげます。

③ **コスト削減の方向性**

●**快適なガーデンの維持と、市民参画を両立させたコスト削減を検討します**

- ・自治会管理ガーデンや新しいガーデンの計画を検討し、市民協働エリアを拡充することで、指定管理者の管理コスト削減を図ります。

・**既存活動団体との共同管理の継続**



コミュニティガーデンにおける活動を通じて、指定管理者開催のスキルアップセミナーやママパスくさつと共同で意欲向上を図り、目標とする虹色花壇完成を目指し、作業を実施。

●**人材発掘・育成を強化することで、市民協働の段階をレベルアップし、効率化を図ります**

- ・ボランティア養成講座の実施などにより、市民活動を支える人材育成を推進します。活動のリーダーを担う市民を増やすこと、エリマネを視野に入れた事業者折衝なども委譲していくことで、人件費のコスト削減が期待できます。

●**多様な主体が関わる草津川跡地公園ならではのコスト削減の考え方**

- ・限られた予算の中で賑わいを創出し収益を上げるため、多様な団体を誘致し、「連携」「協力」イベントも増やしていきます。



(1) 快適な公園の維持管理・運営の取り組み

① 快適な公園・植栽の管理体制

●植栽管理マニュアルとセンサリーツアーを活用したスパイラルアップ型 PDCA マネジメント

- ・植栽管理マニュアルを基本に年間管理運営計画を立案します (PLAN)
- ・高い植栽管理技術をもとに植栽管理を行います (DO)
- ・月々の管理作業を数値化し、前年度・前月と工数比較を行い、問題点や課題を整理します (CHECK)
- ・管理作業の省力化や合理化を検討し、翌月及び翌年の作業の改善に努めます (ACTION)
- ・草津市、設計者、施工者、指定管理者、まちづくり会社、グラッシーなどが一堂に会するセンサリーツアーにより、植栽管理やハード・ソフトなどの多角的視点で総合的に評価し、課題の共有を行います。(年4回開催予定)

・センサリーツアー課題共有

行政、公園設計者、指定管理者、草津川跡地公園で活動する市民が集まり、公園を回り課題を共有する。



PDCAサイクルでスパイラルアップを強化	
Plan	マニュアルをもとにした年間計画
Do	詳細な作業日報の作成と工数管理
Check	前年度との工数比較と結果の考察
Action	作業の省力化・高質化の検討

●快適な公園を支えるベースとなる施設及び設備管理

- ・園内の危険箇所の把握や施設の使用方法による潜在的な危険を把握し、「各種チェックリスト」を作成し、スタッフ全員に周知することで、安全な公園管理を行います。
- ・業務の均一化（誰が巡視しても同じ水準で点検が実施できる）、効率化、見落とし等の発生が無いように、点検マニュアル、巡回マップ、施設別チェックリストを作成して点検、必要に応じて補修整備、良否の監視を行います。記録は適切に保存し、提出の請求に対しては遅滞なく提出できるよう対処します。
- ・公園利用者が使用する際にはいつでも最良の状態で行うことができるように、特に仕様書に定められた内容以外でも対応します。また施設の故障・破損等軽微なものについては早急に修繕します。
- ・施設及び設備管理の詳細は、以下を基本とします。

安全チェックシート（施設種別点検員 詳細版）

● 事前に工数、専門員による設備チェックシート（詳細版）による点検結果を参照してください。  
● 点検結果の請求するの欄にチェックを入れ、後継申請にしてください。

区画	安全点検項目	点検結果	処理
		正常	異常
遊具設備	1. 1年以上、又は経年劣化の程度が60%程度以上である。		D
	2. 1年以上、又は経年劣化の程度が40%程度以上である。		A
	3. 点検 防犯カメラ設置箇所が適切に設置されている。		C
	4. 点検 防犯カメラの向きが適切である。		C
	5. 点検 防犯カメラの電源が適切に接続されている。		C
	6. 点検 防犯カメラのレンズが適切に清掃されている。		C
	7. 点検 防犯カメラの設置高さが適切である。		C
	8. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	9. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	10. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	11. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	12. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	13. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	14. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
	15. 点検 防犯カメラの設置位置が適切である。		C
その他	1. 点検 点検項目が適切である。		D
	2. 点検 点検項目が適切である。		D
	3. 点検 点検項目が適切である。		D
	4. 点検 点検項目が適切である。		D
	5. 点検 点検項目が適切である。		D
	6. 点検 点検項目が適切である。		D
	7. 点検 点検項目が適切である。		D
	8. 点検 点検項目が適切である。		D
	9. 点検 点検項目が適切である。		D
	10. 点検 点検項目が適切である。		D
	11. 点検 点検項目が適切である。		D
	12. 点検 点検項目が適切である。		D
	13. 点検 点検項目が適切である。		D
	14. 点検 点検項目が適切である。		D
	15. 点検 点検項目が適切である。		D

### 【建築物点検業務】

日常点検は管理事務所の業務開始時に、定期点検は建物の利用状況に合わせて適宜行います。にぎわい活動棟・便所などの建物の劣化や不具合箇所の早期発見・未然防止のため計画を立てて点検・保守管理を行います。

#### ・建築物・建築設備業務

日常点検業務	建物の日常的な巡回点検	1回 / 日
一般管理業務	保守管理計画書・報告書の作成及び提出	随時
修繕業務	修繕箇所計画及び経常的な修繕対応	随時
臨時点検	台風や地震等の災害時に対応	随時

#### ・環境衛生管理業務

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、環境衛生管理を行います。年間（月間）管理計画を作成し業務を監督します。

### 【設備点検業務】

関係諸法令を遵守し実施計画書を作成し、点検終了後は、点検結果報告書を提出します。点検、修繕履歴については、施設台帳を作成し管理状況を記録のうえ、保管します。

#### ・消防用設備点検 にぎわい活動棟（区間2・5）内

消防設備の保守点検 ～年1回実施します。

消防署への届出書類を作成し消防署へ提出します。

市及び関係部署と協議し消防訓練を実施します。

#### ・受水槽点検業務 公園内

槽内の清掃・消毒・水質検査等、報告書及び試験票作成（受水槽清掃、水質試験）

受水槽から各施設に送水される水道使用量の検針～月1回実施します。

#### ・照明・放送設備保守点検 ～年1回実施します。

照明灯・放送設備の点検及び調整

#### ・防犯カメラ保守点検 ～年1回実施します。

#### ・園内水路・ビオトープ修景設備保守点検 ～年1回実施します。

#### ・噴水設備保守点検 ～年1回実施します。

#### ・除鉄装置管理業務 ～年1回実施、水質検査等

#### ・駐車場料金システム保守点検 ～駐車券発見機及び出口料金精算機等の点検（駐車券発券機、出口料金精算機、カーゲート、バーチャッター入口表示灯、出庫警報機）

### 【工作物管理業務】

公園利用者が使用する際にはいつでも安全に快適に利用できるように、点検を行い、必要に応じて補修を行います。

#### ・パーゴラ、ベンチ、案内板、サイン、照明柱、その他施設管理

公園施設工作物の劣化や不具合箇所の早期発見・未然防止のため目視による日常点検を行います。施設点検にあたっては、「点検マニュアル」を作成し、それを用いて適切な点検を行います。

業務項目	内容	頻度
日常点検	公園施設・工作物の日常的な巡回点検	1回 / 日
修繕業務	修繕箇所計画及び経常的な修繕対応	随時
臨時点検	台風や地震等の災害時に対応	随時



### 【遊具の安全点検】

#### ・日常点検

遊具点検チェックシートを作成し、目視、触診、聴診などにより、施設の変形や異常の有無を調べます。構造部材についてはぐらつきや、腐食・腐朽が進みやすい基礎部分の状態、また、消耗部材については、部材の脱落・消失、破損がないか、変形や磨耗の有無、度合いなどに、着眼して行います。変形及び異常を発見した場合には、直ちに遊具の一部又は全体の使用中止の措置を講じ、市と協議を行い適切に対応します。

#### ・定期点検

遊具メーカーと協力して、「都市公園における遊具の安全確保における指針(改訂第2版)」に基づいて、年に1回 詳細な点検を行います。子どもが安全に利用できるかという視点を持って構造部材、消耗部材についてより詳細、入念な点検を行います。次の定期点検までの安全が確保できる状態であるかなどに着眼し確認します。点検後、市に報告書を提出します。

### 【清掃管理業務】

#### ・にぎわい活動棟

日常清掃は毎日実施します。定期清掃は、高所窓ふき・床面ワックスを年1回実施します。

#### ・トイレ清掃業務(区間5、区間2、管理棟内)

日常清掃は毎日1回、利用者が快適に使用できるよう行います。特別清掃については、状況を確認して適宜行います。常に美しい状態に保つため、毎日の日常巡回の際にチェックし、利用状況に応じて臨時清掃を実施します。

#### ・園内清掃業務

園内・道路・駐車場・駐輪場の清掃は3回/週以上、利用者が快適に使用できるよう行います。園内を常に美しい状態に保つため、毎日の日常巡回の際にチェックし、利用状況に応じて臨時清掃を実施します。別途、梅雨や台風時期には排水設備(側溝・桝等)の清掃を行います。また、落葉対策として冬季前、春先の落葉時期に園路周辺の清掃を実施します。

収集したゴミは可燃物・不燃物・資源物ゴミに分別し、事業系ゴミとして専門業者に処理を委託します。

#### ・園内水路・ビオトープ

仕様書の要求水準を守り、ビオトープに生息する植生物に配慮して実施します。

#### ・不法投棄対応

公園内で、廃棄物の不法投棄が発見された場合は貼紙等で投棄者に撤収を促し、一定期間後の引き取りが無ければ、速やかに警察署や草津市に報告し、関係法令に準じて対応します。廃棄物の処分手配や処理業者へ引渡しまでの保管を行い、また不法投棄禁止の啓発のポスターの掲示など防止に向けた対応を行います。

## ② 樹木等植物の育成および管理技能の状況

### ●植栽管理マニュアルの更新と、植栽管理の詳細

- ・樹木等植物の育成については植栽管理マニュアルに基づき、ゾーン毎に設けられている管理方針をよく理解したうえで、植物の特性に合った健全な生育を図ることを念頭に作業を行います。
- ・ゾーン毎の目標景観イメージを管理スタッフが共有して作業を行えるよう、スケッチに監理のポイントを表現します。また、定点写真を撮影・蓄積し、過去の管理状況を振り返ることができるようにします。
- ・植栽管理マニュアルについては、概ね四半期毎に作業実績を踏まえて見直し更新を行います。

#### 【剪定】

- ・高木・中木の剪定については、各樹種の特性や植栽目的に合った剪定方法を選択し、剪定後の景観や樹形に配慮して行います。樹木の健全な生育に支障にならないように、適正な時期に適切に剪定作業を行います。

#### 【病虫害防除】

- ・病虫害の防除については、総合的病虫害・雑草管理（IPM Integrated Pest Management）の考え方を基本として、来園者や環境への影響を最小限にするために適切な防除手法を組み合わせで行います。
- ・病虫害の発生は、初期に発見すれば容易に対応できることも多いため、専門的な知見を持つ職員が見回りにあたるとともに、他の職員にも広く主要な病虫害の特徴などの研修を行って、早期発見できる人を増やすように努めます。
- ・発生時期や場所は年や季節によって変わりますが、継続して記録を取ることで、害虫の平均的な発生時期や被害発生個所を把握し、早期発見のための参考とすることができるため、発生状況の記録を取り続けます。

#### 【施肥】

- ・植物の健全な生育を促進するため、肥料は欠かせません。植物種毎に、施肥の時期や量、肥料の種類は異なります。できる限り園内で作られた堆肥や腐葉土をベースにした土づくりを基本として、環境負荷の少ない肥料を選択して施します。施肥についても継続して記録を取り、翌年以降に反映させます。



#### 【除草・草刈り】

- ・除草および草刈りについて、マニュアルを基本としながら、適宜芝草刈りや手取り除草、その他作業を行います。それにより、いつ来ても美しい公園、という印象づけに注力します。
- ・芝生の草刈りは年6回の工程を組み、芝生が密になるように管理します。作業時の安全対策（飛び石等）は十分に行います。刈り草はその日のうちに、適正に処分します。夏場の灌水に努め、芝生の品質を維持します。
- ・区間2の多目的広場では、芝生の両側の刈込回数を減らし、広場のエッジ部分を創出します。



- ・成長が早く景観を壊すような雑草や、来園者にケガを与えるおそれのあるメリケントキンソウなどは、植物ごとの防除に最適な時期に、手取り除草などにより対処します。
- ・現在も生物多様性確保の観点から行われている、利用頻度の低い草地における昆虫や植物を保全するための草刈りに伴う範囲や時期の調整なども、その趣旨を踏まえて継承して作業を行います。



メリケントキンソウ

#### 【灌水】

- ・灌水は、基本的に水切れをおこさないように留意し、自動灌水も含め、その時の季節・天気・気温・場所・植物・土壌・成長度合いなどによって灌水量を調整します。

#### 【その他】

- ・必要に応じて樹木医による樹木診断をおこないます。結果と対策について市と協議します。
- ・危険動植物対策については、来園者に害を及ぼすことがないよう細心の注意を払って巡視や点検を実施します。発見した場合や来園者から通報があった場合は、速やかに対処し、危険動物が生息しにくい環境づくりに努めるなど、安全確保に努めます。以下に代表的なものを示します。

##### ●セアカゴケグモ

・セアカゴケグモはメスが神経毒を持っており、咬まれると痛みと腫れ、発熱等の症状が現れます。公園利用者に対しては、張り紙などで注意喚起を行うとともに、7月～8月の気温の高い夏場には活動性が高まるため、倒溝やベンチの裏側など、点検を実施し、発見した場合は直ちにバーナー等で焼却し駆除します。

##### ●スズメバチ

・8月～9月が巣の拡張期で、巣に近づくスズメバチやアシナガバチは巣を守るために害的に攻撃を加えるなど、その活動は盛んになります。巣を発見した場合は、バリケードなどで周囲に立ち入り禁止措置を行い、張り紙で注意喚起を行い、草津市に連絡して適切に駆除、公園利用者の安全を確保します。

##### ●イラガ・チャドクガ

・公園の樹木でよく発生する害虫で、人体に健康被害を与えるものとして、春から秋にかけて発生するイラガ・チャドクガがあります。チャドクガ(幼虫)の毒針が風に飛ばされて皮膚に触れると激しい皮膚炎(痒み・湿疹)が現れ、イラガ(幼虫)の毒棘に触れると激しい痛みを伴います。このような害虫は、いろいろな樹木に発生しますが、特にサクラやケヤキなどの発生が多いことから、これらの樹種に注意します。害虫は発見次第、限定薬剤散布などにより駆除します。

- ・危険動植物の発生状況に応じて薬剤散布を行うまでの間、園内に予告看板を設置し、作業中は周囲を立ち入り禁止にして来園者や近隣住民に危険を及ぼさないよう留意します。

### ●市民参画型のみどりの活動の場と機会の提供

#### 【植栽管理に関わる市民活動の展開】

- ・市民が楽しみながらみどりに関われる場や機会として、「グラッシー」や「湖南農業高校」の活動に加え「くさつロザリアン倶楽部」の活動を位置づけ、ローズガーデンの整備と併せて、市民が管理に関わるエリアを拡充してきました。

- ・当期においては、「くさつロザリアン倶楽部」の活動を継続するとともに、現在検討中の「(仮称) 学校ガーデン」の実現、「(仮称) くさつ桜堤を守る会」の組成に向け、取り組みます。

■草津川跡地公園の市民活動(緑の管理活動部会)

	1 グラッシー	2 湖南農業高校	3 くさつロザリアン倶楽部	4(提案) (仮称)学校ガーデン	5(提案) (仮称)くさつ桜堤を守る会
目的	公共空間をガーデニングで彩る	公共空間での社会貢献、多世代交流	活動で得た知識を持ち帰り、まちの“庭”から「ガーデンシティくさつ」を目指す ⇒コミュニティガーデナーの育成	地域資源を使ったみどりとふれあうカリキュラム	市民でつくる草津の名所づくり シビックプライドの醸成
活動場所(対象)	公共空間のガーデン(de愛ひろば、陽だまり、niwa+)	ステップガーデン	草津川跡地公園 ローズガーデン⇒まちのみどりへ	東口駐車場法面又はマンボ出入口法面	草津川跡地公園の桜並木
活動内容	毎月第2土曜、ガーデニング講習会、市内各種イベント	月1回	1期生 毎月第3日曜・作業と講習会	球根の植付け、芝刈体験	さくらウオーク、苗木植栽、さくらWS、他
背景	「ガーデンシティくさつ」	教育、社会貢献	「ガーデンシティくさつ」、「健康都市くさつ」	教育、社会貢献	「ガーデンシティくさつ」、「健康都市くさつ」
位置づけ	公共空間の緑・花	学校との連携	民有地の緑・花	学校との連携	緑の保全・活用
スケジュール	活動を継続	活動を継続	活動を継続	3年間で活動を実施予定	3年間で会を発足予定

- ・「くさねっこ」と連携した市民発意の新たな活動の場や機会の創出を検討します。私たちが企画・開催した“くさねっこカレッジ”にてみどりに関する多くのアイデアが市民から出てきました。管理の省力化に資する市民活動として実現に向けた検討を行います。以下に市民アイデアの一例を示します。

- ・落ち葉を使った堆肥づくり ⇒区間2の堆肥ピットを活用して検討
- ・昆虫広場 ⇒昆虫の生息する空間づくり(はらっぱなど)を検討
- ・植物のネームプレートづくり ⇒緑の管理活動部会の定常的活動として検討
- ・30年の森をつくろう ⇒ドングリから実生木の苗木をつくり、子どもを巻き込む形の森づくりを検討

【(仮称) くさつ桜堤を守る会の企画の詳細】

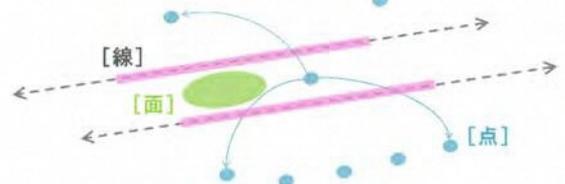
- ・「(仮称) くさつ桜堤を守る会は」、「市民による100年先の風景づくり」を大きな目標とし、(1)“ガーデンシティくさつ”の実現を目指す保全・活用型の市民活動、(2)草津川跡地公園のにぎわい創出に資する市民活動の多様性の一環、(3)シビックプライドを醸成する市民活動の仕組みづくり、を計画の柱として進めます。

(1)ガーデンシティくさつの実現を目指す保全・活用型の市民活動

- ・「グラッシー」や「湖南農業高校」と共につくってきた公共空間の花とみどりは、アンケートなどでも高く評価され一定の成果を得ています。
- ・第3次草津市みどりの基本計画で掲げられている“ガーデンシティくさつ”の実現に向け、みどりを“まもる”視点の市民活動を展開します。
- ・「グラッシー」や「湖南農業高校」が取り組むガーデニングは公共空間を彩り、「くさつロザリアン倶楽部」の活動は“まちの庭”から民有地緑化の意識を芽生えさせ、草津市全体に広がっていきます。



・「(仮称) くさつ堤桜を守る会の活動」は、公園の堤防沿いに上流・下流へと“線的に”広げることを目指します。まち全体にシビックプライドの機運を高め、草津市が誇れる“市民創出型の名所づくり”につなげます。



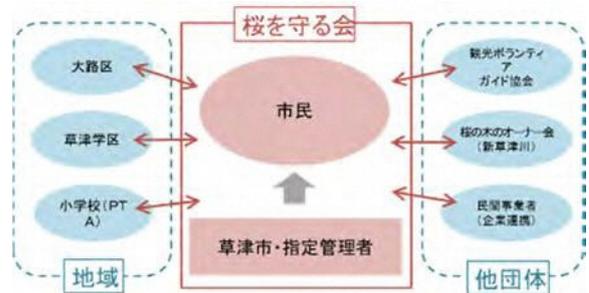
(2) にぎわい創出に資する市民活動の多様性の一環

- ・市民活動の多様性を図り、市民の意向やライフスタイルにあった活動の選択性を高めます。
- ・草津川跡地公園の市民活動「くさねっこ」の花・緑系の定常的活動のひとつとして位置付け、最初は“桜を楽しむWS”から始めて、市民と共に桜を守る活動の必要性を検討していきます。



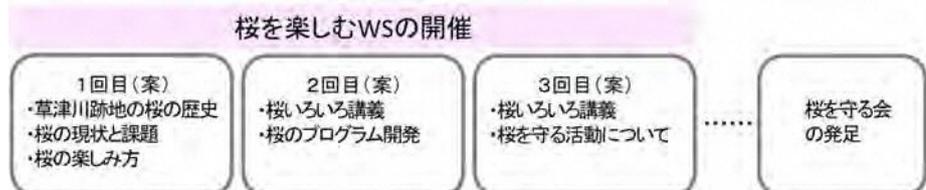
(3) シビックプライドを醸成する市民活動の仕組みづくり

- ・桜に興味を持つ市民を広く集め、桜の楽しみ方について話し合いを行うことから始めます。桜を守る活動の必要性を市民発意で位置付けることにより、市民主導型の持続可能な市民活動につなげます。指定管理者はコーディネーターの立場で市民の活動に伴走します。
  - ・「(仮称) くさつ堤桜を守る会」の活動は、地域や他団体との連携しながら進めます。
- 【地域】 大路区、草津学区、各小学校のPTA など。  
 【他団体】 草津市観光ボランティアガイド協会、老人会、桜の木のオーナー会、周辺企業、大学など

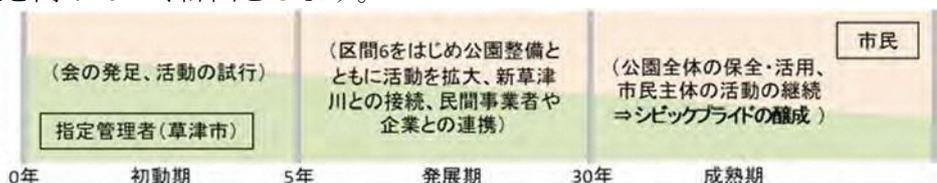


100年計画の進め方

- ・会の発足まで (1~2年間) : 桜に興味を持つ市民を広く集め、桜の楽しみ方について話し合いを行うことから始めます。



【会の発足後】 初動期、発展期、成熟期の各期に渡って指定管理者（草津市）が伴走するが、徐々に市民の主体性を高めていく計画とします。



●人材育成と地域雇用及びサポート体制

- 全ての管理スタッフが高いレベルの管理を行えるよう、視察ブックやDVDによりコンセプトや設計方針を理解させると共に、高い造園管理技能を持つ技術者が育成を行います。
- 管理スタッフを地域から雇用・育成して、植栽管理のリーダーとして位置付けます。夏場などは早朝の時間帯の除草・灌水作業が効率的であるため、リーダーの管理により一時作業員を大勢雇い入れるような管理手法も検討します。
- これらの人材育成のために、現場でのOJT以外に万博記念公園等で開催する技能講習会や、造園組合、公園緑地協会での技能・資格取得のサポートにより、全スタッフの技能の向上を図ります。また、PMO事業部（Park Manegment Organization 事業部）の専門的な管理体制でもサポートを行います。
- 必要に応じて樹木医による樹木診断を行います。結果と対策について市と協議し、管理計画に反映します。

• 通常の植栽維持管理だけではなく、植栽管理を通じて地域団体や市民が学び、体験をして協働作業により公園をより魅力ある空間にしていく創造的管理を目指します。

• 草花を一緒に植えるだけではなく、地域の子ども参加型の簡易な手押し芝刈り機による芝刈イベントや雑草抜き大会を行うことで、生きものの世話がどれだけ大切で大変な作業なのか学ぶことができ、地域の交流の機会となることでコミュニティ形成の場とします。



• 私たちは「コミュニティガーデナー講座」や各種「園芸セミナー」の開催などによる、樹木等植物の技術者の育成ノウハウが豊富です。当公園では、各種園芸講習会やお庭の相談会、くさつろザリアン倶楽部などの活動を行い、市民ガーデナーの育成にも努めます。

草津川跡地公園「コミュニティガーデナー養成講座」  
講師・講座内容

日付	講師	講座内容
4/17 日	池田 洋田	くさつろザリアン倶楽部の目的・バラの基礎知識
5/15 日	藤原	まごころについて
6/19 日	青木	ツルバラと木立バラの花嫁の育て
7/17 日	小山内	庭師の職 一夏がすぎた！コロン
9/4 日	丸山	養分管理について
10/16 日		ワークショップ PMO「バラの園の健康講座 PMO」(バラの園づくり)
11/13 日	小山内	バラの鉢植え管理 一冬の管理方法
1/15 日	青木	ツルバラの育て
2/12 日	小山内	冬の剪定について
3/19 日	池田 洋田	バラの剪定と管理の経験について一年を振り返って

※8月・12月は開催なし  
※講師および講座内容・日程も変更とさせていただきます。

### ③ 快適なサービスの提供

#### ●ホスピタリティあふれる接客の推進

- ・万博記念公園や大阪府立花の文化園などの都市公園で培ったサービスのノウハウやおもてなしの精神を研修などで指導します。
- ・公園スタッフの明確化のため、スタッフ全員が統一したユニホームを着用し、子供でも分かりやすいようにひらがなのネームプレートをつけて、話しかけやすいようにします。
- ・笑顔の挨拶や、ちょっとした心遣い、気配りのある対応を心がけて、利用者が気持ち良く公園を利用できるよう努めます。
- ・来園者や施設利用者の多い時期には利用者への対応や安全管理、サービスが速やかに行えるよう、通常よりも多くのスタッフを配置するようにローテーションを組みます。

#### ●合理的で利用しやすい施設利用申し込みと わかりやすい広報の展開

- ・教養室等の公園施設の利用申込サービスの向上に向けて、窓口に限らないインターネット等での受付可能とするシステム導入について、市の支援をおこないます。また、周辺施設と空き情報を共有し、市民が活用しやすい仕組みも市の支援をおこない、ともに検討します。
- ・お客様の知りたい見頃の植物についての情報や、イベントなどの情報をリアルタイムに発信・掲示し、アンケートなどでその取り組みの反応をデータによって把握し改善します。
- ・利用者が施設やイベント情報を分かりやすいように、近隣道路や駐車場及び園路に適切な案内看板や情報掲示板を設置するなど整備を進めていきます。

#### ●『公の施設』としてのサービス提供

- ・『公の施設』としての観点から、幼児から高齢者、様々な障がいのある方々まで、全ての利用者が安心して公園を利用できるように公平・平等なサービスを行います。
- ・管理事務所に寄贈頂いた車いすを2台設置し、高齢者や足の不自由な方などにスムーズに貸出を行い、園内散策に利用していただけるようにします。
- ・公平・平等・安全・快適に公園を利用して頂くために、来園者に対応する全スタッフにコンプライアンスや公共サービスや安全管理や接遇に関する教育や指導を徹底します。
- ・常に園路や施設が安全・快適に利用できるよう、毎日巡視を行います。巡視では、公園内の安全面、衛生面、機能面を確認し、充実した施設運用に努めます。
- ・市民の関心の高い情報を積極的に提供していくために、「情報公開請求に関する運営方針」を作成し、どなたからでも情報公開を請求していただきやすい環境を整備していきます

#### ●公園利用マナー向上のための対応方針

- ・公園利用マナー上の課題に対し、スタッフによる声掛けを行う共に、HP上にて「さほう」をわかりやすく示すなど、告知にも努めます。下記の方針のもと、地域や関係部局と協力して解決します。

■ マナー関係

公園利用マナーの課題	区間2	区間5	対応策
・犬のノーリード問題	●	●	イヌ・ネコの飼い主へ向けたマナーイベント、躰け研修 マナーアップ期間を掲示板へ掲載し周知
・犬のフン放置	●	●	イヌ・ネコの飼い主へ向けたマナーイベントの開催 発見時に発見箇所へ、イエローカードを設置
・夜間園内での花火（夏季）	●	●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 警察と協力した夜間巡回の強化
・自販機ゴミ箱以外のごみ投棄	●	●	パトロール時回収、日報へ記入し情報共有 酷い場合、不法投棄として警察へ相談
・喫煙所外での喫煙	●	●	発見時にスタッフによる声掛けを実施、喫煙所へ案内 声掛け方法等研修を実施、対応方法のマニュアル化
・タバコのポイ捨て（園内各所）	●	●	吸い殻の本数を集計しデータとして報告 吸い殻が多い箇所への禁止掲示
・禁止遊具の使用（硬球、バット、ゴルフ等）	●	●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 警察と協力した夜間巡回の強化
・夜間スケートボード（BMX含む）の騒音苦情		●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 警察と協力した夜間巡回の強化
・EVホールや大階段での夜間たむろ行為		●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 夜間照明の光度調節、集まりにくい空間づくり
・夜間マンポ内での座り込み、動画撮影		●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 たむろしづらい、明るく美しい空間づくり
・マンポ内壁や壁面への落書き		●	地域防犯組織との連携、夜間パトロールの実施 たむろしづらい、明るく美しい空間づくり
・自転車/バイクの園内走行		●	スタッフによる声掛け対応 声掛け方法等研修を実施、対応方法のマニュアル化
・駐輪場外での駐輪による通行障害 （EVホール前やマンポ内）		●	発見時にスタッフによる声掛け、移動願のエフ取付け 放置自転車には張り紙で通知、保管所へ連絡
・駐車場付近での危険横断（西口駐車場）		●	横断防止柵の設置検討 安全な通路へ誘導する案内看板の設置
・公園備品の持ち出し（カラーコーン、椅子等）		●	持ち出されやすい備品で結束可能なものは結束 備品に所有者名、電話番号を明記
・駐車場外での路上駐車 （自歩道乗り入れや駐車禁止箇所への駐車）	●		発見次第、警察へ連絡

## (2) 公園における多様な主体による活動支援の取り組み

### ① コーディネートに関する職員の配置および取り組み内容

#### 【公園の機能を活かした多種多様なプログラムの開発・展開】

#### ● 市民活動・緑・事業者それぞれのコーディネーター間の連携を活かし、プログラム開発を支援します

- ・草津川跡地公園の管理運営手法の最大の特徴は、市民活動・緑の管理活動・事業者活動の各部会が連携して管理運営を進めていることです。その特徴を最大限に活かしていくために、各部会のコーディネーターを通してそれぞれの連携強化を図り、新たな活動主体の発掘や魅力的なプログラムの開発など、各活動部会の活性化につなげていきます。
- ・防災かまどを活用したプログラムやストリートファニチャーを使った健康促進プログラムなど、公園の機能を活用したプログラムがさらに展開していくよう、市民活動コーディネーターを複数人配置し、市民活動、緑の管理活動、事業者活動の連携を強化します。
- ・各部会の活動を地域や市民に知ってもらう機会として、各部会で連携を図り「ガーデンピクニック」「くさつ花まつり」などの大規模フェスを開催します。
- ・ガーデニングサークル「グラッシー」やバラ園の管理育成を学ぶ「くさつロザリアンクラブ」といったさまざまな緑の活動団体が、スキルアップセミナーなどを通じてお互いの強みを知り、団体間で交流が生まれる機会を創出します。また、これらの緑の活動団体と「生活を豊かにするガーデニング」や「レジンで作るお花のストラップ作り」「de 愛ひろばのお花ガーランド」などの緑をテーマにしたくさねっこプログラムが連携し、公園の機能を活用した充実したプログラムの開発につなげていきます。
- ・緑の管理活動を地域や市民により身近に感じてもらうため、月1回のお手入れ会のほか市民活動や事業者のイベントと連携しながら、緑をテーマにしたプログラムをつくりあげていく機会を創出します。
- ・「コルティカルチャー」などすでに緑にまつわるプログラムを実施している団体から、ローズガーデンの市民活動エリアなど、公園のガーデンエリアを管理する主体を発掘し緑の管理活動全体の活性化につなげます。
- ・草津川跡地公園では、キッチンカーの取り組みやマルシェなど、事業者を巻き込んださまざまなイベントを開催しています。それらとくさねっこプログラムの連携を図ることで、市民活動主体が非営利活動から営利活動に取り組む展開、また、営利事業者が地域課題を解決する市民活動プログラムを開催するなど、双方の活動を刺激し合いながら、より、公園利用者や地域にとって充実したプログラムを展開していきます。



de 愛ひろばのお花ガーランド  
プログラム



キッチンカーでの飲食販売に合わせ実  
施した昭和歌謡×大正琴のプログラム

● **さまざまな分野・主体（事業者・企業）との連携を促進します**

- ・キラリエ草津やアーバンデザインセンターびわこ・くさつなど、草津市の市民活動支援拠点との連携を図り、くさねっこパフォーマー登録を促進すると合わせて、くさねっこプログラムの公園外での活動展開を促進していきます。
- ・大学や高校、小中学校、研究施設や企業などの主体と連携し、公園の機能を活かした多種多様なテーマ（みどり、健康、防災、子育て、ゼロカーボンなど）に特化したプログラムを展開していきます。

● **草津川跡地公園と市民活動がより身近なものとなるための広報展開を図ります**

- ・草津川跡地公園や市民活動を地域や市民により身近に感じてもらうために、すでに連携して情報発信を展開している FM くさつとの連携をさらに強化していくとともにローカル web 情報サイトの「しがトコ」や「滋賀・びわ湖観光情報」、子育て層向けの地元情報誌「ママパスくさつ」や「ピース맘くさつ」、滋賀県が運営する健康づくりをテーマにした情報 web サイト「健康しが」など、地元情報誌や web サイトとの連携を強化していきます。さらに、ハッシュタグの活用など、公式アカウントだけでなく、パフォーマーやチームメンバー自身が発信していくためのサポートを展開し、SNS 発信の強化を図っていきます。



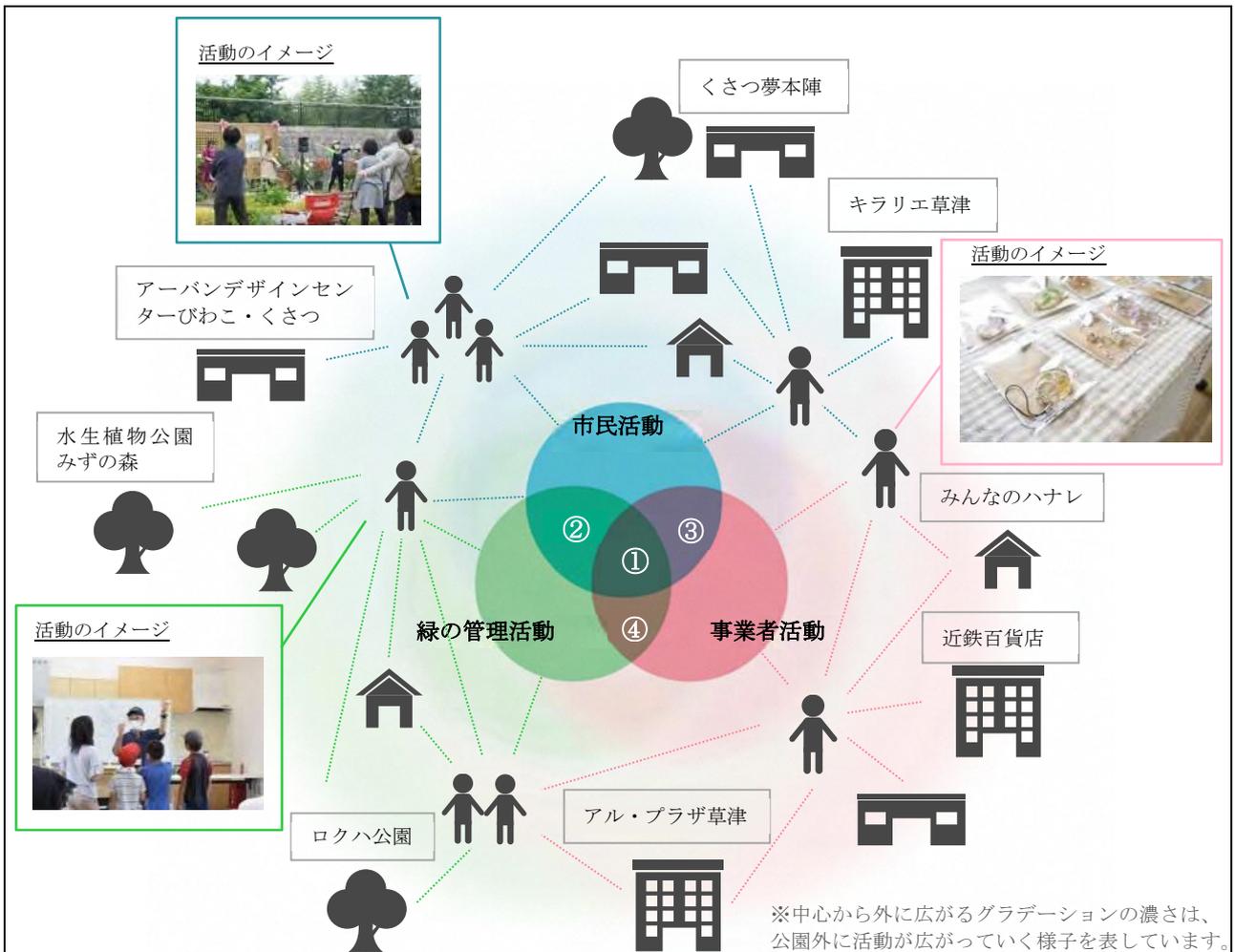
キラリエ草津のイベントに出張したくさねっこカフェプログラム



FM くさつへの出演



ママパスくさつ



<p>①市民活動 ×緑の管理活動 ×事業者活動</p>	<p>・ガーデンピクニックやくさつ花まつりなど、各部会の活動が連携したフェスの開催</p>	
<p>②市民活動 ×緑の管理活動</p>	<p>・くさねっこ DAY など複数のプログラムを同時開催する日に、植物の活用や園芸相談など、緑をテーマにしたプログラムの開催</p>	
<p>③事業者活動 ×市民活動</p>	<p>・防災グッズや非常食を手がける事業者やボーイスカウトと連携し、防災かまどを使った料理体験など防災をテーマにしたプログラムの開催 ・くさねっこを経験し、作品販売や教室など、新しい事業をはじめたい主体を支援するイベントの開催</p>	
<p>④緑の管理活動 ×事業者活動</p>	<p>・商店街ガーデンストリート事業で活動する事業者と緑の活動団体が一緒に緑の育て方を学ぶプログラムを展開</p>	

### 〈コーディネーターに関する職員の配置及び取り組み〉

#### ●コーディネーターに関する専門知識の地元への定着を図ります

- ・指定管理者の担当者を市民活動・緑の管理活動・事業者活動の各部会にコーディネーターとして配置します。
- ・市民活動コーディネーターについては、コミュニティデザインのスキルを持つ指定管理者の担当者に加え、新しく地元人材を雇用します。そして、コーディネーター人材として育成し、全国各地の豊富な事例を踏まえた市民活動プログラムの企画、ファシリテーションやグラフィックデザインなど、コーディネーターの持つ専門的なスキルの地元への定着を図っていきます。
- ・立川市子ども未来センター（東京都）など、コミュニティデザイン手法を活用して市民活動支援を実施している他の施設と連携して、コーディネーター研修プログラムを開発・実施しています。これらのプログラムも活用した研修、また、OJT などにより育成を進めていきます。
- ・草津川跡地公園や地域での活動を活性化するため、市民活動のさまざまな知識を学ぶスキルアップ講座「くさねっこカレッジ」を実施し、市民活動主体の発掘や継続的な人材育成を図ります。

② 草津川跡地公園管理運営会議の運営

●新たな支援の輪、チャレンジ推進の場となる「草津川跡地公園管理運営会議」の次の展開

・くさねっこ活動の支援や新たな団体としてロザリアン倶楽部立ち上げ、周辺の地域団体との連携等により公園を取り巻くプラットフォームは広がりを見せており、様々な活動団体のコラボレーションによる新たなプロジェクト始動の兆候もみえてきています。また、カーボンニュートラルや健幸都市など、公園だけでは解決できない新たなテーマもあり、まちとの連携の中で取り組むことが必要です。

●管理運営会議の運営方針：共通の課題やテーマに多様な主体とともに一緒に取り組み、みんなのチャレンジをビジュアル化してブランディングしながら、まちへと広げます。

・カーボンニュートラルや健幸都市などのテーマでは、公園だけでなく、まちも巻き込むことが必要です。課題やテーマに応じてメンバーを変えながら、挑戦するプラットフォームとします。

●全体会の運営方針：ルールや企画運営への助言、連携調整に加え、公園で生まれる様々なプロジェクトを支援するプラットフォームとします。

・全体会は公園を拠点に生じる新たなプロジェクトを応援し支援の輪を広げる役割とします。  
 ・全体会は年1回の開催し、多様な主体のニーズをきめ細かに聞き取り、方向性を定める実行力のある会議体とします。

●3部会の運営方針：各部会に専門のコーディネーターを配置し、支援の強化と部会同士の連携強化を図ります。コーディネーターを目指す地域人材を育成し、持続的な支援体制を構築します。

・専門的ノウハウを持つコーディネーターを各部会に配置します。また、地域人材を雇用し、将来的なコーディネーターとして活躍していただける人を育成、ノウハウ提供をおこないます。  
 ・各コーディネーターが定期的に連絡会を開催し、部会同士の連携を促進します。  
 ・各部会は年12回の開催とし、市民活動を支える中間支援組織としての役割を果たすとともに、ウェブ開催も併用し、若い世代も参加しやすい方法を活用します。

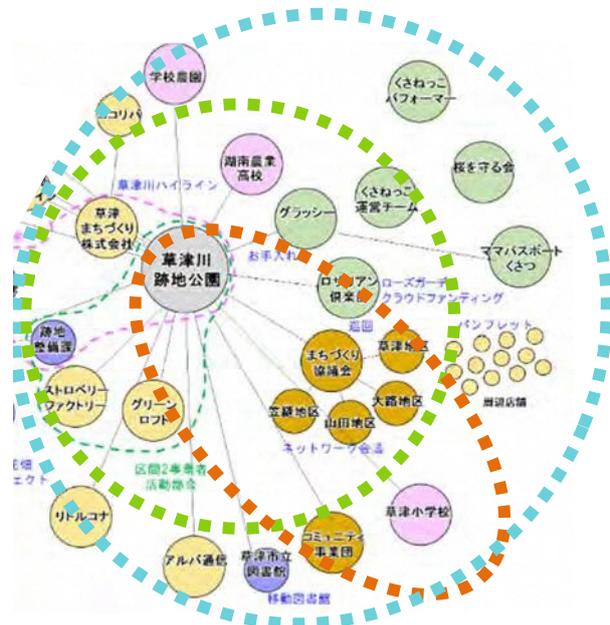
共通課題やテーマごとにメンバーが変化していくプラットフォームイメージ

[プロジェクトの一例]

- カーボンニュートラルプロジェクト
- 健幸都市くさつプロジェクト
- 中間支援ネットワークプロジェクト

まちへのにじみだしアクション  
『デザインウェブプロジェクト』

- 公園全体の共通テーマへ一緒に取り組み、チャレンジをビジュアル化(デザイン)
- プロのグラフィックデザイナーを起用しプロジェクト別トレードマークを発行



### (3) 民間事業者のノウハウを活用した集客や自主事業の取り組み

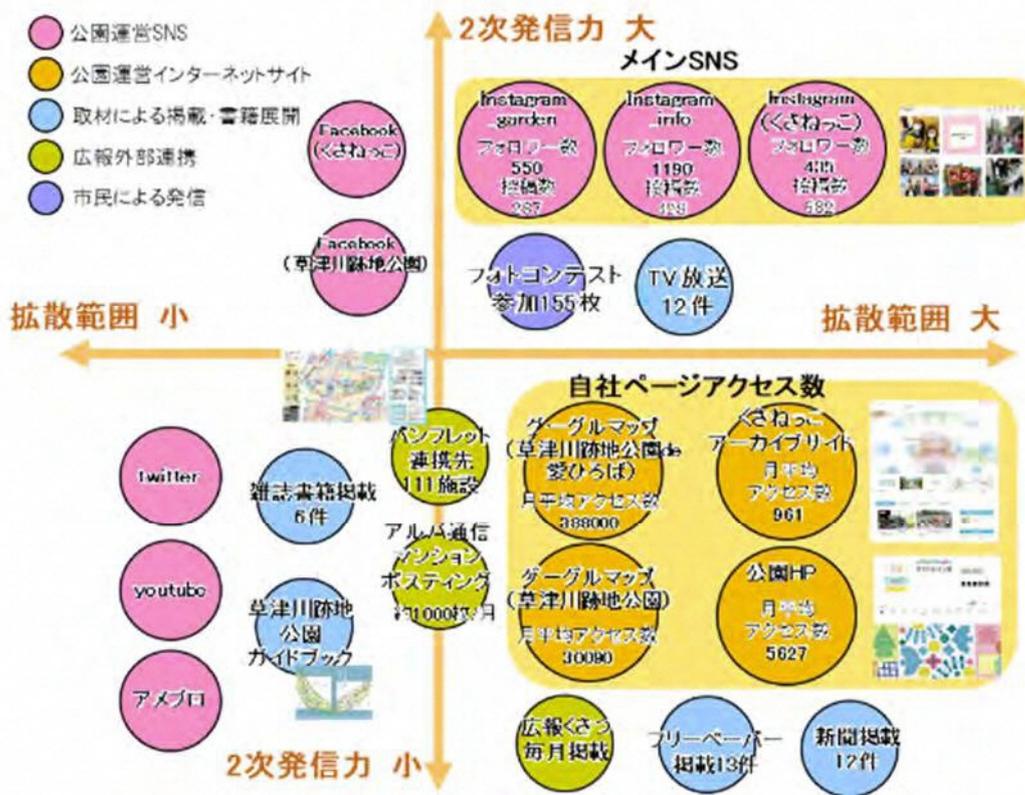
#### ① 広報・利用促進

##### ●多世代に届く、広く伝わる細やかな広報発信

・草津川跡地公園は、メイン SNS を中心とした多様な広報を展開してきました。若年層をターゲットとした SNS、インターネットサイトから、年配層にも届くチラシやカレンダーの発行、えふえむ草津のラジオ放送、市内全域に届く広報くさつへの掲載から、全国的な発信力をもつ外部イベントサイトの活用、新聞掲載などを継続して展開し、さらに各広報媒体のブラッシュアップを図り、より利便性の高く伝わる広報をおこないます。

##### ●ホームページの内容を大幅に拡充（ブラッシュアップ）し、公園の一体的な広報・情報発信を強化します

・当公園の理念や意義や魅力を、一体的に見やすく、分かりやすく、より詳しく説明します  
 ・ホームページ上に、公園に対する意見が述べられるアンケートシステムを導入します



●**ポストコロナツーリズムとしてのプロモーションネットワークやマイクロツーリズム推進**

- ・アフターコロナでは、身近な地域への旅行を楽しむことや、開放感のある屋外空間への需要が高まっている。滋賀県内などの周辺施設と連携し双方のプロモーション協力やマイクロツーリズムの提案をおこないます。



●**地域のメディアと連携したプロモーションによる、まちへ繰り出す広報**

- ・えふえむ草津と連携し、毎月2回火曜放送「de 愛 ai 彩情報局」を継続します。
- ・まちのコミュニティハブ ツナグ発行の「ママパスポートくさつ」との定期的な広報連携を検討します。
- ・一般社団法人草津市観光物産協会と連携を図り、草津市の観光拠点の1つとして魅力発信に努めます。



●**公園のファンづくりと市民発信力による他力本願型情報発信**

- ・草津川跡地公園の広報ツールは、2020年4月から着々とファンを獲得し、インスタグラムのフォロワー(インフォメーション)は1600件以上、グーグルマップの閲覧数は平均38万件、HP閲覧数は平均5000件と都市公園の中でも高い水準であると考えられます。今後は、見られる広報から、市民や事業者が主体的に発信したくなる広報へと成長させていきます。



●**公園とまちの魅力を勝手に伝えるお節介特集 (HP等でのテーマ型ページの作成)**

- ・公園にはあらゆるコンテンツが存在します。動植物、昆虫、活躍する人、ランニングやサイクリング、ピクニックスポット、桜の名所など、さまざまなことをテーマに、地域協働で取り組む公園スタッフだからこそ知り得る情報を活用しながら、まちと公園の魅力を発信していきます。



●公園だけでなく、地域事業者と連携しまちの魅力を発信するオリジナルパンフレットを継続し、企業とのネットワークの強化を加え、さらに公園とまちの回遊性を向上させます。

- ・公園パンフレットは、公園内の情報掲載だけでなく公園周辺店舗の掲載を重視し作成をおこないました。周辺地域と連携したパンフレットは、さらに多くの周辺店舗と連携を図ることに加え、周辺企業や団体とのネットワークを強化し、さらにまちの賑わい創出に繋がる公園パンフレットへと更新します。掲載店舗へはパンフレット設置し、公園からまちへ、まちから公園への行き来を誘発します。同時に、パンフレットを活用し、広告事業として、自主事業展開をおこないます。



●大阪・関西万博と連携した拡散力の活用

- ・2025年開催予定の大阪・関西万博のプロモーションと連携し、世界規模の拡散力を活用して草津川跡地公園の発信に努めます。



●いこーよ、ウォーカープラス等の全国ネットのサイト等を活用し、全国的なPRをします

- ・草津川跡地公園の魅力をさらに全国的に発信し、市内、県内のみならず、より広くの一般利用者増加に努めます。

●マス告知、地域告知、SNS、書籍化、コンクールなどを活用したマルチプロモーション

- ・書籍や雑誌への掲載、様々な賞・コンクールへの応募を行うことで、業界内での知名度を高めます。

2020年4月～2022年7月までの掲載一覧を次項に示します。

草津川跡地公園掲載資料一覧

ジャンル	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
フリー ゾーン	くまもりやまらっとうやましがらCity	湖南地域観光振興協議会	—	—	de愛ひらば/ai彩ひらば	モノ・コト出合いの場所として紹介
	びわこくまつびわ湖・草津観光ガイドブック	草津市観光物産協会	2020年3月号	—	de愛ひらば/ai彩ひらば	de愛ひらば全体とコロナの紹介、ai彩ひらばのストロベリー・ファクトリー・グリーンロフトザパークの紹介
	Healthytrip Shiga	滋賀県健康医療福祉部 健康寿命推進課 健康しが企業家	2020年3月1日	—	ai彩ひらば	ジョギングが楽しめる公園としてai彩ひらばの紹介
	びわこくまつびわ湖・草津観光ガイドブック	草津市観光物産協会	2021年3月号	—	de愛ひらば/ai彩ひらば	de愛ひらば全体とコロナの紹介、ai彩ひらばのストロベリー・ファクトリー・グリーンロフトザパークの紹介
	滋賀の湖南4市ガイドブックMaoくまもりやまらっとうやま	湖南地域観光振興協議会	2021年3月1日	—	de愛ひらば/ai彩ひらば	50字程度の簡単な公園の説明
	シガリスム GUIDE BOOK	公益社団法人びわこびわこーズビューロー	2021年3月8日	—	de愛ひらば/ai彩ひらば	70字程度の簡単な公園の紹介
	SHIGA'S GUIDE	ここ滋賀	2021年4月号	—	de愛ひらば	お花見の散歩みちとしてde愛ひらばの桜並木を紹介
	びわこつうしん	独立行政法人水産資源機構 琵琶湖発光会事務局	2021年春号	—	ai彩ひらば	琵琶湖沿岸市のおすすめスポットとしてai彩ひらばの写真を掲載
	大鶴区長見聞がより	大鶴区民生委員児童委員協議会	2021年5月1日	2021年4月26日	de愛ひらば	de愛ひらばの河津桜の写真的掲載
	Gardeners通信+	京都園芸株式会社	2021年春夏号	—	de愛ひらば	京都園芸が運営・サポートする公園の春から夏のおすそ分け情報の中の1つとして掲載
	SUUMO新築マンション(関西版)	クニストルーム株式会社	2021年8月17日	—	ai彩ひらば	京都市VS草津市の価値に向けて世帯に向けて草津市のおすすめスポットとしての紹介
	くまつまちあるき新聞	草津まちづくり株式会社	2021年7月30日	—	de愛ひらば	くまかつにおよび草津川(ハイライン)について
	Gardeners通信+	京都園芸株式会社	2021年秋月号	—	de愛ひらば	京都園芸が運営・サポートする公園としての紹介、クラウドファンディングの呼びかけ
	滋賀たけな号	草津市観光物産協会	2022年春号	—	de愛ひらば	滋賀の花かんターにおいて桜の紹介
	CHEKIPON	株式会社チキボン	Vol.179 2022.2	—	de愛ひらば	コロナの掲載
	びわ湖・草津観光ガイドブック 春号 4月泊賞受賞集	草津市観光物産協会	—	2022年2月25日	ai彩ひらば	ai彩ひらばの紹介(グリーンロフトの掲載)
	BIWACHIN新サイクリングロード	草津市観光物産協会	—	—	ai彩ひらば	新サイクリングロード関連チラシ
	湖南フリーモ	湖南フリーモ	2022年5月号	2022年3月28日	ai彩ひらば	「シャボン玉のなまごころ」の湖南フリーモを掲載
	ポップリード5月号	「株」レーシングプロ	2022年5月号	2022年4月10日	ai彩ひらば	ポップリード5月号巻頭
	Gardeners通信+	京都園芸株式会社	2022年春夏号	—	de愛ひらば	「公園へ行こう」の中でde愛ひらばの紹介、ローズガーデンの紹介
京都編覧 Leaf 6月25日号	京都編覧 Leaf	2022年6月25日号	—	ai彩ひらば	ai彩ひらばの掲載	
あやかけモア	株式会社エヌクリエイティブ	2022年7月号	—	de愛ひらば	くまかつコロナの掲載	
シガリスムトリップ	公益社団法人びわこびわこーズビューロー	—	—	ai彩ひらば	ai彩ひらばの掲載	
スーモ新築マンション関西の新しい公園特集	WAFFLEINC	2022年8月2日	—	de愛ひらば	de愛ひらばの魅力をエリアおまひせせらぎの紹介	
ジャンル	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
新聞	読売新聞	読売新聞	2020年4月10日	—	ai彩ひらば	ai彩ひらばで開催予定の「第11回草津市くまかつフェスティバル」の掲載
	びわ湖大津経済新聞	琵琶湖大津経済新聞	2020年11月1日	—	de愛ひらば	新近江温泉としてde愛ひらばの紹介
	朝日新聞	朝日新聞	2021年1月7日	—	de愛ひらば	草津ハイラインのコロナが全面的な存在の紹介
	京都新聞	京都新聞社	2021年5月31日	2021年8月20日	de愛ひらば	ロザリアン倶楽部クラウドファンディング
	京都新聞	京都新聞社	2021年9月4日	—	de愛ひらば	四季のバラ園、東春オープン
	日本農業新聞	日本農業新聞社	—	—	de愛ひらば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	読売新聞	読売新聞社	—	—	de愛ひらば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	京都新聞	京都新聞社	2021年10月3日	—	ai彩ひらば	ハロウィンワークショップ開催の紹介
	毎日新聞	毎日新聞社	2021年10月5日	2021年10月1日	de愛ひらば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	花万葉新聞	花万葉新聞社	2021年10月15日	—	de愛ひらば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	読売新聞	読売新聞社	2021年10月15日	—	ai彩ひらば	かけこみかた実演の紹介
	読売新聞	読売新聞社	2021年11月18日	—	びわ湖大津館	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	日本経済新聞	日本経済新聞社	2022年1月8日	—	草津川跡地公園	集客率が落ちている草津市の街所として紹介
	京都新聞	株式会社新道	2022年3月5日	2022年2月10日	ai彩ひらば	「新型サルトをいく1湖畔と歴史を楽しむドライブ」にて撮影スポットとして登場
	花万葉新聞	花万葉新聞社	2022年4月1日	—	de愛ひらば	コミュニティガーデナー養成講座開催のお知らせ
	京都新聞	京都新聞社 滋賀本社	2022年5月19日	2022年5月10日	de愛ひらば	ローズフェスタの告知
	中日新聞	中日新聞社 大津支局	2022年5月22日	2022年5月21日	de愛ひらば	ローズフェスタの告知
	毎日新聞	毎日新聞社 大津支局	2022年5月22日	2022年5月21日	de愛ひらば	ローズフェスタの告知
	産経新聞・滋賀県版	共同通信	2022年6月1日	2022年5月21日	de愛ひらば	バラ園の紹介
	読売毎日新聞	共同通信	2022年6月2日	2022年5月21日	de愛ひらば	バラ園の紹介
建通新聞	建通新聞社	2022年7月28日	—	草津川跡地公園 区民6	草津川跡地(区民6) 美観設計他業務の公開型プロジェクト 決定結果について	

ジャンル	番組・放送場所	所属	番組・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
放送局	3 Rivers トアミンチュエれびBBC	びわ湖放送株式会社	—	2021年4月9日 AM	de愛ひろば	—
	新津スケッチ（市政放送番組） 12月放送	新津市	2020年12月11日 2020年12月25日 18:55～19:00	2020年12月3日 15:30～17:00	de愛ひろば	—
	おとな新あるき旅	テレビ大津株式会社	2021年4月24日 18:30～	2021年3月30日 11:00～12:00	de愛ひろば	ご当地グルメや観光名所、地元の人とのふれあいの様子を送る
	NHK大津放送局 おうみ630	NHK大津放送局	2021年4月27日 18:30～ 19:00のうち5分程度	2021年4月16日	ストロベリー ファクトリー およびその他 露地	ストロベリーファクトリーの紹介、区間の簡単な紹介
	毎日放送MBS 4チャンネルテレビ録の下のマイスター	毎日放送MBS	2021年5月6日 16:00～ 17:00	2021年4月14日	a彩ひろば	ストロベリーファクトリーへの取材
	びわ湖放送 金曜オモシロしが	びわ湖放送株式会社	2021年6月25日 19:00～ 20:20	2021年6月12日、16日	a彩ひろば	新津川緑地公園の整備計画も含めた放送 グリーンフロントパークおよびストロベリーファクトリーへの取材
	おうみ発620	NHK大津放送局	2021年7月8日 18:30～ 19:00（内10分程度）	2021年6月22日 14:00～16:00（内30分程度）	新津川緑地公園	滋賀県内の子どもたちに防災について考えてもらう「防災ゲーム」づくりに取り組む滋賀県立大学の学生の取り組みを取材する。ゲームに使用する写真を撮影するために新津川緑地公園を訪ねる学生に同行し、制作の様子を紹介する。
	草津レポート	えふえむ草津	2021年9月17日（金）・9月24日（金）	2021年9月9日	新津川緑地公園	ロザリアン倶楽部パラシェのクラウドファンディングの取材
	えふえむ滋賀	えふえむ滋賀	—	2021年9月27日	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	ニュース滋賀いろ	びわ湖放送株式会社	2021年10月6日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	Webみんなの趣味の園芸配信	NHK	2021年10月6日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	毎日放送MBS 4チャンネルテレビ	毎日放送MBS	2021年10月13日（水）	2021年9月24日（金）	a彩ひろば	グリーンフロントパークの取材
	かんぽい講座ネットten	読売テレビ	2021年11月11日	2021年11月11日	de愛ひろば	しおばあ玉おじさん 寿申舞
	おうみ！かわら版（滋賀）	滋賀ローカルテレビ2tv	3月2日（水） 18:00、 20:00、23:00 3月3日（木） 6:30、10:15、 15:00、18:00、20:00、 23:00 3月4日（金） 6:30、10:15、 15:00	2022年2月27日	de愛ひろば	伊藤水先生の寄せ植え教室
	Week!かわら版（滋賀）	滋賀ローカルテレビ2tv	3月6日（日） 6:00、14:00 3月7日（日） 6:00、14:00 3月8日（日） 6:00、14:00 3月9日（日） 6:00、14:00 3月10日（日） 6:00、14:00 3月11日（日） 6:00、14:00 3月12日（日） 6:00、14:00	2022年2月27日	de愛ひろば	伊藤水先生の寄せ植え教室
	ココイロ	ABCテレビ	—	—	a彩ひろば	ストロベリーファクトリー近江舞臺いちごの紹介
	NHK大津放送局 おうみ630	NHK大津放送局	—	—	de愛ひろば	ローズフェスタの告知
	びわ湖放送 金曜オモシロしが	びわ湖放送（独立UHF局）	—	—	de愛ひろば	ローズフェスタの告知
	びわ湖放送 かいづりニュース	びわ湖放送（独立UHF局）	2022年5月25日	2022年5月19日	de愛ひろば	ローズガーデン放送
	共同通信	共同通信社	2022年5月26日	2022年5月19日	de愛ひろば	ローズフェスタの告知
風景の足跡	テレビ東京	2022年8月または9月	2022年6月1日～5日	de愛ひろば/a彩ひろば	新津川緑地公園ができる前とできた後の風景の違いの紹介	

ジャンル	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
雑誌・書籍	四輪 バブリックスペースのつくりかた	羊書出版社	2021年2月1日	—	de愛ひろば	設計プロセスからデザインまで区5の紹介
	LIXIL eyes	株式会社LIXIL	2021年2月1日	—	de愛ひろば	設計プロセスからデザインまで区5の紹介
	NHK「みんなの趣味の園芸」	NHK出版	2021年10月5日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	New Roles	産経広告社	2021年10月15日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	園づくりと研鑽	一般財団法人 全国建設研鑽センター	2021年10月30日	—	de愛ひろば	冊子表紙へのde愛ひろばの掲載
	マツルマガジン(通巻)23	株式会社	2022年4月15日発行	2021年10月27日	de愛ひろば	de愛ひろばをメインとした草津川跡地公園の紹介 (p21)、SUNDAY'S BAKE RIVER GARDENの紹介 (p82)
みんなの趣味の園芸	NHK出版(トビック&ニュース)	2022年3月22日	—	de愛ひろば	くまろザリアン倶楽部第二期生環境生募集	
Landscape Design	丸茂出版	2022年6月23日	—	de愛ひろば	草津川跡地公園のデザインプロセスの公開	
ジャンル	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
市政情報誌	広報くまづ	草津市	2020年8月1日	—	de愛ひろば	ガーデンセミナーの告知
	広報くまづ	草津市	2020年11月1日	—	de愛ひろば	KUSANEKKO D.I.Y. POP UP EXHIBITION の告知
	広報くまづ	草津市	2020年12月15日	—	ai彩ひろば	くまづサイクルフェスタの参加者募集
	広報くまづ	草津市	2021年1月15日	—	de愛ひろば	HIGH LINE協定締結のお知らせ
	広報くまづ	草津市	2021年3月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	GREEN LOFT THE PARKおよびSTRAWBERRY FACTORYの専売使用 「くまねっこ」パフォーマンス募集説明会の告知
	広報くまづ	草津市	2021年3月15日	—	de愛ひろば	京蔭deエッグペイントワークショップ、春の寄せ植え教室、鯉のぼり大募集の告知
	広報くまづ	草津市	2021年4月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	de愛ひろば促進会の専売使用 ヨガ教室の専売使用 津津店まつりにおけるde愛ひろばゾーンの紹介 お子さま野菜づくり教室の告知
	広報くまづ	草津市	2021年5月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	嵐火リレーの交通規制 「初夏の寄せ植え教室」、「園芸刀物のお手入れ教室」の告知
	広報くまづ	草津市	2021年6月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	七夕飾りの告知 伊藤本香宗さんの夏のフラワーアレンジメント教室の告知 水地智子さんの夏のフラワーアレンジメント教室の告知
	広報くまづ	草津市	2021年7月1日	—	de愛ひろば	伊藤本香宗さんの平日版の寄せ植え教室の告知 インスタグラムフォトコンテストの告知
	広報くまづ	草津市	2021年8月1日	—	ai彩ひろば	秋を野菜の育て方教室の告知
	広報くまづ	草津市	2021年9月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	伊藤本香宗先生の秋を楽しむ山野草の寄せ植え教室の告知 くまねっこカレッジの告知 ハロウィンワークショップの告知
	広報くまづ	草津市	2021年10月1日	—	de愛ひろば	伊藤本香宗さんのハロウィンの寄せ植え教室の告知
	広報くまづ	草津市	2021年11月1日	—	de愛ひろば	園芸フェアの紹介記事 de愛ひろば寄せ植え教室の告知
	広報くまづ	草津市	2021年12月1日	—	de愛ひろば	ai彩ひろばの準備しめ飾りづくりの告知 de愛ひろばでのお正月寄せ植え教室の告知
	広報くまづ	草津市	2022年2月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	ai彩ひろばのひな祭りイベントの告知 de愛ひろばでの早春の寄せ植え教室の告知
	広報くまづ	草津市	2022年3月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	移動図書館「わかさぎ」での巡回場所および時間の掲載 de愛ひろばでの春の寄せ植え教室の告知 de愛ひろばでの「コミュニティガーデナー養成講座」の募集告知
	広報くまづ	草津市	2022年4月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	草津川跡地公園に関する予算や今後の整備予定について 店場まつりについて くまづ花まつりについて de愛ひろばでのハーブの寄せ植え教室の告知 ai彩ひろばでのエッグペイントワークショップの告知 桜の園でみんなで歌って踊りましょう！
	広報くまづ	草津市	2022年5月1日	—	de愛ひろば/ai彩ひろば	公園へのフアンチャーの寄贈について de愛ひろばでの初夏の寄せ植え教室の告知
	草津市まちづくり手帖	草津市	—	2020年5月30日	de愛ひろば	草津川跡地公園de愛ひろばの紹介
	広報くまづ	草津市	2022年6月1日	—	de愛ひろば	de愛ひろばでの寄せ植え教室の告知
	広報くまづ	草津市	2022年7月1日	—	de愛ひろば	de愛ひろばでの寄せ植え教室/夏至づくり/花と心の教室の告知
	広報くまづ	草津市	2022年8月1日	—	de愛ひろば	夏休み自由研究応援！「花と心の教室」の告知

記事種別	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
その他	市営りにほ音楽会	市営りにほ音楽実行委員会	2021年6月1日	2021年5月30日	—	イベントへの出展掲載
	電動アシスト自転車広告用写真の撮影	株式会社アドビジョン	—	2021年6月30日	de愛ひろば/ai彩ひろば	電動アシスト自転車広告用写真の撮影
	滋賀リビング新聞社 Webサイト	滋賀リビング新聞社	—	—	de愛ひろば	滋賀リビング新聞社webサイトの「おでかけ」コンテンツの「公園」情報への掲載
	子育て応援情報誌ピース맘 (youtubeチャンネル)	ピース맘	—	2021年7月30日	de愛ひろば	youtubeチャンネルにて、東洋川緑地公園遊具や噴水の様子を紹介
	滋賀県庁 記者クラブ	滋賀県庁	—	2021年9月24日	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングのプレスリリース
	valuepress	valuepress	2021年9月26日	—	de愛ひろば	東洋川緑地公園ローズガーデンのクラウドファンディング開始
	NEWSRELEASE	NEWSRELEASE	2021年9月27日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングのプレスリリース
	PRタイムズ	PRタイムズ	2021年9月27日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングのプレスリリース
	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	2021年9月27日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	時事通信	時事通信社	2021年9月28日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	女性向けメディア「TRILL」	dely株式会社	2021年9月28日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	マチナビ	レッドクルーズ株式会社	2021年9月28日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	ファン KURAGE	—	2021年9月28日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	朝グリーン情報	朝グリーン情報	2021年10月1日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	PRタイムズ	PRタイムズ	2021年11月1日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	京都府会ガデーニュースブログ	京都府会株式会社	—	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	京都府会ツインナー	京都府会株式会社	—	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	京都府会ポイント	京都府会株式会社	—	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	京都HDイントラ	京都府会株式会社	—	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	小内山保・金子明人・野々口聡 S・N・S発信	京都府会株式会社	—	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	Webグリーンメール	—	2021年10月1日	—	de愛ひろば	ローズガーデンクラウドファンディングの紹介
	ダランパレス東洋	フリーライター	—	2021年12月21日	de愛ひろば	マンション（ダランパレス東洋）の広告パンフレットへの掲載
	分譲マンション「(仮称) びわ湖津」ホームページ	スプラッシュ	—	2022年2月14日	de愛ひろば	マンションホームページへの掲載
	日本造園緑地協会機関紙	大島造園士会	—	—	de愛ひろば	日本造園緑地協会関西支部の機関誌における視察研修会の報告
	びわ湖東洋新聞の新サイクリングロード開通チラシ	東洋市観光物産局	—	—	ai彩ひろば	びわ湖東洋新聞の新サイクリングロード開通のチラシへのai彩ひろばの写真の掲載
	滋賀県立大生人間文化学部地域文化学科 卒業論文研究対象	滋賀県立大生	2022年3月17日	2021年11月12日	de愛ひろば	卒業論文「持続的な都市公園つくりを目的としたエリアマネジメントの史跡-東洋川緑地 de愛ひろばと事例に」
	京都府会HPお知らせ欄	京都府会	2022年3月15日	—	de愛ひろば	くまづろザリアン倶楽部第2期生募集
	京都グループイントラ	京都グループ	2022年3月15日	—	de愛ひろば	くまづろザリアン倶楽部第2期生募集
	京都グループイントラ	京都グループイントラ	2022年4月1日	—	de愛ひろば	庭場まつりの告知
	京都府会マイボウス掲示板	京都府会	2022年4月1日	—	de愛ひろば	庭場まつりの告知
	京都府会ホームページお知らせ	京都府会	2022年4月1日	—	de愛ひろば	庭場まつりの告知
	京都府会Facebook	京都府会	2022年4月1日	—	de愛ひろば	庭場まつりの告知
CREATORS	個人プロガー	2022年5月20日	2022年5月18日	de愛ひろば	ローズエステタ業務の紹介	
スーモマンション	SUUMO	—	2022年6月10日	ai彩ひろば	マンション広告記事への掲載	
クリエイターEXPO	—	2022/6/29~7/1	—	—	くまねつこイラスト作成のまちょさんが出展	

●各種メディア・ネットワークとの関係を強化して集客します

京阪グループの関連・地元協力施設、県内市内の公共施設や商業施設などでの広報物の掲示・配布が可能です。また、西日本で園芸業界を牽引するネームバリューを活用し、業界及び学会（造園・園芸・公園）での情報発信も行います。

- ・地元のFM草津との連携企画・イベント活動の強化
- ・NHK「趣味の園芸」講師、京阪園芸所属「ローズソムリエ」小山内健による全国広報
- ・NHK出版「みんなの趣味の園芸」でのイベント紹介
- ・花卉園芸新聞での花と緑のイベント紹介
- ・グリーン情報の「グリーンメール」での花と緑のイベント紹介
- ・業界及び学会（造園・園芸・公園）での情報発信
- ・京阪ホールディングスの観光宣伝チームに関東他での広報依頼
- ・京阪グループの関連・地元協力施設などでのポスターやチラシなどの掲示・配布
- ・ホームページと管理公園サイト（10サイト以上）でSNSによる情報リンク発信
- ・ガーデナーズ通信（春・秋 各1万部）での情報発信



**8 草津川跡地公園**  
 旧草津川の跡地を活用した全長7kmの公園。園内では四季を通じて多彩な花を楽しむことができ、「くさねっこ活動」として市民が主役となったイベント活動なども活発です。  
 9:00～17:30  
 火曜（祝日の場合は翌日）  
 077-562-5010  
 (deあひろば)

— ご支援ください! —  
**クラウドファンディングで市民参加型ローズガーデン作りに挑戦します!**  
 草津川跡地公園ではローズサークル「くさつろザリアン倶楽部」が新しく誕生。公園に新しいバラ園を作るためにクラウドファンディングを活用して資金を集めます!ぜひご支援をよろしくお願いいたします。  
 募集期間 9/27(月)～11/30(火)  
 詳細はこちらまで▶

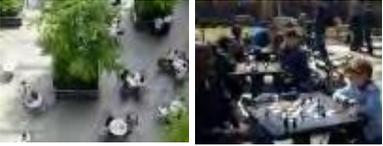
目標を達成しよう!

私も応援しています!

ローズソムリエ 小山内 健の動画メッセージはこちらより▶

② 自主事業

草津川跡地公園の指定管理者が中心となり、地元や活動する市民、知己団体、企業を巻き込みながら、事業を展開していきます。イベントのように一次的な賑わいづくりだけでなく、長く続く事業の在り方や草津川跡地公園の屋外空間活用の自由度を高める取り組み、そして、それらを実現するための制度的ハードルへのチャレンジをおこないます。

プロジェクト事業	定常（日常化）事業	制度活用・制度設計
<p>マルチステークホルダー型（パーク・プラットフォーム&amp;キュレーション）の取り組み</p> <p>○区間2と区間5を結ぶ、公園内で楽しむ新交通の取り組み</p>  <p>○駐車場不足を解消する空地駐車場の検討</p>  <p>○花まつり、グルメライドなどの、まちとの連携企画</p>  <p>○企業協賛事業 展示販売、試供品での企業連携</p>  <p>○リトリートキャンプ（カーボンニュートラルを学ぶプログラム）</p> 	<p>小規模多発型の実験的活用と一時的な賑わいの日常化</p> <p>○コンテナなどを常設し、物販や滞留空間、講習ルームとして幅広く活用</p>  <p>○公園内道路での新たな機能の設置検討（休憩や日陰空間、植木鉢等の常設）</p>  <p>○ガーデンカフェテリア（夜間）のエリア拡大検討</p>  <p>○プロジェクト事業のうち、成果が見込めるものを定常化を検討していきます</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">定常化へ</div>	<p>プロジェクトや定常事業を担保し可能性を広げる制度活用と将来のための制度提案</p> <p>○短期ほこみちへのチャレンジ</p>  <p>○JR トンネル上部利用のルール整理提案</p>  <p>○P-PFI など民活導入のによる効果的な公園運営のための制度設計や収益還元の仕事み検討支援</p>   <p>○教養室の夜間利用の需要検証とルール検討</p> <p>○利用料金制の検討への協力</p>

カーボンニュートラル・健康都市くさつなどの共通テーマや課題

ほこみちの短期活用

### ③ 多様な主体の力を結集し、ともにつくる（共創する）フェスの実施

市民、事業者、地域団体など多様な主体とともにつくるフェスを開催します。フェスでは、かたち、うごき、しくみが連動した取り組みをお披露目します。



①市民、事業者などのあらゆる属性が垣根を越えた協働のきっかけをつくり、跡地公園の新たな資産となる取り組みやコンテンツを形成します

②自己実現する姿を共有し合い、わたしらしく暮らす生きがいを実感し、心とまちの健康へ

③成功体験とノウハウを積み重ね、公園のある魅力的なまちへの持続的な関与者がうまれる拠点とします

### つくるプロセスから協働する、フェスの進め方(想定)

会議  
(WS)①

- ・ 広く声をかけ、協働するステークホルダーを募集  
(予算確保のため、企業協賛や人的支援も募集)
- ・ コラボレーションにつながるマッチング WS

中間支援側の調整会議

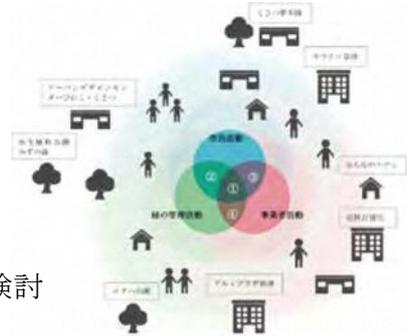
中間支援同士連携

会議  
(WS)②

- ・ みんなのプログラムが輝かせるコンセプトメイク
- ・ フェス当日に出会いや応援を共有するプログラム検討

会議  
③

- ・ プログラムの見せ方を魅力的にするコーディネート
- ・ 広報発信の協働



実行委員会関係者のイメージ

フェスのイメージ



さまざまな主体のプログラムが集まります。各部会の連携により、異なる属性の主体がコラボレーションしたプログラムを展開します。

[プログラム例]

- グラッシーとくさねっこがコラボしたガーデンカフェ
- ロザリアン倶楽部メンバーによるバラの使い方講座
- 企業協賛プログラム
- 常設機能の設置による空間使いこなしの展示

区間2・区間5・公園周辺施設など  
公園とまちを会場に

(区間6の見学など機運醸成の取り組み検討)



フェスのそのあと、につながる 公園ファンミーティング(反省会と次の展開を話し合い)の実施

#### ④ その他の取り組み

##### ●視察事業の継続と市民の有償ボランティアの取り組み

- ・2021年度に開始した自主事業としての有償視察の受け入れは2022年8月時点で計5団体、49名の利用があり、需要が高いことがわかりました。継続して受け入れをおこない、質の高い視察プランを提供していきます。
- ・市民活動プランへのニーズが高く、実際に活動する市民の声を聴く機会を視察プランの中に組み込んでいきます。その際には、有償ボランティアとして位置付け、小さく稼ぐ取り組みをおこないます。

##### ●広報媒体を活用した自主事業展開の強化

- ・草津川跡地公園ガイドブックやくさねっこアニュアルレポートを積極的に活用した自主事業展開を強化します。より多くの人目に触れ、専門的な立場からも公園の魅力発信となるよう努めます。



##### ●指定管理者の特徴やノウハウを生かした、市民のモデルとなるような自主事業の実施を検討

- ・春と秋に2回、ガーデニングフェアを企画し、京阪園芸ガーデナーズの臨時売店も協力する園芸市を開催し、花苗や園芸資材などを販売し、講習会や園芸相談会なども開催します
- ・人気講師による「寄せ植え」や「フラワーアレンジメント」セミナーを年10回程開催します
- ・花と親しむことによって子供たちの情操教育をおこなう「花育セミナー」を年1回程開催します
- ・その他、バラの栽培セミナーや芝刈り体験会等



##### ●市と緊密に連携して、情報のセキュリティ管理やコンプライアンス順守に努めます

- ・情報発信やイベントの企画・運営には、市の関係部署と緊密に連携しておこない、京阪グループのセキュリティやコンプライアンス規定に準拠して安全・安心な運営に努めます

## (4) 長期包括契約を生かしたサービスの継続的改善やコスト削減に向けた取り組み

### ① サービスの継続的改善方法

#### ●3ヶ年ロードマップの作成と推進

- ・36カ月のスケジュールを組み、年度毎にスパイラルアップしていく長期的なPDCAサイクルプランを構築できます。※別紙参照

#### ●PDCAマネジメントにより、計画的かつ継続的に改善やコスト削減に努めます



- ・全体の計画から個別の取り組み課題についても、PDCAマネジメントにより「計画」・「実行」・「確認」・「修正」を繰り返す中で、サービスの向上やコストの削減を図ります。

#### ●指定管理事業の目標値を定め、成果と課題の『見える化』を継続し、精度の高い管理運営をおこないます

- ・3ヶ年の事業目標と年度ごとの目標を定め、各年度ごとに成果と課題を顕在化します。それら事業進捗をもって管理運営会議全体会への報告や市との協議をおこないブラッシュアップを図ることで、事業全体のスパイラルアップに努めます。
- ・定量的、定性的な評価を見える化を用いて継続することで、次に目指すべき方向性を明確化し、行政、事業者とも共有することができます

ガーデン管理	植栽管理の基本方針に基づいた上質感のあるガーデン管理を行う	①美しいガーデン景観の維持・創出	②健全な植栽管理による良質な空間づくり	③スパイラルアップの仕組みづくり
	①ナチュラルなガーデンの演出 ②メリハリのある緑空間の育成	●ガーデン毎の年間管理計画の構築 ●長期的な緑生進捗を見据えたガーデンの維持 ●植栽管理マニュアルの更新とビジュアル化	●樹木液による定期点検の実施 ●生育不良樹木の調査と改善の実施 ●低木、地被類の適切な密度調整	●年4回のセンサリーツアーを実施し課題共有 ●センサリーツアーで出た意見の反映
<b>2年間の成果</b>				
<b>①美しいガーデン景観の維持・創出</b>		<b>②健全な植栽管理による良質な空間づくり</b>		<b>③スパイラルアップの仕組みづくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な進捗を見据えたガーデンの維持・改善</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木液による定期検査</li> <li>・技術社員によるスタッフ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センサリーツアー課題共有</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽管理マニュアルの更新とビジュアル化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育不良樹木の調査と改善</li> <li>・低木・地被類の適切な密度調整</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センサリーツアー協議事項の実現 (30項目の改善)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい景観の維持・創出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園管理ノウハウの活用による省力化</li> <li>・芝刈回数、選択性除草剤の散布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を再活用した土留めの確保</li> <li>・フォロチャー散布による日陰空間の創出</li> </ul>
<b>3年目の展望</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>①美しいガーデン景観の維持・創出</li> <li>●長期的な緑生進捗を見据えたガーデンの維持</li> <li>●植栽管理マニュアルの更新とビジュアル化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>②健全な植栽管理による良質な空間づくり</li> <li>●樹木液による定期点検の継続と改善の実施</li> <li>●高中低木、地被類の適切な密度調整</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>③P-D-C-Aサイクルでスパイラルアップを進化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然ガーデン」</li> <li>「フォレストガーデン」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●緑物の専門家の起用によるガーデンの高質化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Plan: 詳細な作業日程の作成と工数管理</li> <li>Do: 前年度との工数比較と結果の考察</li> <li>Check: 作業の省力化・高質化の検討</li> <li>Action: センサリーツアーでの品質チェック</li> </ul>

緑の管理 活動部会	①市民協働による美しいガーデン管理	②ガーデンの魅力をまちへと波及させる拠点	③新たな活動の受け皿となるガーデン創出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存活動の活動主体の拡大</li> <li>●既存活動団体との共同管理の継続</li> <li>●市民団体のスキルアップのための技術提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園内外での展開を視野に入れた市民団体の形成</li> <li>●花やみどりに関し体験するプログラム提供</li> <li>●周辺のまちでのガーデニング活動の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな市民活動拠点となる新規ガーデンの整備</li> <li>●活動ニーズに合わせた施設計画</li> <li>●公園で一体となったガーデン活動の推進</li> </ul>
	2020年度	2021年度	2022年度
市民協働による美しいガーデン管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランドオープン(毎月第1土曜日)</li> <li>遊歩道管理活動(毎月1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコリバ環境教育推進支援</li> <li>ママバス活動参加</li> </ul>	
ガーデンの魅力をまちへと波及	<ul style="list-style-type: none"> <li>花やみどり講座</li> <li>年報プログラム実施回数:20回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一歩先着活動(まつろザリアン倶楽部併設)</li> <li>ローズガーデン体験開始</li> <li>年報プログラム実施回数:21回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まつろザリアン倶楽部2期生募集</li> <li>学校ガーデン体験開始</li> <li>年報プログラム実施回数:21回</li> </ul>
新たな活動の受け皿となるガーデン創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道管理の一環として共同で管理</li> <li>遊歩道</li> <li>公園広場</li> <li>公園広場</li> <li>公園広場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディングスタート</li> <li>クラウドファンディングスタート</li> <li>クラウドファンディングスタート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バラ園造成工事</li> <li>バラ園造成工事</li> <li>バラ園造成工事</li> </ul>

### 2年間の成果

#### ①市民協働による美しいガーデン管理

既存活動団体の活動主体の拡大

- 【ママバス活動】事業部を中心とした、イベント情報、子育て情報などで馴染んでいるママグループ。グラッシーの活動日に家族で参加し、世代を超えた活動の中で、ガーデンの楽しさを共有している。
- 【2020年度】参加者数:81名

既存活動団体との共同管理の継続

- 【コソコバの活動】指定管理者が複数箇所とデザインを提案、検討し、全体のバランスが保たれ、作業を継続。
- 【2020年度】参加者数:48名、参加者数:85名
- 【2021年度】参加者数:48名、参加者数:85名

市民団体のスキルアップのための技術提供

グラッシーのメンバーを中心に、専門の講師によるガーデン活動のスキルアップを行うセミナーを実施。

- 【2020年度】開催回数:4回、参加者数:85名
- 【2021年度】開催回数:4回、参加者数:85名

#### ②ガーデンの魅力をまちへと波及させる拠点

公園内外での展開を視野に入れた市民団体の形成

- 【2020年度】...2回開催
- 【2021年度】...2回開催
- 【2022年度】...2回開催(予定)

花やみどりに関し体験するプログラム提供

- 【2020年度】年報プログラム数:20回
- 【2021年度】年報プログラム数:21回
- 参加者数合計:271人

新たな市民活動拠点となる新規ガーデンの整備

- 面積:約240㎡
- 高さ:2.5m程度
- バリアフリー:200㎡
- 色や香りイメージしながら、ローズガーデン倶楽部のメンバーで作業の確保を行った。

公園で一体となったガーデン活動の推進

- 【2020年度】参加者数:48名、参加者数:85名
- 【2021年度】参加者数:48名、参加者数:85名

#### ③新たな活動の受け皿となるガーデン創出

市民協働による美しいガーデン管理

- 既存活動団体との共同管理の継続
- 市民団体のスキルアップのための技術提供(スキルアップセミナー開催、出張講座など)

ガーデン活動をまちへと波及させる取組み

- 保全、活用型の市民活動の立ち上げ(桜を守る会)
- コミュニティガーデンの育成(まつろザリアン倶楽部)

新たな活動の受け皿となるガーデンの創出

- くまねっこレゾの成果を踏まえた緑の活動の検討
- 地域と連携したガーデン空間の創出(学校ガーデン)

市民活動	モチベーションマネジメント	活動主体の発育育成	プロモーションの強化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「くまねっこ」グラッシー活動の立て直し</li> <li>●市民活動部会の運営、体制整理</li> <li>●宮本メンバーの発掘</li> <li>●チームメンバーの活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規活動団体の発掘・アサイン</li> <li>●勉強会、交流会の開催</li> <li>●プログラムの開発</li> <li>●活動団体支援、イベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>●コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>
	2020年度	2021年度	2022年度
モチベーションマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>「くまねっこ」グラッシー活動の立て直し</li> <li>市民活動部会の運営(毎月第1土曜日)</li> <li>宮本メンバーの発掘</li> <li>チームメンバーの活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規活動団体の発掘・アサイン</li> <li>勉強会、交流会の開催</li> <li>プログラムの開発</li> <li>活動団体支援、イベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>
活動主体の発育育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規活動団体の発掘・アサイン</li> <li>勉強会、交流会の開催</li> <li>プログラムの開発</li> <li>活動団体支援、イベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規活動団体の発掘・アサイン</li> <li>勉強会、交流会の開催</li> <li>プログラムの開発</li> <li>活動団体支援、イベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>
プロモーションの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くまねっこのブランディングを踏襲した情報発信</li> <li>コーディネーターの認知向上のための発信</li> </ul>

### 2年間の成果

～2021年10月～

モチベーションマネジメント

市民活動部会の発足

活動主体の発育育成

プロモーションの強化

～2021年11月～

モチベーションマネジメント

活動主体の発育育成

プロモーションの強化

#### 3年目の展望

モチベーションマネジメント

- 現状
- 市民活動部会の再編(任期制と新規募集体制の作成)
- 運営チームの発掘(運営チームの発掘、くまねっこチームメンバーとしての新たな活動団体の発掘)
- 今後の展開
- 新年度メンバーの育成(運営チームメンバーの育成を通じて市民活動部会、市民活動部会に所属させる)
- コーディネーターの認知向上のための発信
- くまねっこチームメンバー(くまねっこカラー)を活用した活動の推進を図る

活動主体の発育育成

- 現状
- くまねっこの管理体制の運用により活動団体の増加、将来的にプログラムを増加し中・長期の育成
- 今後の展開
- 職員管理方法などロールモデルの構築とプログラム開発体制の構築
- 職員研修会、交流会、イベント企画推進などによる新規活動主体の育成・育成

プロモーションの強化

- 現状
- くまねっこのブランディングの発行(毎月)
- くまねっこのブランディングの発行(毎月)
- 今後の展開
- くまねっこのブランディングの発行
- くまねっこのブランディングの発行



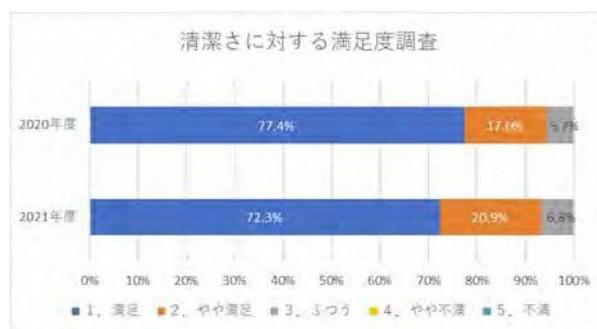
●各種チェックシートやマニュアルを作成し、定期的にブラッシュアップをおこないます

- ・施設管理や植栽管理のためのチェックシートを作成し、管理記録を残します。
- ・「報・連・相」ノートを作り、課題や申し送り事項を記入し、全員で確認します。
- ・仕様書に基づき、管理運営のための作業の標準化を図るためにマニュアルを作成します。
- ・基本となる管理運営マニュアルのほか、危機対応マニュアルなどを作成します。
- ・既存のマニュアルを定期的に見直し、ブラッシュアップをおこないます。

② 利用者ニーズの把握

●公園の利用に関する統計・調査・アンケートなど計画的に行いデータ化して活用します。

- ・来園者数を正確に把握し、管理施設・各種イベントの利用内容・参加者数などを記録します。
- ・来園者や施設利用者やイベント参加者の声や要望などをアンケートなどで記録します。
- ・ホームページにいつでも公園に対する意見が述べられるアンケートシステムを導入します。
- ・利用データやアンケートの結果などを分析し、サービス改善のための適切な対策を講じます。
- ・四半期ごとに市民の意見をまとめて公開し、すぐに改善できるものは速やかに実施し、時間の掛かるものなどは問題改善の方向を示して真摯に対応します。



③ コスト削減の方向性

●快適なガーデンの維持と、市民参画を両立させたコスト削減を検討します

- ・自治会管理ガーデンや新しいガーデンの計画を検討し、市民協働エリアを拡充することで、指定管理者の管理コスト削減を図ります。
- ・開園後3年を経過し、低木・地被の密度調整が必要となるため、間引き株をストック可能なナーセリーの整備を検討します。間引き株を公園内の補植や、公園外での市民活動に使用することで、処分費用の節約とあわせて市民活動の活性化が期待できます。

**・既存活動団体との共同管理の継続**

コミュニティガーデンにおける活動を通じて、指定管理者開催のスキルアップセミナーやママバスくさつと共同で意欲向上を図り、目標とする虹色花壇完成を目指し、作業を実施。

- ・現状、雑草の発生が多い法面に対し、イネ科草本型法面への移行を検討します。初年度に選択性除草剤を施用しキク科の雑草やクズの発生を抑えることで、以降の管理コスト削減が期待できます。

**・公園管理ノウハウの活用による省力化**




エパーフローを活用した芝生灌水の省力化

殺虫・殺菌剤の計画的な予防散布

**・芝刈回数の増、選択性除草剤の散布**




刈込回数増と機械化によるコスト削減

- ・刈込回数: **6回→8回**
- ・刈り幅: **70cm→120cm**
- ・集草: **人力→機械**

除草人員を9割減

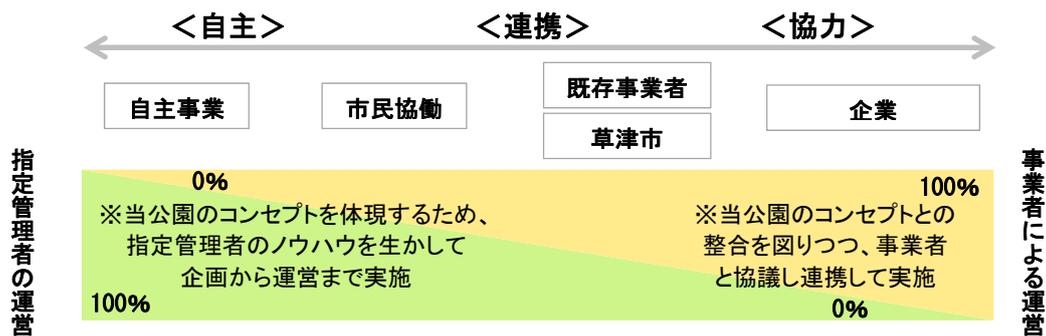
- ・年2回除草剤散布
- ・区間2: **75人→8人**
- ・区間5: **70人→7人**

**●人材発掘・育成を強化することで、市民協働の段階をレベルアップし、効率化を図ります**

- ・ボランティア養成講座の実施などにより、市民活動を支える人材育成を推進します。活動のリーダーを担う市民を増やすこと、エリアマネジメントを視野に入れた事業者折衝なども委譲していくことで、人件費のコスト削減が期待できます。

**●多様な主体が関わる草津川跡地公園ならではのコスト削減の考え方**

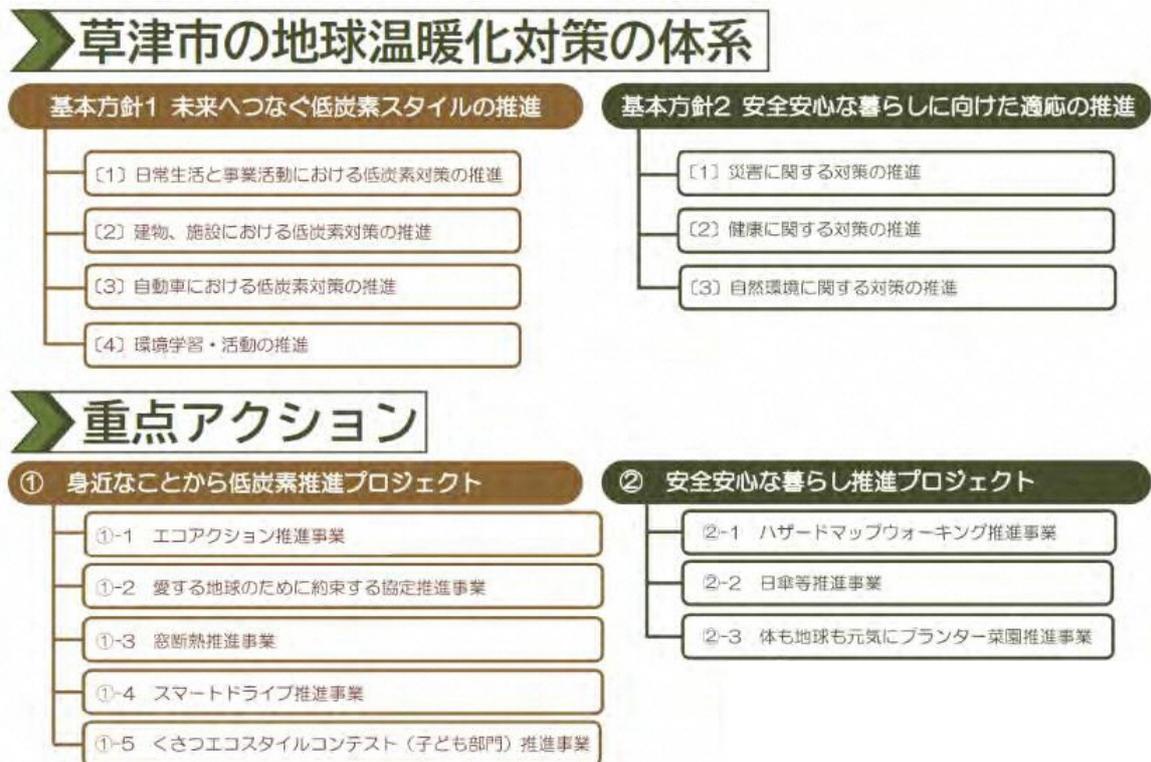
- ・イベント内容は、指定管理者の関わり方の度合いにより、「自主」・「連携」・「協力」と区分して検討します。多様な団体との連携を実践する中で、当公園で展開すべき見本となるイベントを自主事業として指定管理者が見せていくことが重要となります。
- ・自主事業は指定管理者のノウハウを生かし、市民にとってインパクトを与える内容となるよう考慮します。
- ・限られた予算の中で賑わいを創出し収益を上げるため、多様な団体を誘致し、「連携」「協力」イベントも増やしていきます。



## (5) ゼロカーボン、健幸都市くさつの推進に向けた取り組み

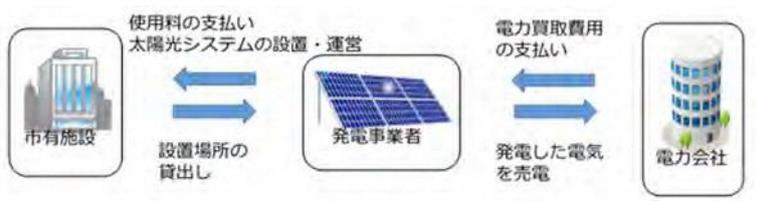
### ① ゼロカーボンに関する取り組み

草津市で令和3年3月に策定した「第4次草津市地球を冷やしたいプロジェクト（草津市地球温暖化対策実行計画）」に記載されている重点アクションに基づき、以下のような取り組みの実施を検討します。



### ●エネルギーの地産地消

- ・市有施設「屋根貸し」による太陽光発電の取組である「まちなかソーラーシステム」の導入を検討します。公園管理事務所等の施設屋根、駐車場などを含め、発電事業者と太陽光発電の導入検討をおこない、節電はもちろん買電による収入確保の可能性を検討します。
- ・剪定枝、間伐材等の木質バイオマスの推進を図ります。（製材用材、パルプ・チップ用材、合板用材、燃料材等への利用など。）



### ●公園全体をつなぐエコな移動手段の導入

- ・草津川跡地は東西に長く、公園全体連携、回遊性向上のため、園内移動手段を確保することが活性化に不可欠であり、移動手段として次世代モビリティの導入を検討します。
- ・園内のアクティビティとしての要素だけでなく、公共交通と目的地間の“ラストワンマイル”を補完するシェアリングサービスとして、公共交通機関と組み合わせ、地域内における移動をサポートし多様な移動手段の提供に貢献します。



### ●パーク&サイクルの取り組み

- ・来街者が区間2で車をとめ、自転車に乗り換え区間5や市街地を周遊できるように検討します。
- ・区間5においても同様のサービスを実施します。
- ・区間2と区間5で相互に乗り捨てができるように利用者の便宜を図ります。



### ●事業者等によるライフスタイルノベーションの推進

- ・管理事務所はもちろん、公園内のレストラン事業者を中心にゼロウェイストの推進によるゴミゼロを目指します。具体的には、脱プラ・5Rの推進・生ごみのコンポスト化等の実施。
- ・事業者は、様々な活動（エコマルシェ、地域資源の活用、運用時の廃プラ・脱プラ等）を通じて、市民や地域に対し、健康づくりやゼロカーボンに向けた新たなライフスタイルを発信します。



### ●市民活動との連携について

くさねっこに登録している団体等と連携し、以下ようなプログラムの開催が考えられます。

- ・園内の清掃から出る落ち葉から、肥料をつくり、土壌づくりから始めるガーデンづくりプログラムの開催
- ・屋上緑化などを手がける民間事業者や企業と連携し、住宅緑化やそれに適した植物の育てかたを学ぶプログラムの開催
- ・複数のプログラムを同時に開催するくさねっこ DAY などの機会を利用して、ゼロカーボンテーマにしたプログラムを開催し、市民が市民に向けて啓発する機会を創出
- ・ゴーヤやホップなどツル科の植物の生態を学び、緑のカーテンを園内に設置
- ・くさつエコスタイルコンテスト（子ども部門）で提案された内容について、実現の場として公園を活用





有ファイル化し、かつ各人の資料は電子ファイル化したものを共有するように努めます。

□ ごみ排出量の削減のために

基本的に本公園内にごみを持ち込まず、出さないように施設の利用者には協力を呼びかけます。本公園内の緑地管理で発生した枯草やサッチ（芝生表層の芝草の間にたまる茶色の層状のもの）などは出来る限り堆肥化して活かします。また、剪定枝や倒木などは、なるべく再利用できる木質チップにするなどの工夫を致します。

□ 緑化管理の水準の向上

- ・樹木管理は、高い技術力を持つスタッフ（一級造園施工管理技士等）が、樹木台帳に基づいたチェック表を使って定期的に園内巡回を行い、適切かつ効率的な育成を行います。
- ・危険木や病虫害の発生を初期段階で発見し、早期に対処することで事故や大きな損害を未然に防ぎます。
- ・芝生地や法面の雑草地のメンテナンスは技術力の高い専門業者に委託することによって、業務の効率化を図ります。
- ・地球環境を考えるイベント（例：落ち葉や剪定枝を使った焼き芋体験会など）で、参加者と具体的なエコ活動の取組みについて考えます。
- ・花とみどりに関する市民ボランティアを更に育成・強化し、施設周辺環境を良化します。

□ 推進体制

月次の運営委員会で、統括責任者が環境への配慮の課題を数値化して確認し、全関係者でPDCAサイクルを回して、目標と課題の達成を目指します。

□ 職員に対する研修など

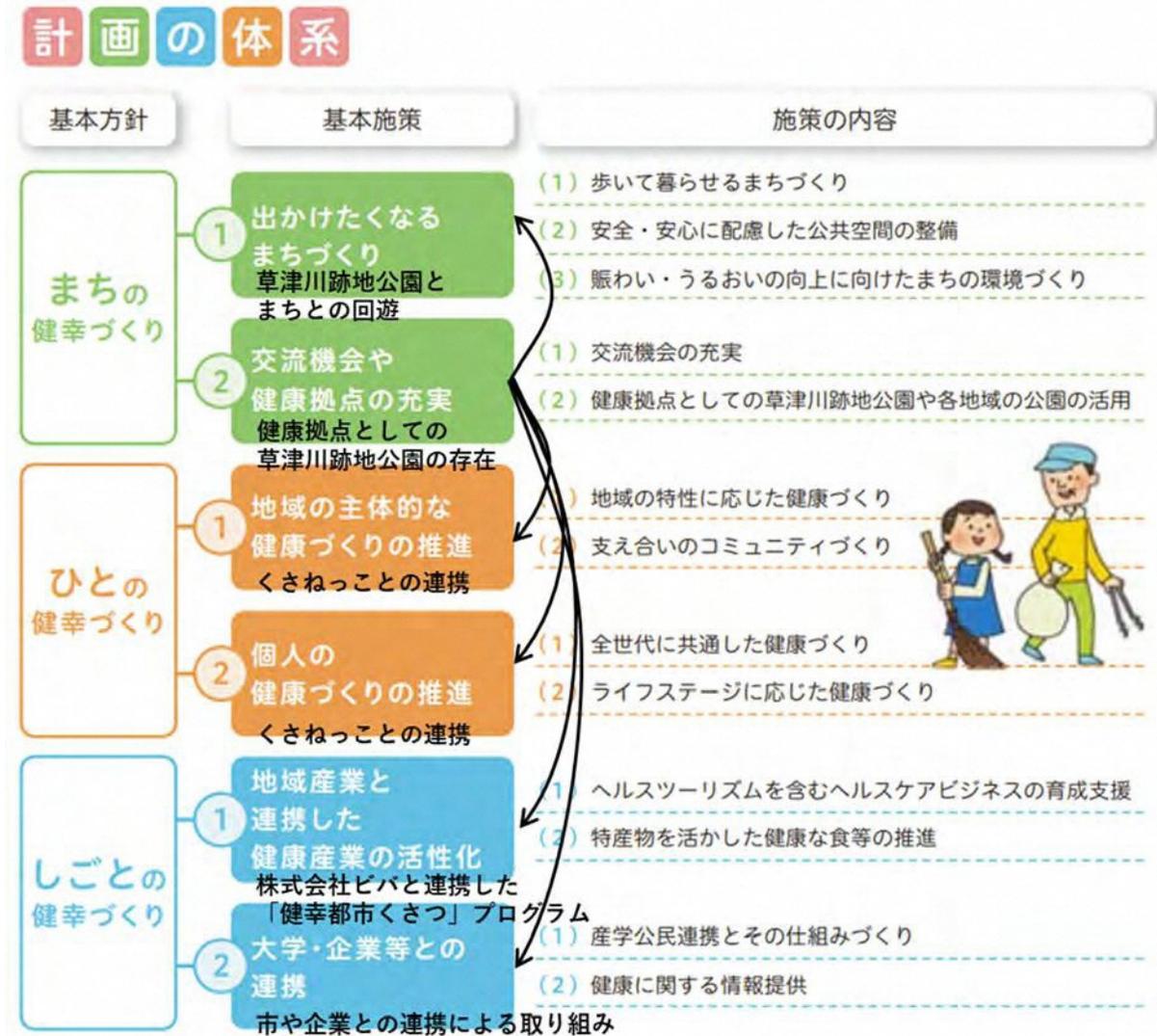
基本研修の中で、地球環境やエコについての問題を考える内容を盛り込んで実施します。

□ 実施状況の点検・評価

年度の締め括る運営委員会において、目標とする数値や課題が達成できたのか確認し、次年度の目標設定を行います。

## ② 健幸都市くさつの推進に向けた取り組み

草津市で平成 29 年 3 月に策定した「草津市健幸都市基本計画」や現在策定が進められている「草津市健幸都市づくり基本方針」にある施策の方向性に基づき、以下のような取り組みの実施を検討します。



### ●草津川跡地公園とまちとの回遊

公園だけでなく公園周辺店舗を掲載したパンフレットは、周辺店舗との連携をより深め、また周辺企業や団体とのネットワークを強化することで、よりまちの回遊性の向上に資するよう改定をします。掲載店舗にはパンフレットを設置し、公園からまちへ、まちから公園へと人の往来を誘発します。

### ●健康拠点としての草津川跡地公園の存在

市民活動や企業との連携による様々なプログラム展開を実施し、草津川跡地公園を草津市内における健康として役割を発揮します。

## ●くさねっことの連携について

くさねっこに登録している団体等と連携し、以下ようなプログラムの開催が考えられます。

- ・市民が気軽に楽しく日常的に運動するプログラムを「くさねっこ」から発信
  - 現在開催しているラジオ体操プログラムを多世代に向けて展開
  - 筋トレやストレッチに使えるストリートファニチャーの紹介
  - 草花を楽しみながらのウォーキングの実施
  - 生演奏の音楽や歌に合わせたストレッチや体操
- ・ガーデンシティくさつの推進に向けて、公園のみどりの管理を担う、グラッシー、ロザリアン倶楽部、桜守の活動支援、学びや実践の機会の創出
- ・健康、子育てなど市内の関係課へのヒアリングを実施し、公園で活動する市民団体との協働の可能性を検討



毎週土曜日に開催されているラジオ体操のプログラム



ストリートファニチャーなど公園の設備を学ぶカレッジ



公園を走りなが木や花の写真を撮影するプログラム



ローズガーデンで実施したストレッチのプログラム

## ●株式会社ビバとの「健幸都市くさつ」連携検討

年間4回。タイミングは春と秋。ビバのインストラクターが来園して実施を検討します

### ①体力測定会&カウンセリング

体組成測定や体力測定を行い、トレーナーによるカウンセリングの実施を検討します

### ②屋外レッスン

エアロビクス等の有酸素プログラムを屋外で実施検討します

### ③リレーマラソン大会

市内一般参加チームを募集し、草津川跡地公園内で実施検討します

### ④ポールウォーキング

市内一般参加者を募集し、草津川跡地公園内で実施検討します



## ●その他、市や企業との連携による取り組み

- ・草津市の健康に関わる部署や関連団体と協働して、草津川跡地公園で、「健康都市くさつ」の取り組みが進むように積極的に取り組みます。



- ・市民を対象に健康増進をテーマとした専門指導者による講座・講演会やラジオ体操、高齢者向けの介護予防や筋力アップ体操、de愛ひろばの健幸ウォーキングコースやとai彩ひろばで側道を活用したお花を楽しむノルディックウォークなどを企画します。
- ・草津まちづくり株式会社に協力して草津川跡地公園で開催される「健幸フェア」の支援活動を行います。
- ・自主事業として、区間4のP-PFI 予定者ビバと連携した定期的な健康作り活動の推進します。
- ・自主事業として、全日本ノルディック・ウォーク連盟と連携した活動を定例化します。





(1) 管理運営体制、職員配置の考え方

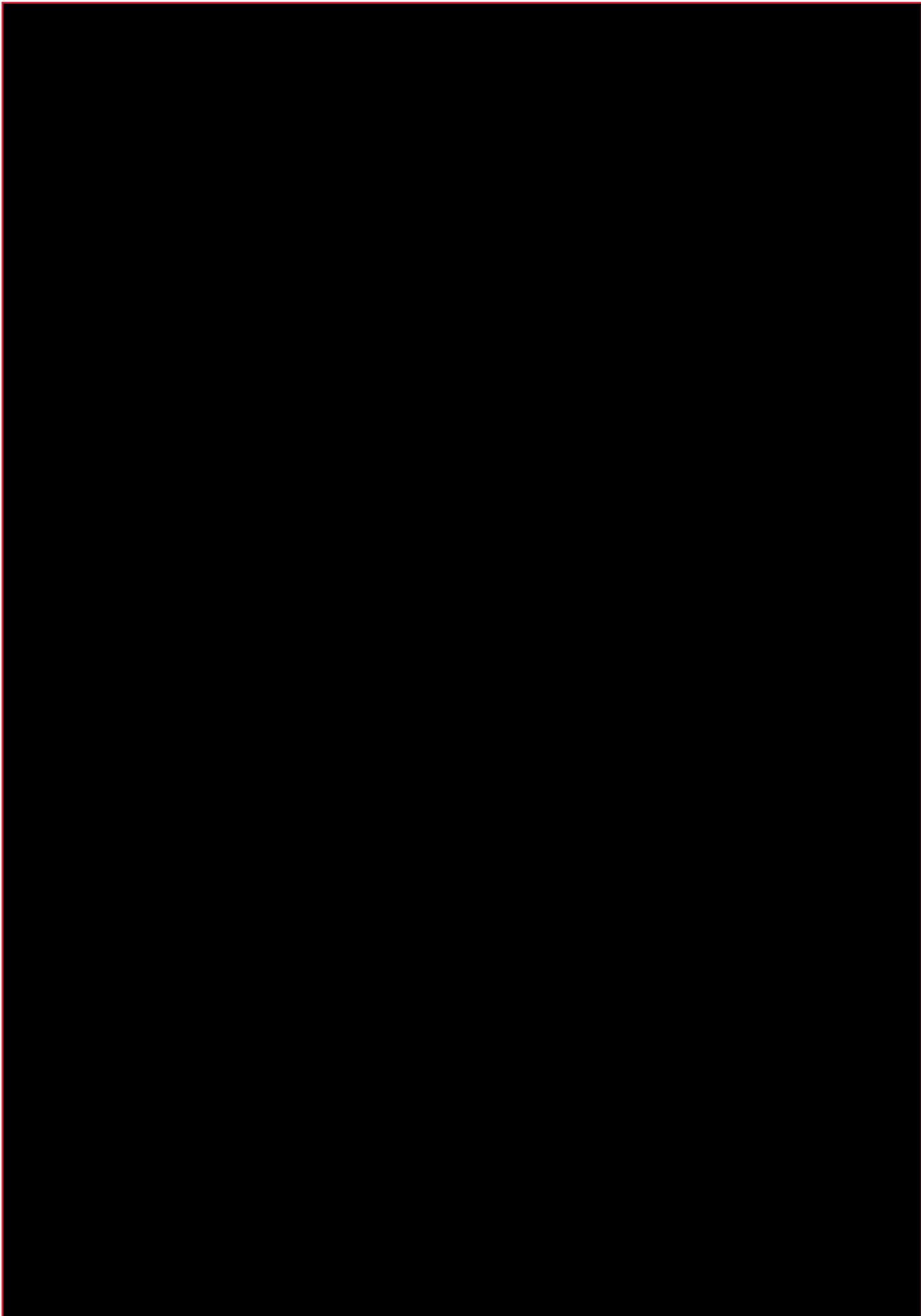
① 管理運営体制

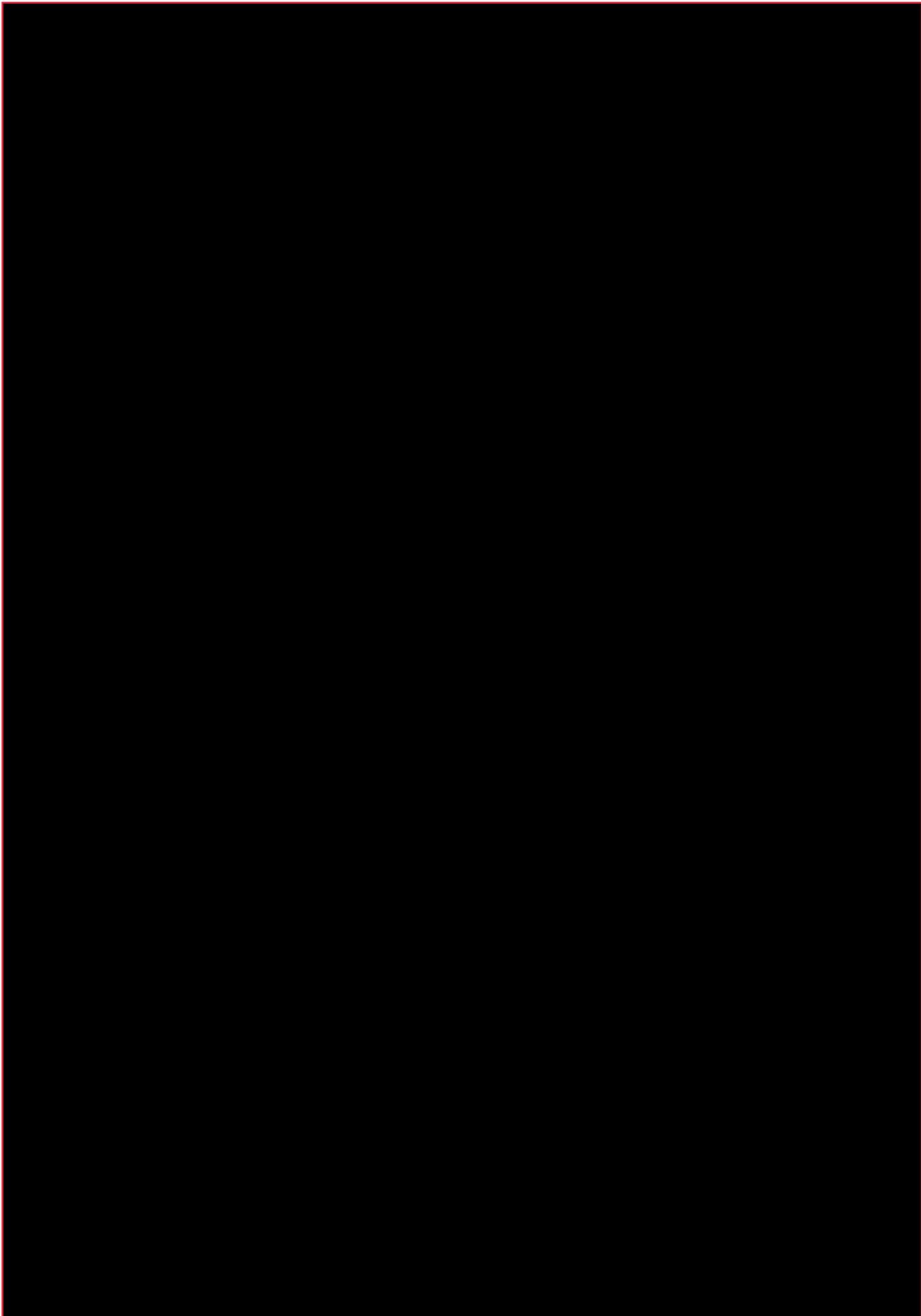
草津川跡地公園の魅力を引き出し、総合的な基本方針等に挙げた各項目を実現するためには、草津川跡地公園の指定管理の経験と高度なマネジメントができる専門職域を有した企業の連携・協力が必要です。私たちは、草津川跡地公園および他の都市公園の指定管理の経験と、本提案の肝でもある「かたち・うごき・しくみ」を体現する専門企業・専門家集団の組成を以下のように実践します。

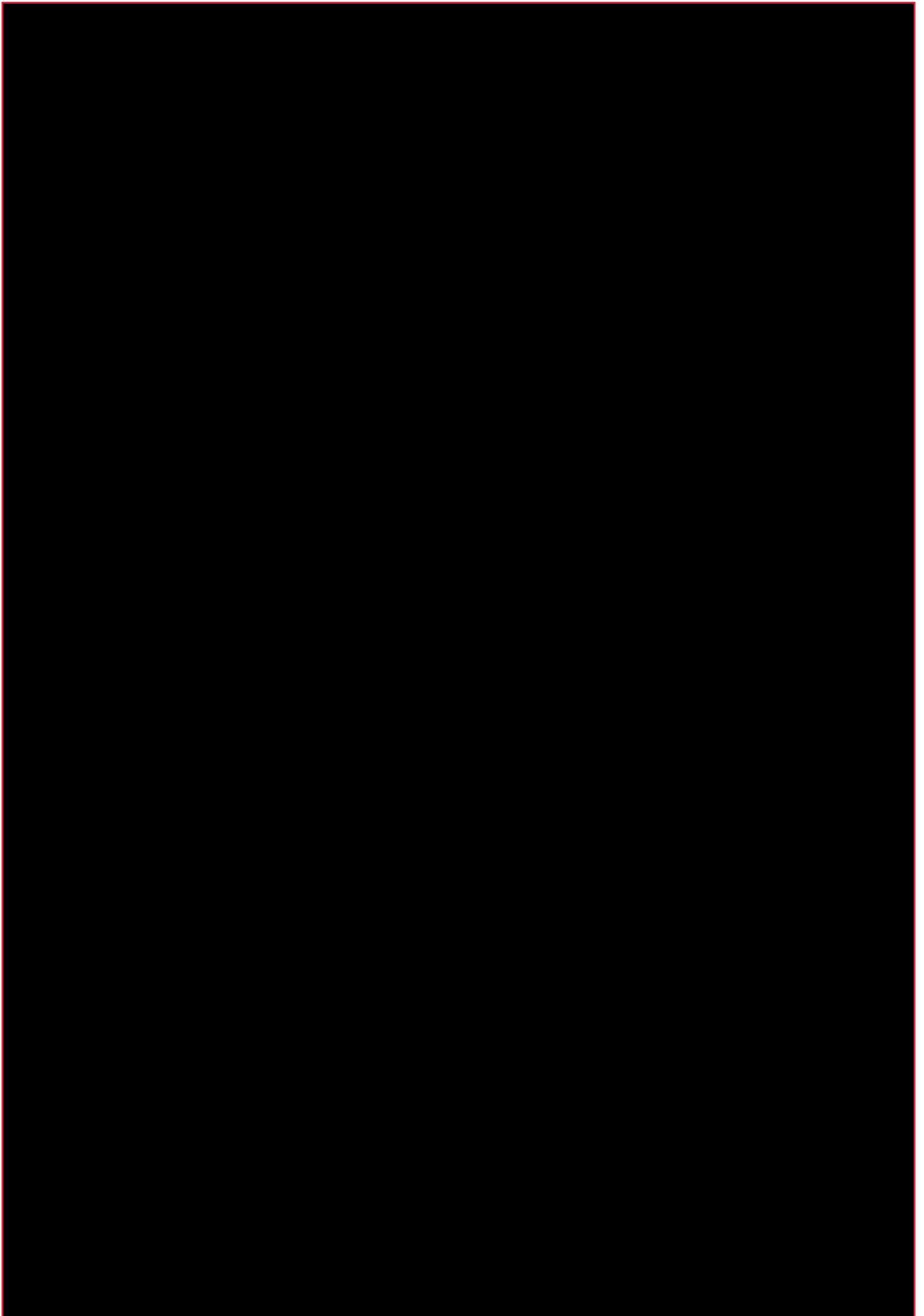
●都市公園の指定管理ノウハウの結集

草津川跡地公園は、区間毎に多様なキャラクターを持つ公園であり、区間の特徴にあわせて、地域密着・広域集客・特殊管理・市民協働などの様々な管理スキルが必要とされます。私たちのチームは、特徴の違う都市公園の指定管理経験を、草津川跡地公園の指定管理に結集することができます。各公園で培ったノウハウの良いところを凝縮し、チームとして最大のパフォーマンスを発揮します。

公園名称	特徴
草津川跡地公園 (地域密着&広域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に愛される快適なガーデンの維持管理</li> <li>性格の違う複数区間の公園管理</li> <li>市民協働の充実による活力ある公園</li> </ul>
万博公園 (広域型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪北摂の大規模、広域集客型の公園</li> <li>プロモートイベントの多数開催による運営</li> <li>駐車場料金等の利用料金制の導入公園</li> </ul>
花の文化園 (特殊管理型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室を含めた特殊高度な植物の管理</li> <li>入園料を指定管理費用に充当する運営</li> <li>イルミネーション等による夜間時間の活用</li> </ul>
鶴見緑地 (テーマ型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>花博理念の継承公園（市民への花文化の普及）</li> <li>次世代モビリティ等の民間活力を導入</li> <li>パークゴルフなどのスポーツ施設も管理</li> </ul>







## (1) 人材確保・採用計画の考え方

## ① 人材確保

公園運営の中心となる所長や副所長などは、有用な資格と経験を持つ人材を社内・グループ内で選任し、その他の運営スタッフは、地元を中心に公募して、幅広く就労の機会を設定するように努めます。また、地元人材へのノウハウ提供、育成をおこない、地域が公園管理運営の担い手となっていくことを目標とします。

- ・管理運営の責任者である所長は、適切な資格や技能や経験を持つ人材を確保します。
- ・コーディネーター人材は、JVの各構成企業から専門知識を持つ適切な人材を確保します。
- ・園地管理業務責任者は、園内の管理運営の責任だけでなくガーデンドesignの知識を有し、市民との植栽管理のコーディネーター能力のある人材を確保します。
- ・市民活動コーディネーターは継続して常勤し、さらに、適切な地元人材を採用しコーディネーターとして育成します。
- ・企画広報業務は、現在採用している地元人材を継続して雇用し、ノウハウ提供に努めます。
- ・その他の人材は、基本的に地元を中心に、公募により適切な人材を確保します。
- ・公園事務所のスタッフも女性を中心とした雇用をし、女性が活躍できる職場を作ります。
- ・小さな子供をもつ女性や限られた時間でしか働けない方にも就労機会を広げられるように、短時間でのシフト組み合わせ制に取り組みます。
- ・多世代の女性に働いてもらうことにより、子育ての相談をしたり、子供の急な発熱でも勤務の交代を相談しやすい環境をつくれます。

## ② 採用計画について

計画的に人材の採用を行い、人材の事前教育にも十分な時間を設けます。

- ・市議会での指定管理者の決議がされてから、すぐに内定している社内・グループ内での人事調整を進めます。
- ・同時に、別紙VI-1の運営開始までのスケジュールのように、その他スタッフの公募を速やかに行います。
- ・2月初旬までには公園運営の全スタッフを確定します。



(安全研修の様子)

## (2) 人材育成・研修体制の考え方

### ① 人材育成の考え方

地域の人材を採用し、長期的に公園に関わる人材とします。受付業務、園地管理業務、市民活動コーディネーター、企画広報においても地元人材を採用し、専門的なノウハウを提供し育成することで、将来的にも公園に関わり続ける地域に根ざした公園運営を目指します。

公園に関わる全スタッフが、草津川跡地公園草津川跡地公園ができた背景や市民協働による公園づくり、草津川跡地公園が目指すことを全員に学んでいただき、誇りを持って働くスタッフを育成します。



JV 構成企業である、京阪園芸株式会社の観光施設や他の都市公園で培った「安全・安心・快適」を中心としたサービスマインドを、日々のOJTや全体・専門研修やグループ情報紙などで徹底して教育・指導します。また、公園の運営に有用な資格の取得をバックアップし、それを実践に活かしていきます。

- ・ひらかたパークやガーデンミュージアム比叡などの京阪グループの観光施設や他の都市公園で培ったサービスのノウハウやおもてなしの精神を研修・朝礼・OJTなどで教育します。



- ・現場でのOJT以外に、万博記念公園等で開催する技能講習会や造園組合・公園緑地協会での技能・資格取得のサポートにより全スタッフの技能の向上を図っています。
- ・公園非常勤の樹木医や一級造園施工管理技士らと現場スタッフをバックアップする本社のPMO事業部（管理スタッフ・デザイナー・技術陣）による定期会議をおこないます。

## ② 研修体制の考え方について

定期的に現場スタッフのミーティングをおこない、受け身の講座だけでなく、課題の共有や解決策の検討を一緒におこない、積極的な意見交換を大切にします。業務に対して積極的な関わりを生み、公園スタッフとして誇りを持ち働く人材育成に努めます。また、スタッフと共に年度ごとの目標を設定し、その成果を挙げた場合は表彰会をおこないモチベーション維持に繋がります。公園管理運営業務の上で重要な、公園配置前にマナー、人権や安全研修をしっかりと行い、公園配置後も日々のOJTはもちろんの事、計画的に専門的な知識や技術を補うための研修を行います。

- ・利用者に優しい公園、美しい公園、快適な公園を提供するには、公園に従事するスタッフの姿勢や協力体制が重要だと考え、スタッフ教育に努めて利用者満足の向上を目指します。
- ・マナー研修、人権研修、安全管理研修、コンプライアンス研修、専門知識の研修や市民活動研修等を実施予定です。
- ・ISO9001やBCP（事業継続計画）認証を取得しており品質管理や災害復旧に関する情報も共有していきます。

### ●マナー研修

来園者への対応  
ホスピタリティー  
コミュニケーション など

### ●人権研修

LGBT  
ハラスメント など

### ●安全管理研修

救急救命処置  
防災訓練  
AED研修 など

### ●コンプライアンス研修

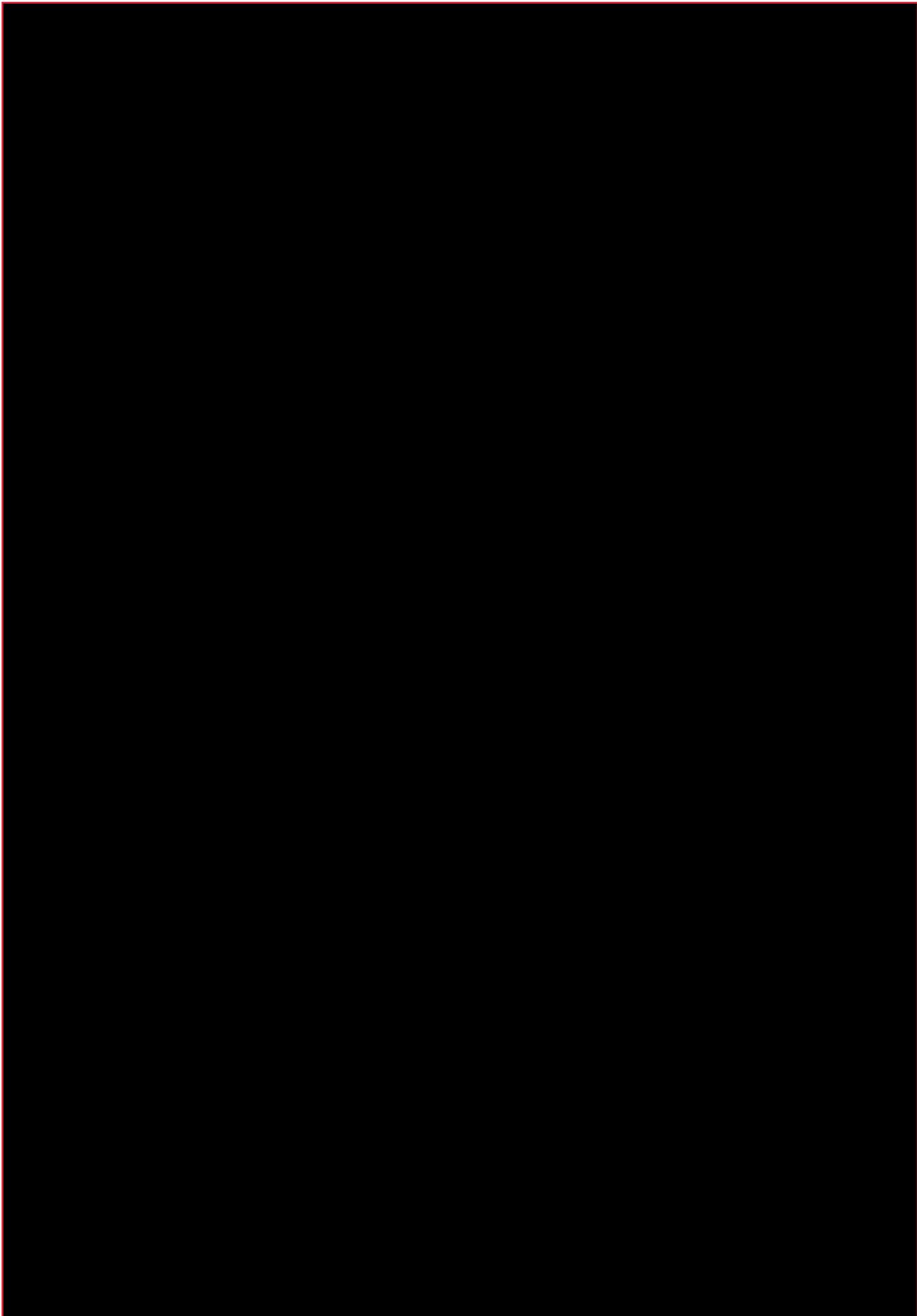
ハラスメント  
情報セキュリティ など

### ●専門知識の研修

植物について  
設備メンテナンス など

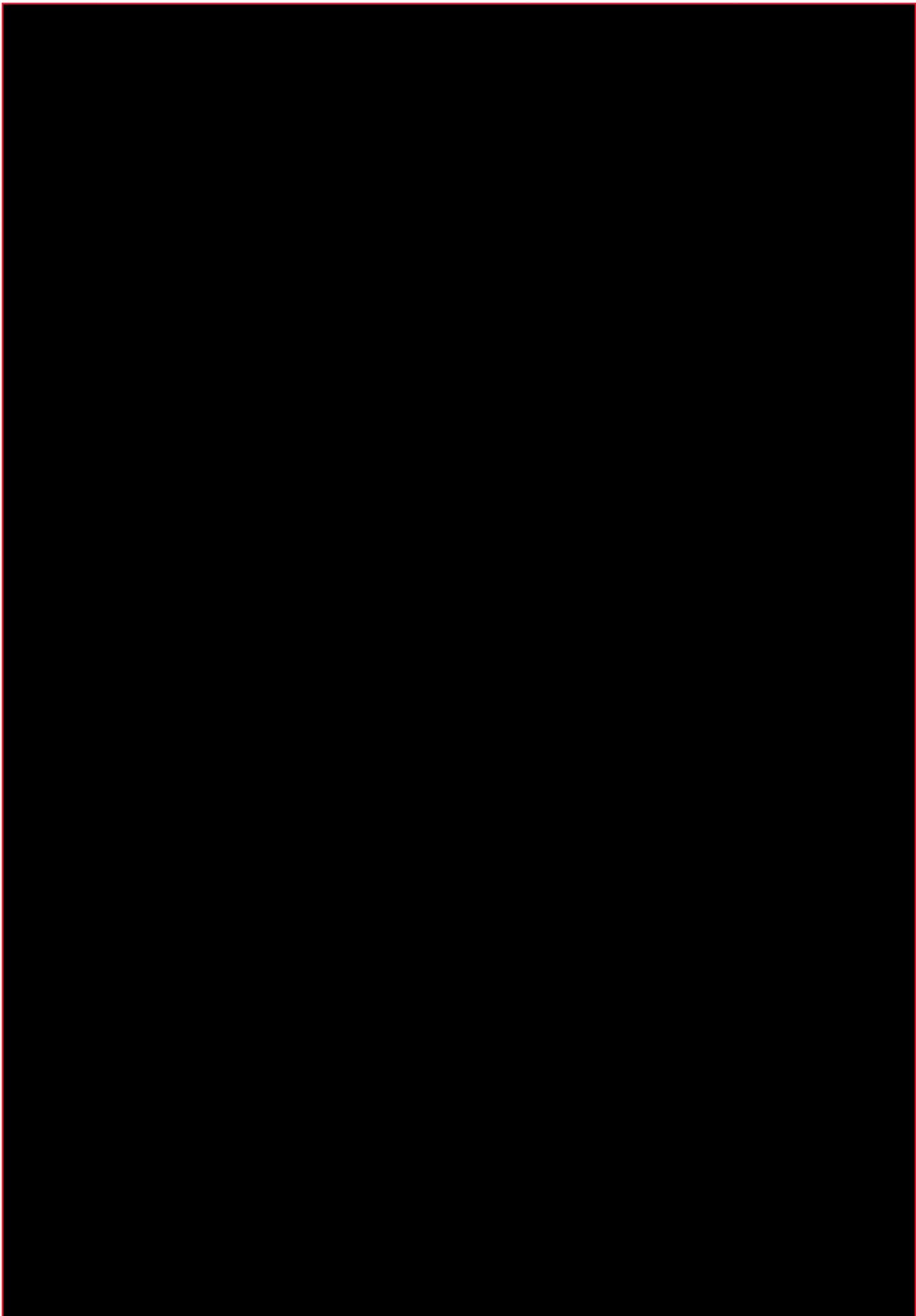
### ●市民活動の研修

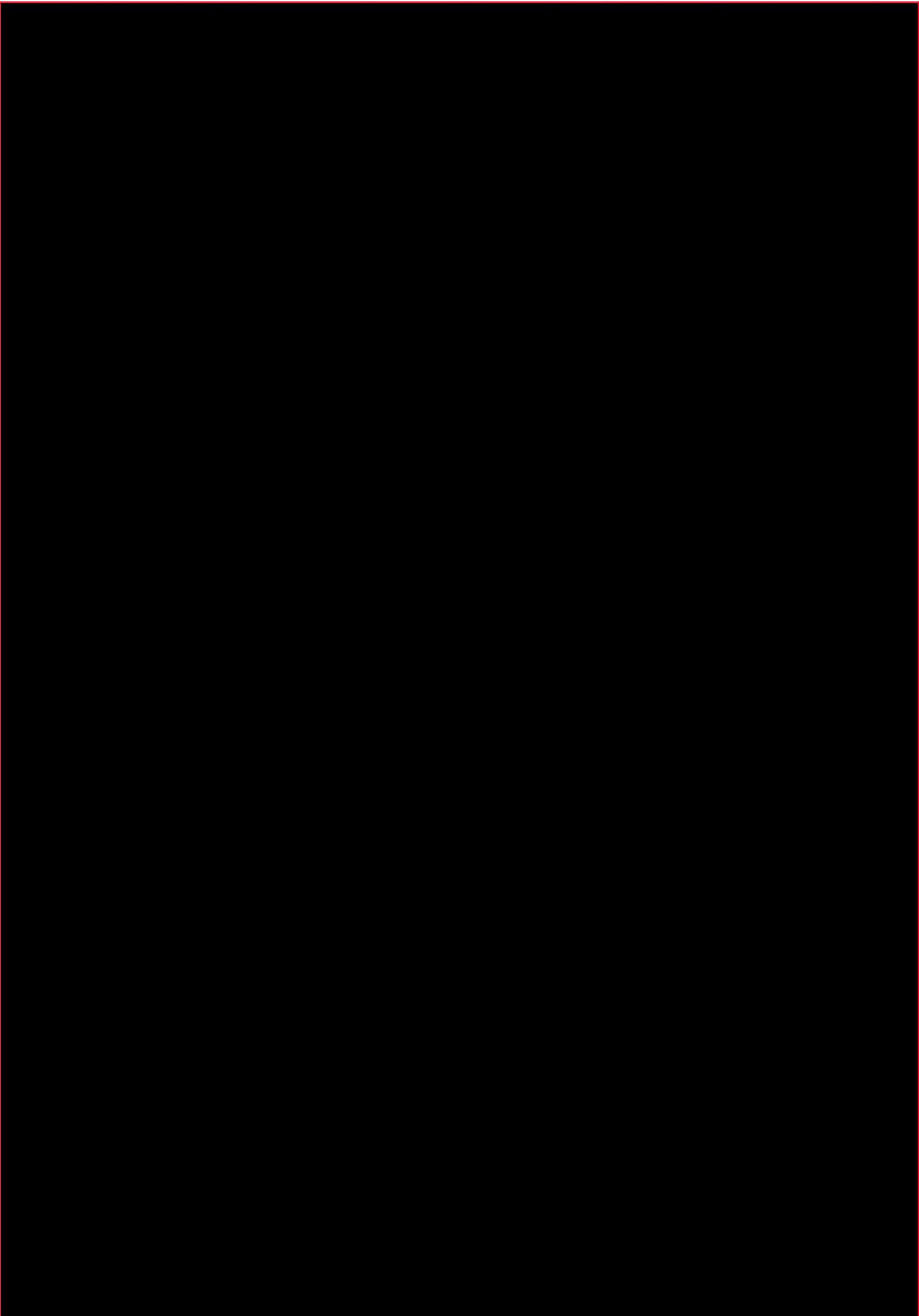


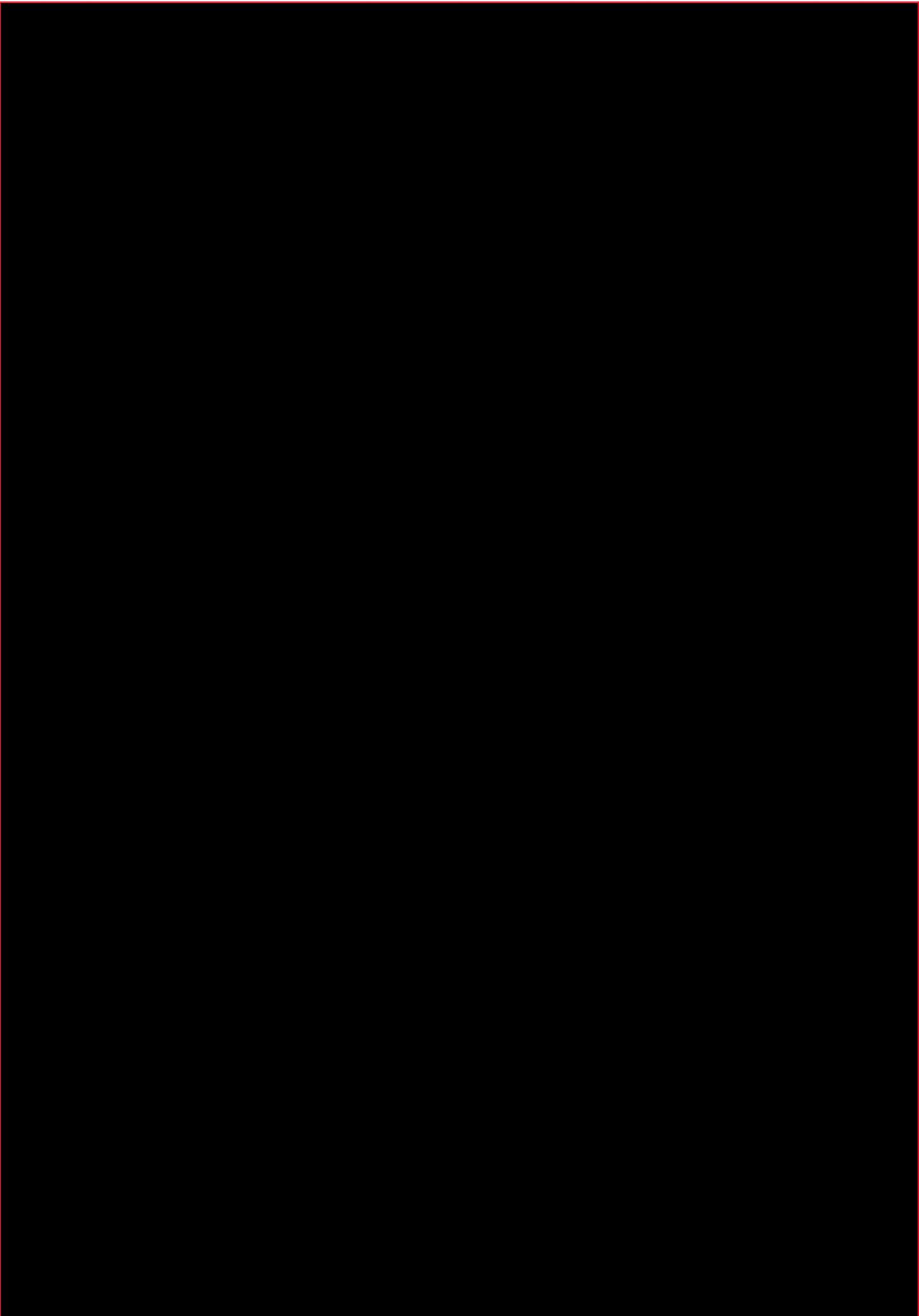


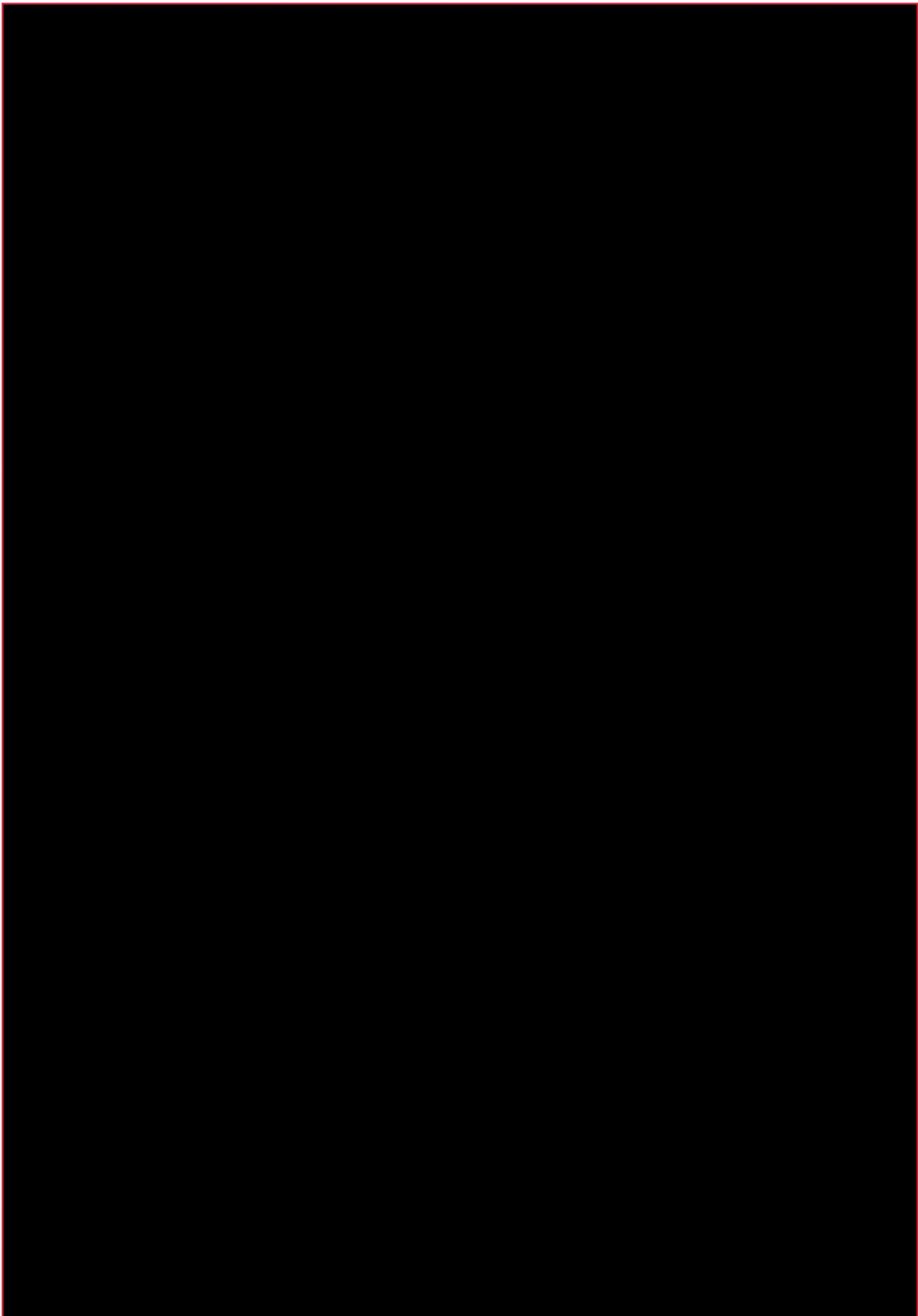
11/11/2011

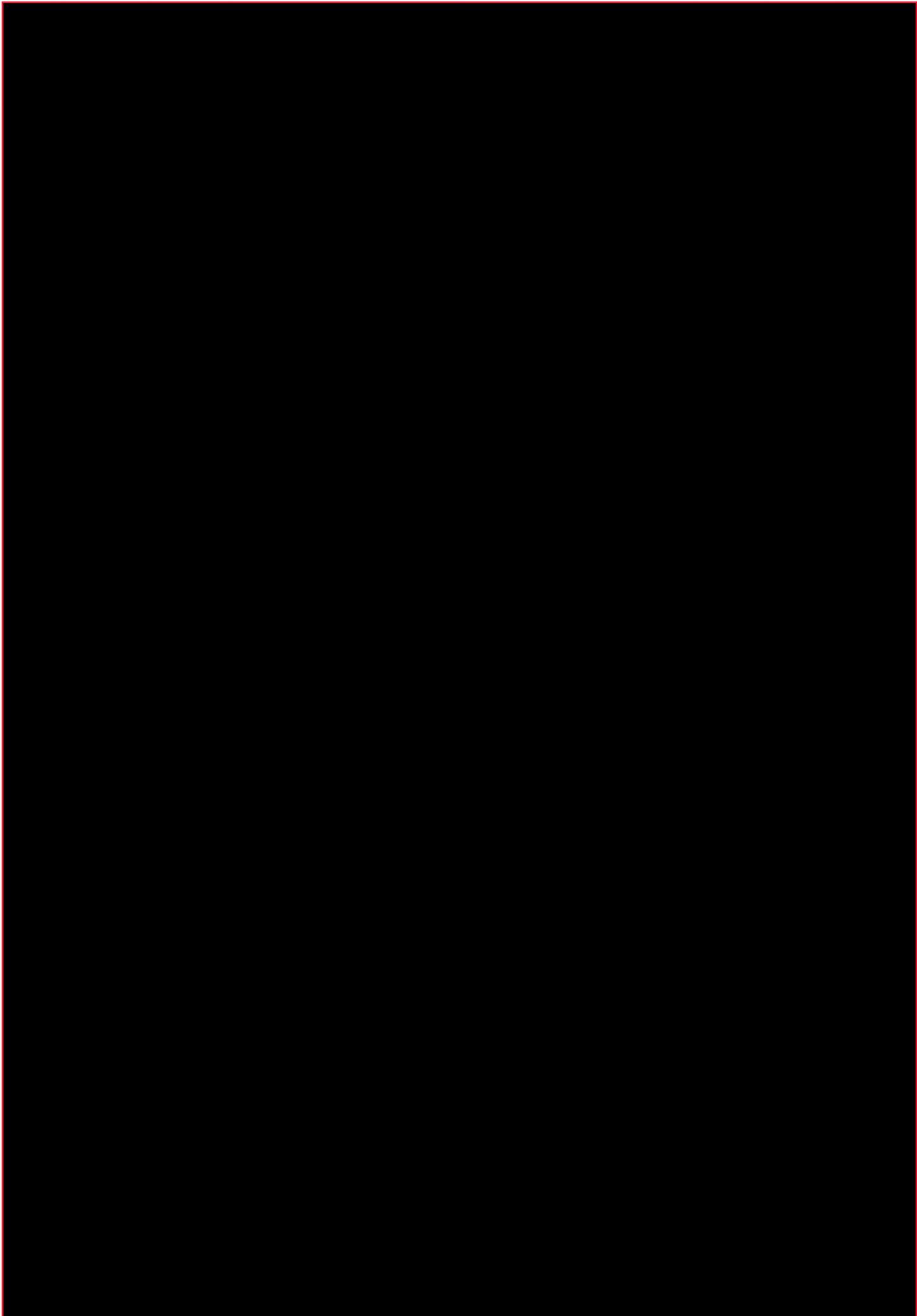
11/11/2011

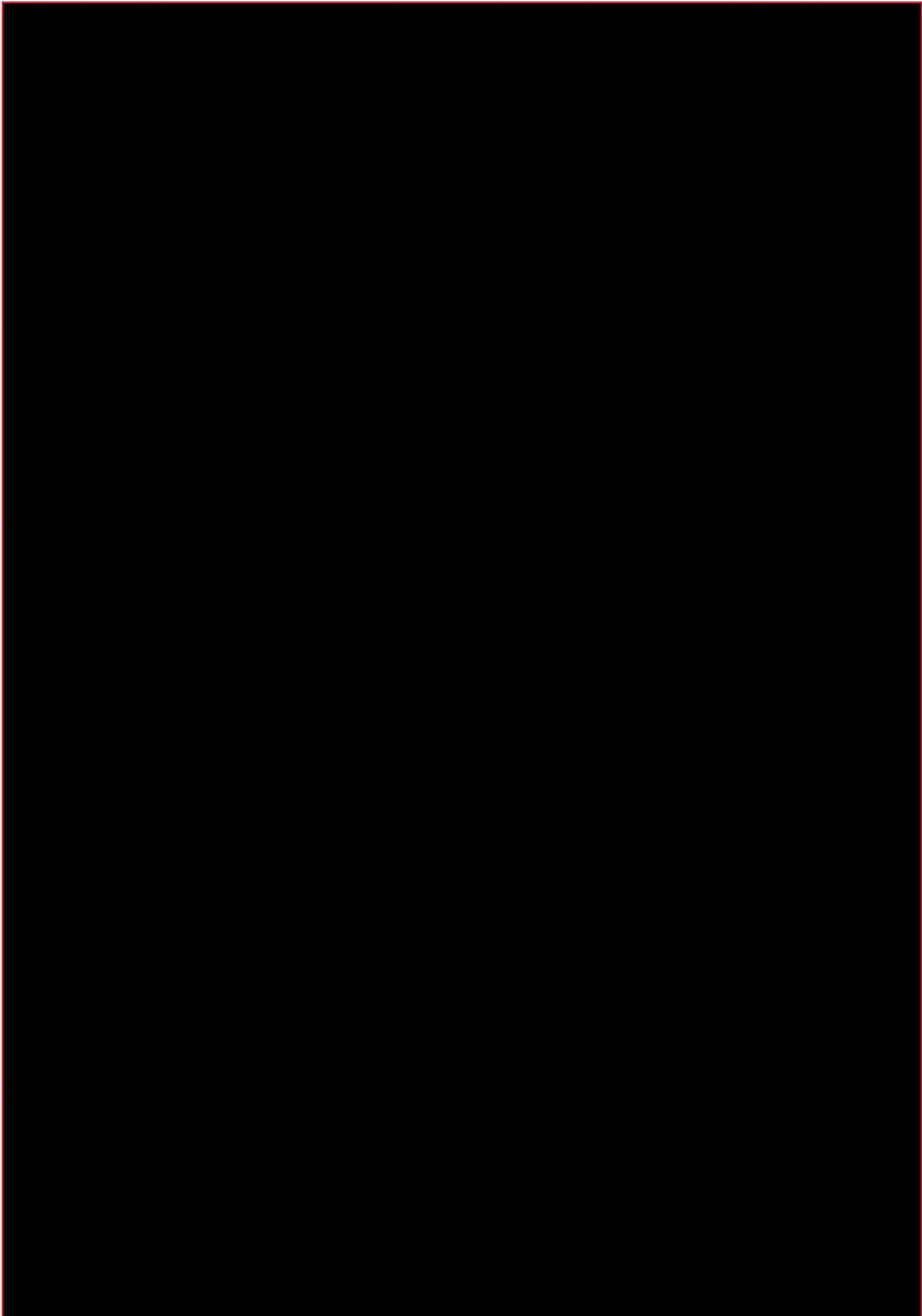


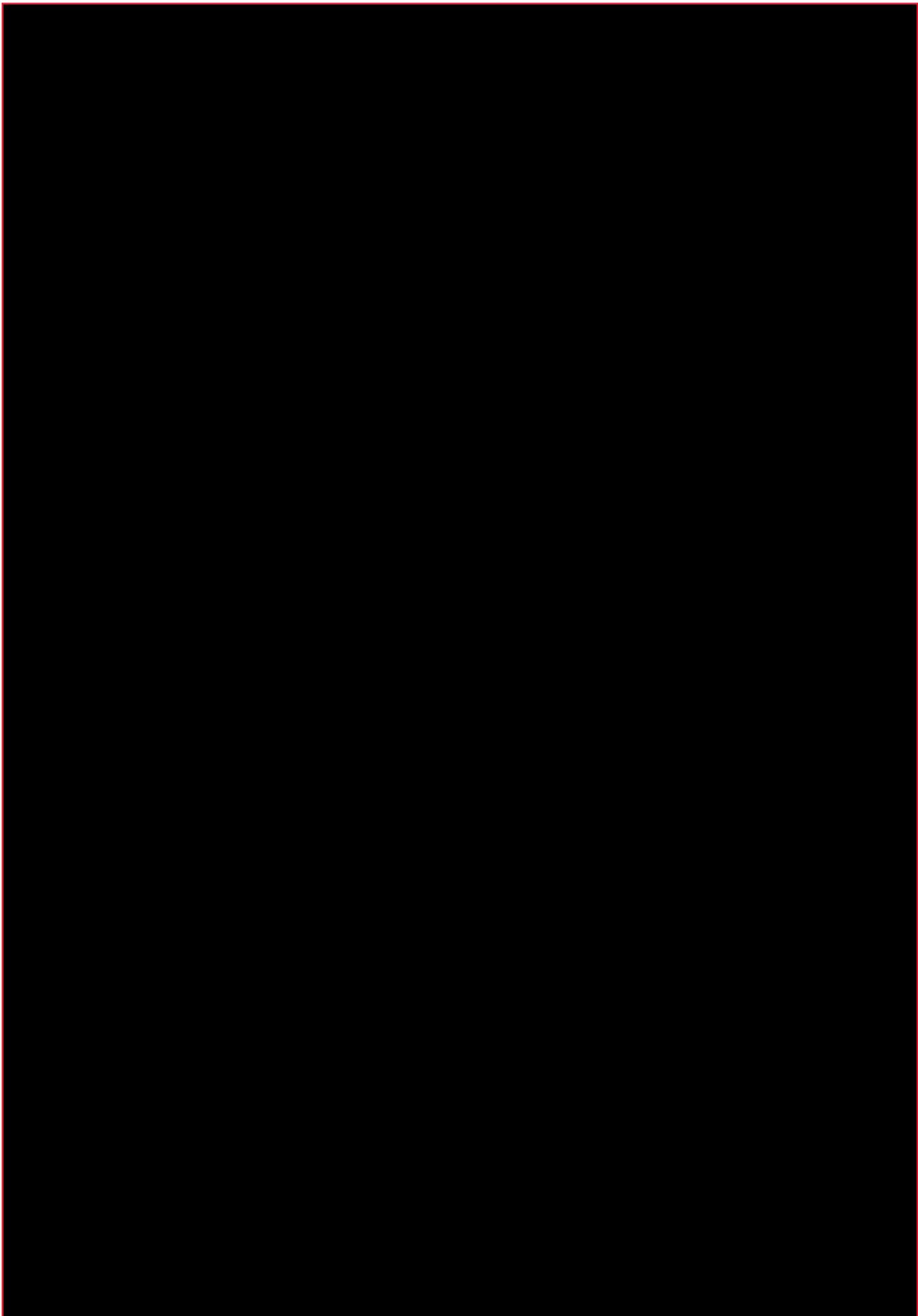


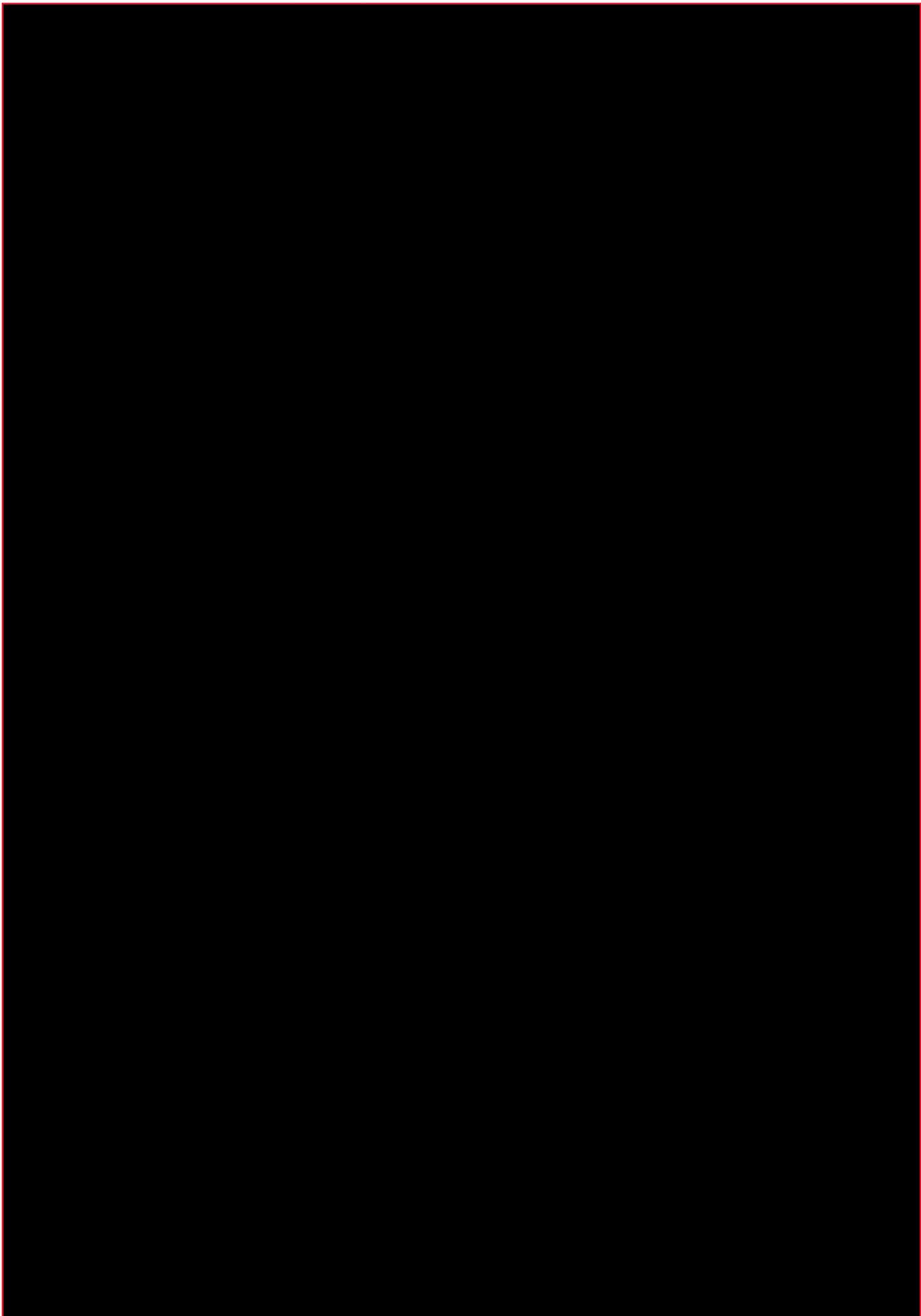


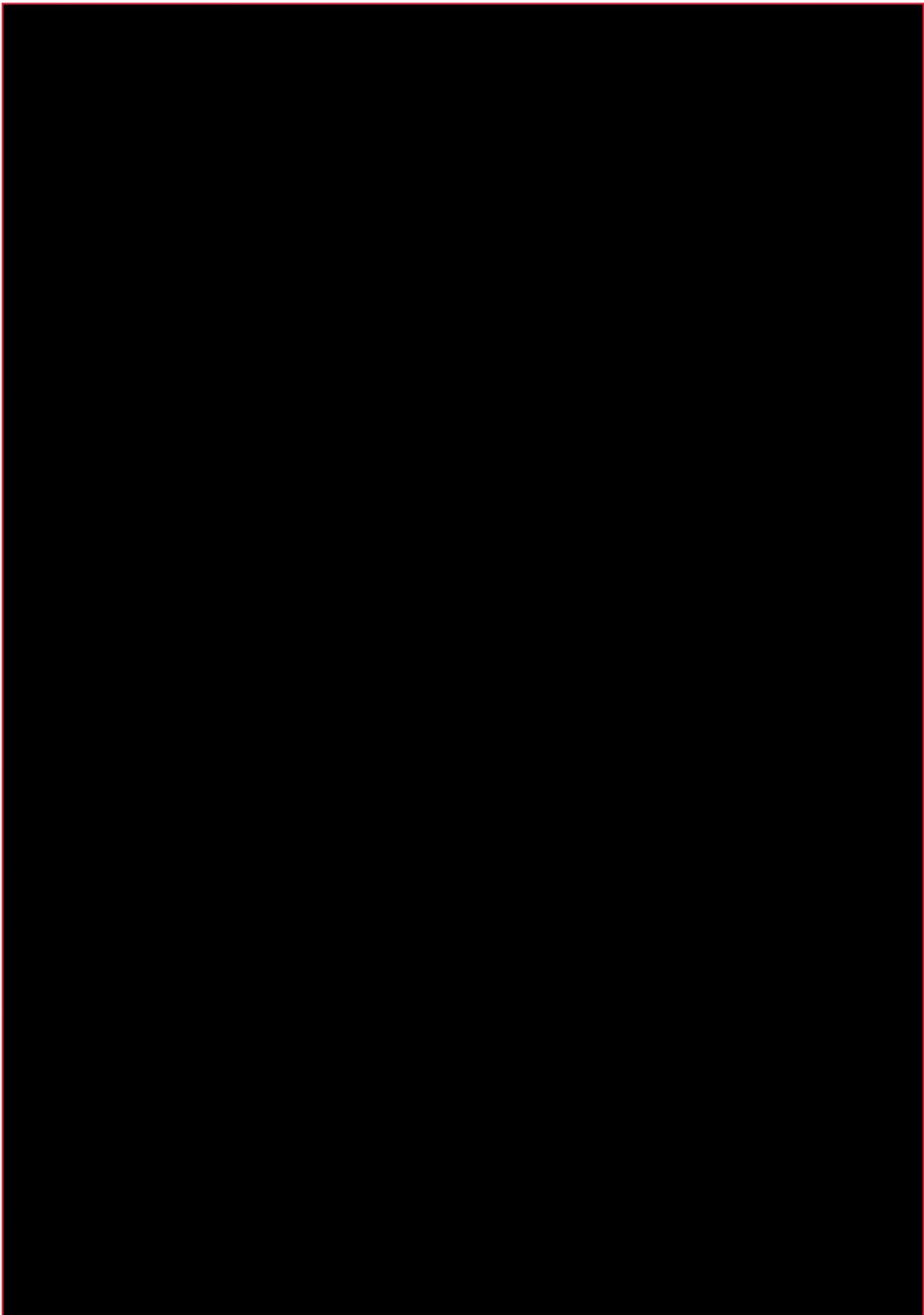


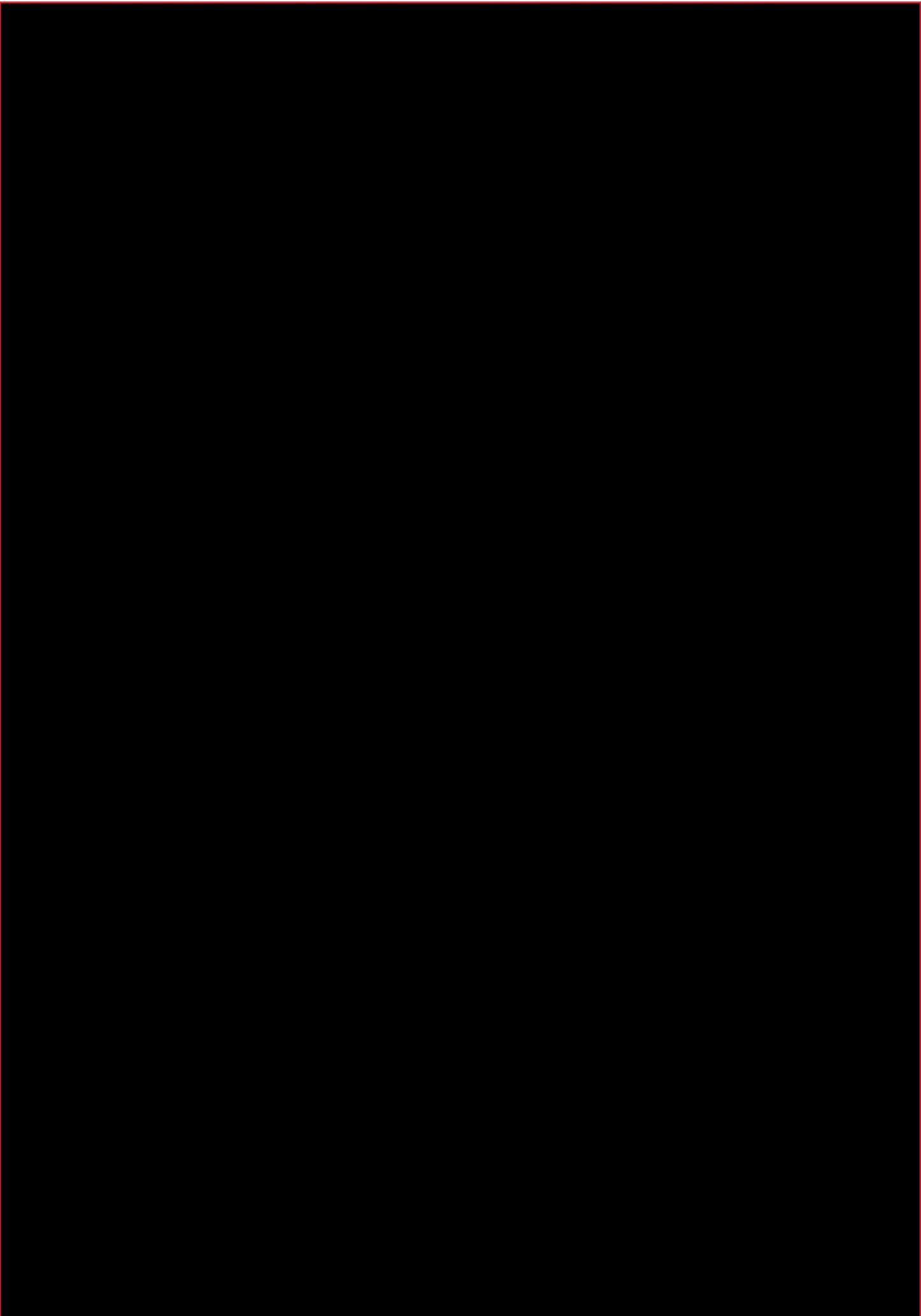


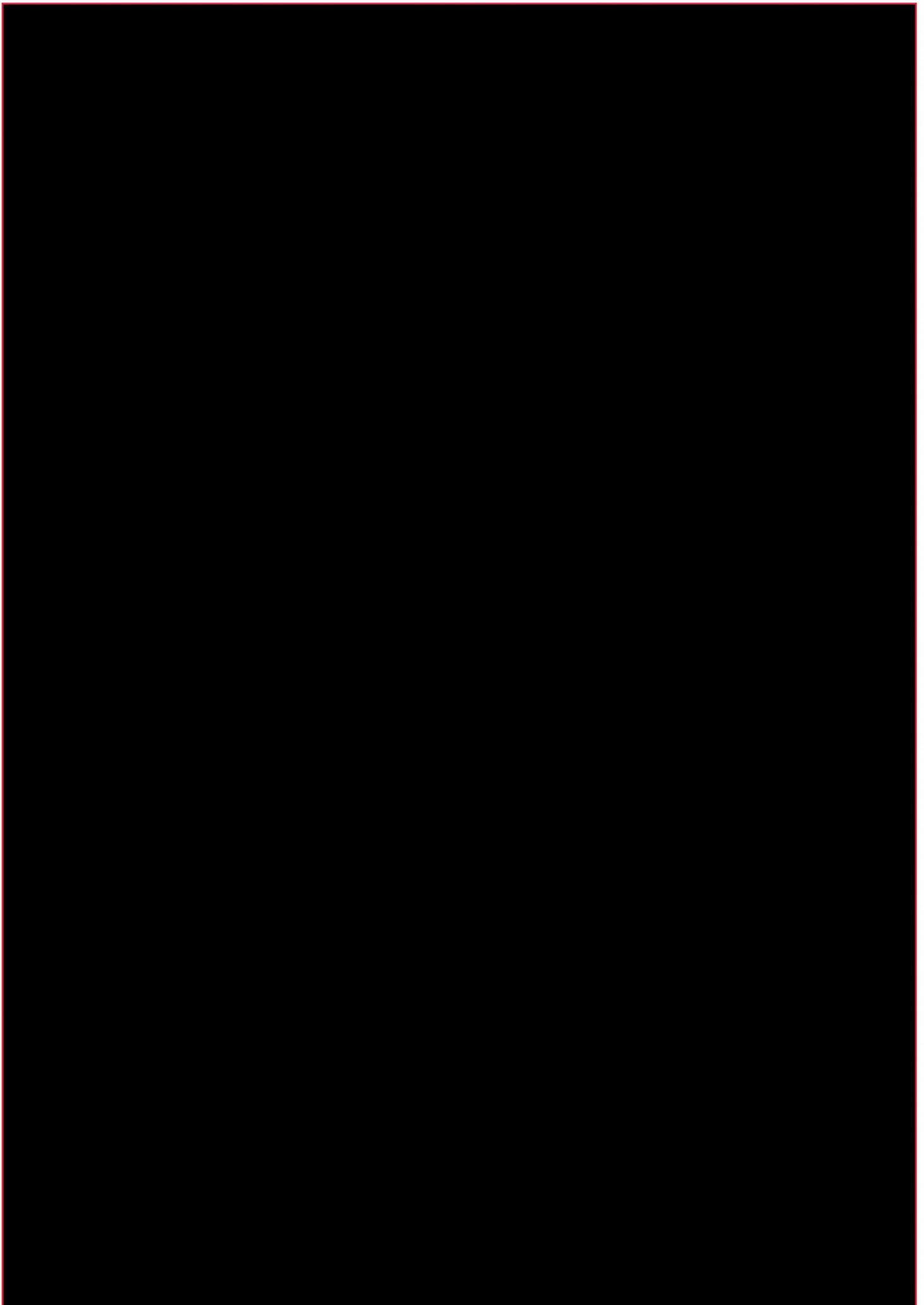




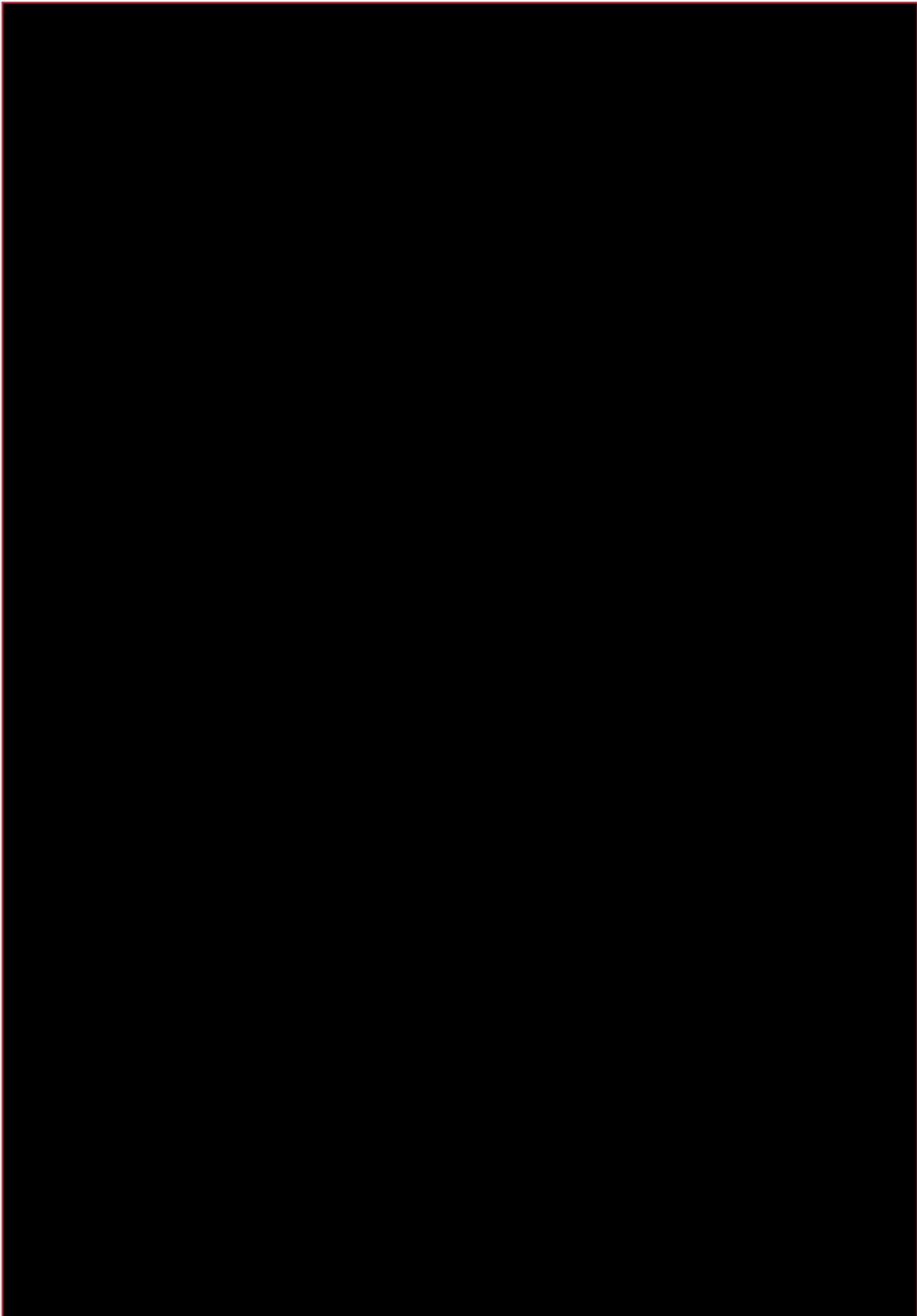












### (1) 危機管理体制および安全対策に関する考え方

私達は、「公園施設の安全点検に係る指針（案）（平成27年4月、国土交通省）」に基づいて、これまでに多岐にわたる公園施設の運営管理を通じて蓄積してきた業務ノウハウを当公園に活かしてまいります。

公園管理において、「安全・安心の確保」は、もっとも重要な項目のひとつです。利用者が常に安全に過ごせるように管理しなければなりません。さまざまな人びとが多様な活動を行なっている公園では、突発的・偶発的な事故を100%阻止することはできません。

そうした公園での事故・事件の発生を予測し、事前にその**発生を抑止**するとともに、万一発生した場合に、その**被害を最小限にとどめて再発を防ぐ**よう、次のとおり、危機管理・安全管理を行ないます。

#### ① 事故発生時や緊急時の対応策

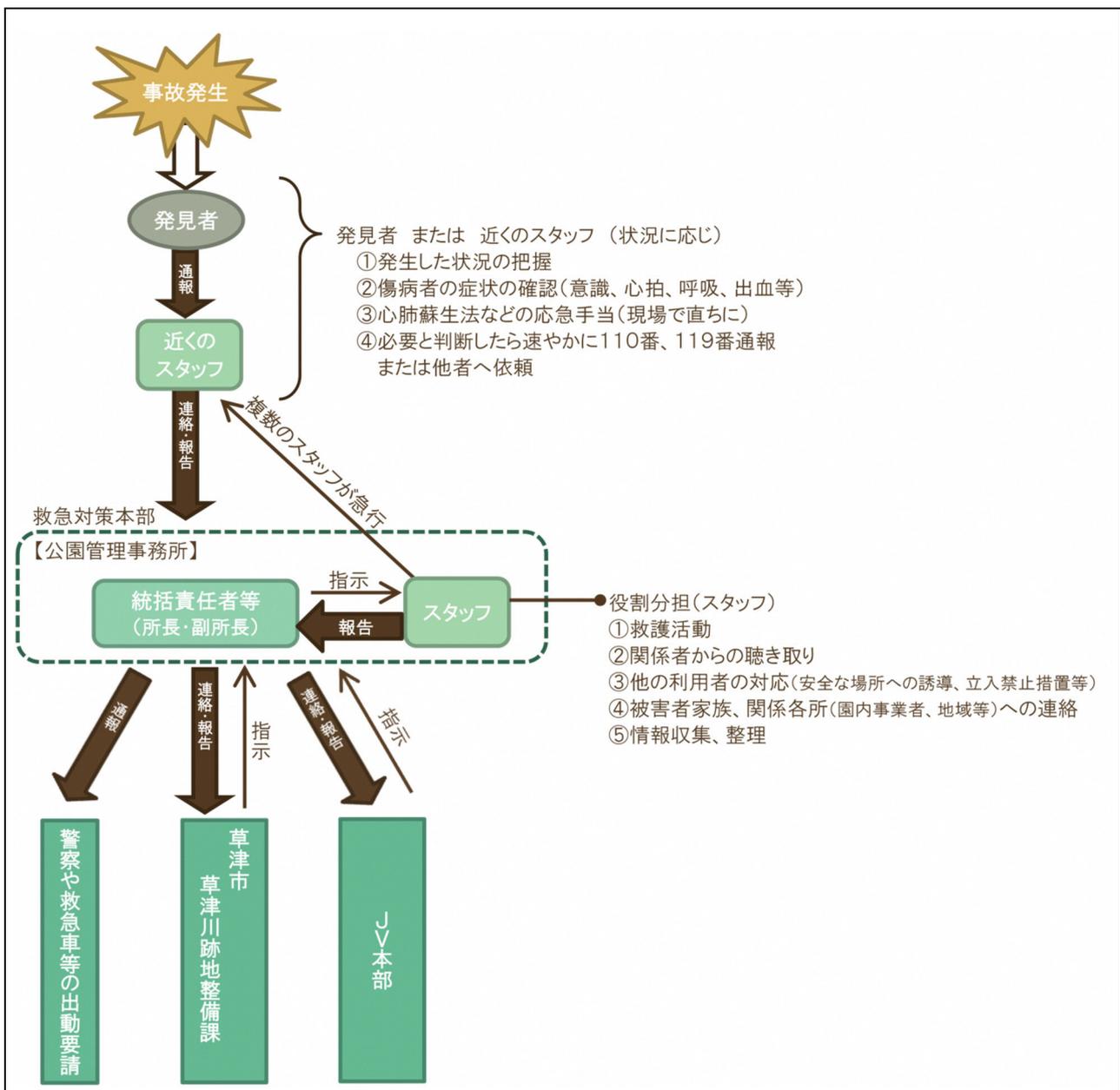
公園の管理下において事故等が発生した場合は、公園利用者等の**生命と健康を最優先に**、迅速かつ適切に対応するため、次の方針の下、図のとおり体制を整えます。

##### 事故等発生時の対応方針

1. 公園利用者、スタッフ等の安全確保、生命維持を最優先する
2. 冷静で的確な判断と指示を行なう
3. 適切な対処と迅速で正確な連絡、通報を行なう

すべてのスタッフは、次のことに留意して対応します。

- ・ 傷病者が発生した場合は、消防署に通報し、救急車が到着するまでの間に、その場で心肺蘇生等の一次救命処置が求められます。事故等の態様によっては、**救命処置が一刻を争う**ことを理解し行動します。
- ・ 利用者の生命に関わる緊急事案については、管理職への報告よりも**救命処置を優先**させ、迅速に対応します。
- ・ 事故等の状況や傷病者の様子に動揺せず、また他の利用者等の不安を軽減するように対応します。
- ・ 応急手当てを優先しつつも、事故等の発生状況や事故等発生後の対応およびその結果について、**適宜メモを残す**ことを心掛け、対応がひと段落した時点でメモを整理します（記録担当のスタッフに引き継ぐ）。
- ・ 傷病者のご家族や草津市に対し、事故等の発生（第1報）を**可能な限り早く連絡**します。その際は、事故等の概況、けがの程度など最低限必要とする情報を整理した上で行ないます。
- ・ 被害の詳細や搬送先の医療機関等、ある程度の**情報が整理**できた段階で第2報を行なうとともに、以後、正確かつ迅速な連絡に努めます。



事故発生時の対処、救急および緊急連絡体制

## ② 個別の危機管理・安全対策

### ●気象災害への対応

大雨・台風・大雪などによって公園の利用に危険が予測される場合は、利用者や従業員等の安全を確保するため、臨時休園などの措置を取ることも求められます。特に、雨や雪の降り始めやピークはいつかなど、最新の情報入手し、草津市から発令される避難に関する情報（※避難準備・高齢者避難開始、避難勧告、避難指示等）などにも留意し、草津市をはじめ園内事業者等とも連絡を密に取りながら、できるだけ早期に対応を検討し、判断します。

利用者が公園内にいる場合は、スタッフで分担して、園内や周辺の状況（道路の冠水等）を把握します。ただし、スタッフの安全に配慮し、できる範囲で把握を行いません。また、必要な場合は、直接のお声かけや園内放送で近くの安全な場所に避難するよう、呼びかけを行いません。

雷や竜巻に対しては、予兆が見られたら、速やかに安全な場所（屋内等）へ避難を誘導します。

天候が回復した後は、園内を点検し、安全が保たれているか確認します。なんらかの措置が必要な個所が見つかった場合は、早急に危険を排する処置を行ない、草津市ほか関係各所へ速やかに報告します。

### ●地震への対応

地震による揺れを感じたり緊急地震速報を受信したら、直ちに安全確保のための初期対応として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を素早く判断し、利用者に避難誘導を行ないます。

揺れている間でも、利用者の安否確認、避難行動の補助、応急手当等が必要である場合は、スタッフの安全確保した上で行ないます。

地震の揺れが収まった後は、二次災害を起こさないよう、正確な情報に基づいた判断と適切な避難行動を行ないます。情報収集を行なうにあたり、停電時を想定して電池式ラジオを公園管理事務所に配備します。

園内の建物、施設、設備等に被害や危険個所がないか点検し、安全が保たれているか確認します。なんらかの措置が必要な個所が見つかった場合は、早急に危険を排する処置を行ない、草津市ほか関係各所へ報告します。

### ●火災への対応

火災が発生した場合は、スタッフは定められた役割分担に従って、通報・連絡、初期消火、避難誘導を開始します。

火災発生を消防機関へ通報するときは、火災の内容を十分把握していない段階でも速やかに通報し、追って確認の取れた情報を通報します。また、同時に草津市や園内事業者等への連絡も行います。

初期消火にあたっては、近くの消火器等をできる限り早く集めて、集中的に行ないます。

また、速やかに出火した旨を来園者に知らせ、一斉に避難誘導するのが原則ですが、パニックによる二次被害を防ぐという観点で、避難開始に時間差をつけることもあります。

### ●不審者への対応

暴力行為を働いていたたり、凶器を持っている場合は、利用者に危害を加える可能性があると考え、速やかに110番通報するとともに、草津市や園内事業者等へも連絡します。

利用者等の生命や安全を守るために、警察が到着するまで時間を稼ぐことを優先します。できるだけ多くのスタッフで防御に役立つもの（傘や消火器等）を持って取り囲み、暴力の抑止と被害の防止を図ります。

不審者の暴力行為等により、利用者やスタッフが負傷する事故等があった場合は、応急手当を行なうとともに、必要であれば、救急車を要請します。また、速やかに情報の整理、提供を行ないます。

## ●熱中症への対応

最近では、ヒートアイランド現象や地球温暖化による影響により、一般環境における熱ストレスが増大し、日常生活においても**熱中症の発生が増加**しています。

公園では、暑さを凌げる木陰、日よけの下や屋内に、多くの人が一度に利用できるスペースが十分でないことも多く、夏期を中心に熱中症のリスクが高まります。体温調整機能が低下している高齢者や、体温調整機能がまだ十分に発達していない小児・幼児は、成人よりもリスクがさらに高く、より注意が必要です。

症状が重くなると生命へ危険が及びますが、適切な予防法や処置をスタッフが理解し行動することで、**重症化を回避**します。

けいれん、ふらつき、めまい、吐き気などは、熱中症を疑う症状です。意識を失っている場合は、すぐに救急車を要請し、同時に応急手当を行ないます。意識がある場合は、涼しい場所に避難させ、衣服をゆるめて体を冷却し水分を補給します。症状が改善しない場合は、状況に応じて、救急車を要請し、病院へ搬送します。

## ●危険生物への対応

チャドクガ、セアカゴケグモ、ハチ（スズメバチ等）などの危険生物が、公園内で人に危害を与えかねない状況になった場合は、注意看板の設置や、必要に応じて巣の撤去等を行い、**人命の安全を第一に対応**します。

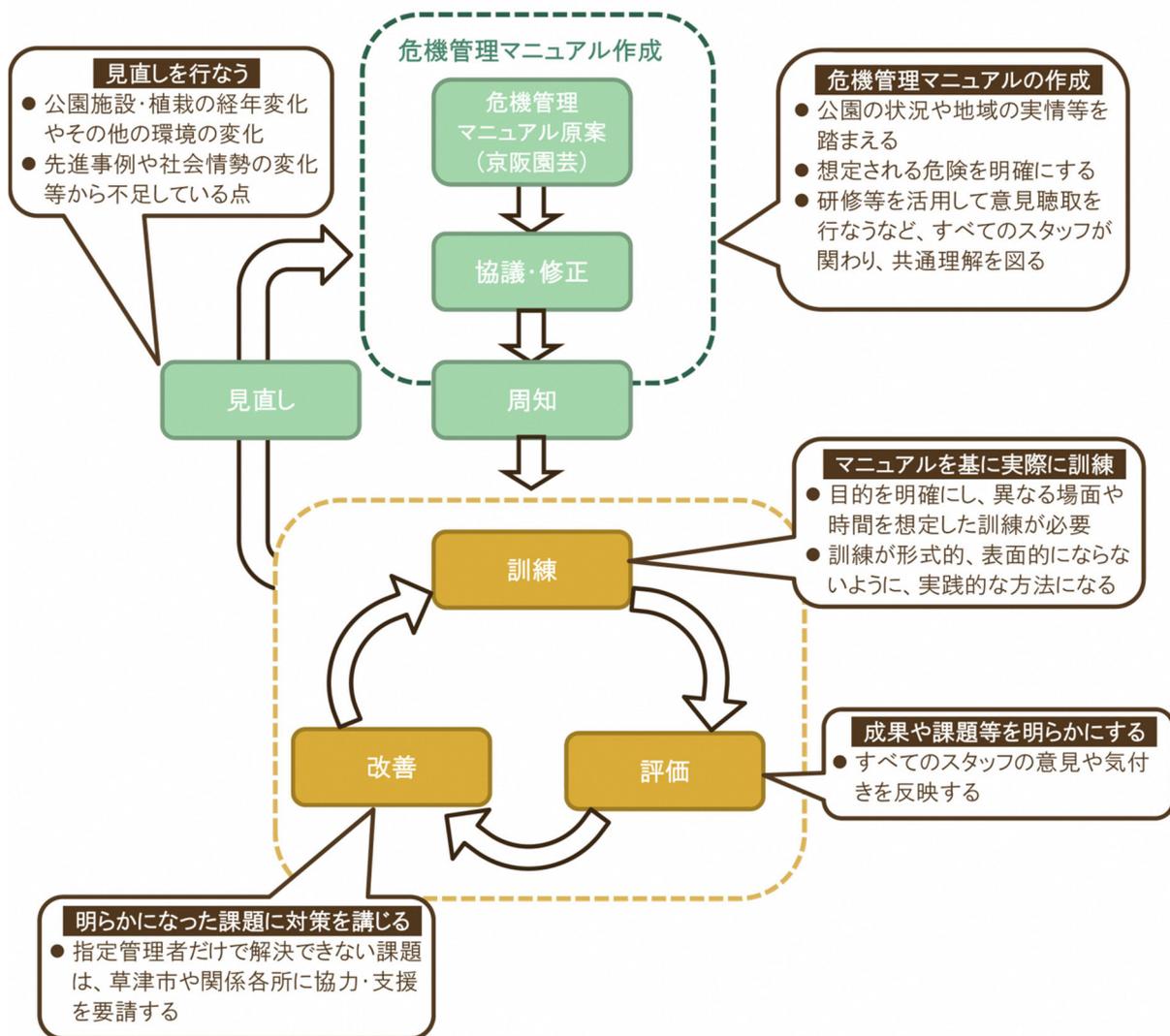


### ③ 危機管理マニュアルの作成とブラッシュアップ

JVの構成企業である京阪園芸株式会社では、他の指定管理地等で「危機管理マニュアル」を作成しています。これは、すべてのスタッフが、自他の役割等や利用者の安全を確保する体制を共通理解することで、実際に事故等が発生した際には、それぞれが的確に判断して円滑に対応できるようにするものです。

これを基に、草津川跡地公園と周辺地域の特性や実情に応じて想定される危険を明確にし、危険等発生時にどのように対処し、いかに利用者等の生命や身体を守るかについて検討し修正することで、草津川跡地公園専用のマニュアルへと改良します。こうしてブラッシュアップされた独自の危機管理マニュアルを用いて、安全確保のための体制を確立します。

公園を取り巻く安全上の課題は、時代や社会の変化に伴って変わっていくものであり、従来想定されなかった新たな安全上の課題の出現などに応じて、訓練、評価、改善を繰り返し、柔軟に見直します。



危機管理マニュアルの作成とブラッシュアップ

#### ④ 事前の危機管理

公園での事故・事件の発生を予測し、**事前に抑止**することは、危機管理、安全管理にとってとても重要です。事が起こる前に、次のような取り組みを行なうことで、事故等を防止し、または被害を最小限に止めます。



#### ●防災イベントの実施

関係機関と協議して、公園に関わる管理者・施設関係者、公園周辺地域の方々を中心に防災イベントを開催します。

草津川跡地公園に施されている一次避難所に準じた空間設計や防災施設の整備を活かし、災害発生時には、公園が持つ一次避難スペース、また緑のオープンスペースに守られた安全な避難ルートとしての機能を発揮できるよう、防災イベントで、地域との防災コミュニティづくりを推進します。

#### ●点検

公園内の建物構造物、施設設備、遊具の**安全を点検**することは、利用者が事故等に巻き込まれることを未然に防ぐ重要な危機管理の一つです。

危険箇所を早く見つけ出し、取り除くため、**実際の利用方法、利用頻度などの利用状況**を観察し、通常の利用において安全であることを確認します。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| アメニティ巡回等、安全確保のための日常点検 | ・ 園路、樹木、遊具、トイレほか公園施設をスタッフが毎日安全点検して、問題に応じて迅速かつ適切に対処することで、常に安心・安全な公園利用を確保する |
| 樹木点検と樹木診断             | ・ 花見時期やイベント時等の繁忙期には回数を増やすなどの対応を行なう  |
| 施設の安全点検               | ・ 樹木医の指示のもと、定期点検や台風時等緊急点検を実施する  |
|                       | ・ 生育不良木については、樹木医による樹勢調査、土壌調査を行ない、報告書を作成し、対応策を提案する                         |
|                       | ・ 電気設備等は法定点検を着実に実施する  |
|                       | ・ 遊具は、スタッフによる日常点検と専門業者による定期点検を行なう   |
|                       | ・ 危険箇所があれば、即時使用中止するとともに修理等適切な対応を行なう危険箇所や要因を早期に発見する                        |

スタッフは、危険等から利用者等の生命や身体の安全を守るため、**状況に応じた的確な判断や行動**が求められます。緊急時の**組織体制や役割分担**の認識を持ち、安全に関する自らの**意識や対応能力を高める**ため、研修を行ない、実践的な態度や能力を養います。

### 【研修内容の例】

- ・ 危機管理マニュアルの理解や見直し
- ・ 危機管理マニュアルに基づく防災・防犯等の避難訓練
- ・ 事故等発生時の対応訓練
- ・ AEDを含む心肺蘇生法などの応急手当に関すること
- ・ 実際の事故事例や課題についての議論や対策の検討、再発防止策の共有
- ・ 樹木医による植栽点検研修
- ・ 施設の安全点検研修



AEDを含む心肺蘇生法などの  
応急手当研修のようす



実際の課題についての議論、  
対応策検討・共有研修のようす



樹木医による植栽点検の研修の  
ようす



施設の安全点検研修のようす

研修内容の例

## (2) 苦情、トラブル発生時の対応

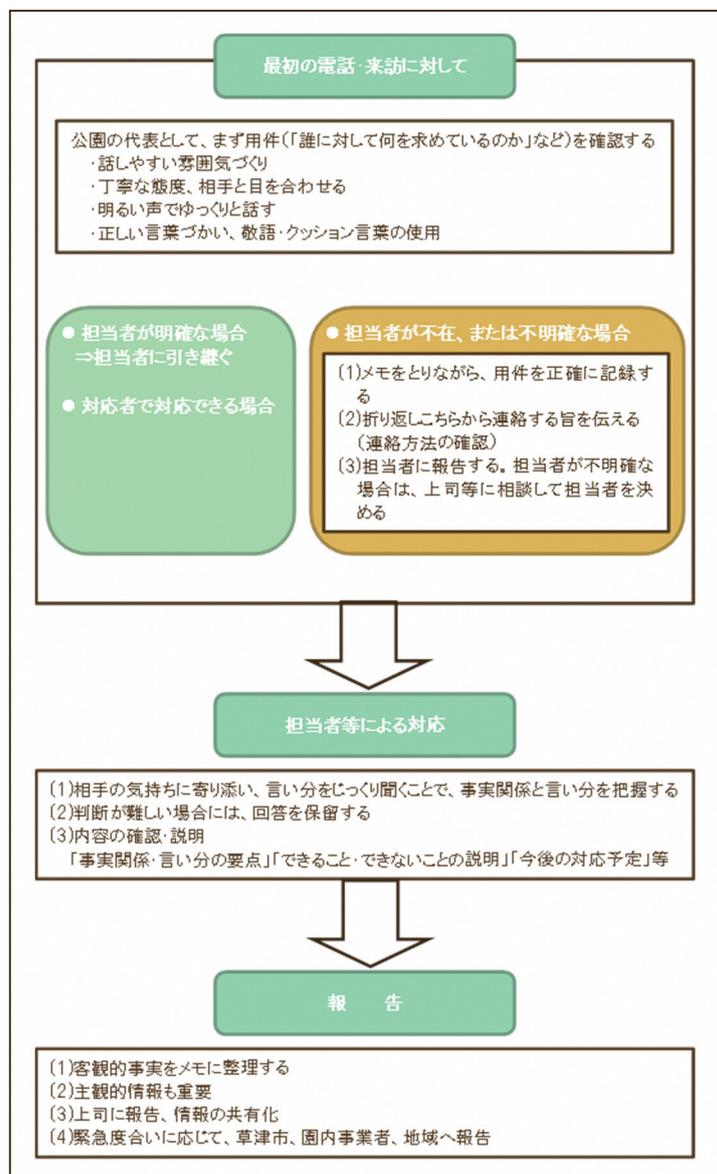
### クレーム発生時の対応方針

いかなる場合であっても、利用者の立場で物事を考えて行動します

苦情・クレームは、利用者が期待するサービスの期待水準を大きく下回った場合に現れます。多くの人を利用する公園では、利用者の好みは多種多様、それぞれの期待水準もさまざまなので、「クレームは必ず発生する」ということを前提に、次の手順で、スタッフ一丸となってクレームに対応します。

#### ① 対応の流れ

公園利用者からのクレームが発生した際は、図のとおりの流れで対応します。



暴力行為など違法行為を伴う「ハードクレーム」に対しては、必ず複数人で対応し、速やかに草津市に報告し、関係機関と連携します。

## ② 再発防止のための組織対応、クレームの収集、業務改善

クレームには、個人だけで対応するのではなく、組織対応することで、すべてのスタッフが同じ対応を行なえるようにします。

苦情・クレームが発生することで、サービスの改善点が見つかったり、利用者のニーズが分かったりすることもあるため、より良い公園づくりのチャンスであると捉えて、クレームを収集し、全員で誠実に対応し、改善します。

### ●スタッフ全員でクレーム最優先を徹底

クレームは後回しにせず、最優先に行います

### ●クレームの犯人探しより、クレームが起きた真の原因追及を

犯人を捜しあてるよりも、原因を追究して、同じクレームを受けないよう改善できる点を探します

### ●業務知識やクレーム対応方法の標準化

応対するスタッフにより返答が異なることのないように、業務知識や対応方法をマニュアル化し、情報を共有します

### ●スタッフ間の確実な情報連携

クレームを引き継ぐ際は、正確な記録を取り、何度も同じことを訊かないようにします

### ●クレームのバックアップ意識

園内で発生したクレームには、すぐにフォローする意識をスタッフ全員に徹底します  
またJV本部は、連絡・相談を受けたら、速やかかつ的確にバックアップを行ないます

### ●クレーム記録簿の作成

個々のクレームは、小さなことでも「クレームの内容」「対応方法」「経緯」「結果」などをまとめて記録し、記録簿を作成します

### ●クレーム対策ミーティングの実施

クレームの原因究明と、その対策・回答をスタッフで考える場を作ります

## ③ 研修

各スタッフが、クレームを受けた場合に適切に対応し、その記録や報告を適切に行えるよう、研修を行ないます。

クレームの対応をするにあたっては、第一に業務範囲を正しく知っていることが重要です。また、対応時や引き継ぎ時の注意点や、再発防止策について、すべてのスタッフが同じ対応ができることが求められます。

これらをスタッフ研修として繰り返し行ない、クレームを適切に対応できる体制を作ります。



### (1) 基本方針

わたしたちは、公園利用者の個人情報がプライバシーを構成する重要な情報であることを深く認識し、業務において個人情報を取り扱う場合には、日本国内における個人情報の保護に関する法令およびガイドライン、当公園用に定めた「草津川跡地公園個人情報保護マニュアル」並びに、以下の方針に従い、すべてのスタッフが細心の注意をもって個人情報の管理を行うよう周知徹底します。

### (2) 個人情報の取り扱い

#### ●個人情報の収集と利用

個人情報を収集する場合は、適法かつ公正な方法により行うとともに、利用目的を明確にし、利用目的達成に必要な範囲内において個人情報を収集します。

また、個人情報の利用は、利用目的から逸脱しない範囲でおこないます。

#### ●個人情報の管理と保護

- ・鍵付きのキャビネットへの保管を徹底します。
- ・個人情報に関するデータを扱う端末はLAN ネットワークとの接続を不可とし、管理責任・担当者以外のスタッフがアクセスできない状態にするなど、個人情報を物理的に隔離します。
- ・「草津川跡地公園個人情報保護マニュアル」を定め個人情報の外部持ち出しを禁止します。
- ・個人情報の管理は厳重に行い、下記の場合を除いて、第三者に対し開示・提供することはありません。

① お客様にご承諾いただいた場合

② 業務上の必要性から、守秘に関する適切な措置を講じた上で、個人情報の取扱いを外部に委託する場合

③ 法令に基づく場合

また、個人情報に関する不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏洩を防ぐための適切な処置をおこないます。

#### ●個人情報保護管理体制および仕組みと継続的改善

個人情報の取扱い責任者を選定するとともに、スタッフが個人情報を取り扱う際のルールを定めて研修を行ない、限られたスタッフが必要最小限の情報にアクセスするようにします。

紙で管理する場合は、鍵のかかる引き出しに保管するとともに、パソコン等で管理する場合は、ファイルにパスワードを設定します。また、パソコンにセキュリティ対策ソフトウェアを導入します。

また、ルールは継続的に改善します。

## ●個人情報に関するお問い合わせについて

管理する個人情報に関し、ご本人から、利用目的の通知・開示・訂正・利用の停止または消去・第三者提供の停止のご依頼があった場合、合理的な範囲において速やかに対応します。

### (3) 情報セキュリティ確保に向けた取り組み

JVの構成企業である京阪グループでは、情報セキュリティの維持・向上を図るため、「京阪グループCSR委員会」のもとに「情報セキュリティ専門委員会」を設置し、リスク低減の取り組みを行うとともに、個人情報については、グループ会社ごとに個人情報保護規程を定めて安全な運用、管理に努めています。

また、近年の情報セキュリティインシデント※1の高度化・複雑化を受け、会社が保有する機密情報や個人情報を守り、適切、安全に管理するための施策の一環として、京阪グループ全体の統一的な緊急対応組織として「京阪グループSIRT※2」を2017年に設置しました。インシデント対応訓練の実施など、事案発生から収束までの機能・体制を強化し、万一のときに被害を最小限にとどめることを目的に活動しています。

さらに、京阪グループ各社のIT担当者を対象とする「情報セキュリティ勉強会」を定期的で開催し、近年のインターネット環境を取り巻く状況、個人情報保護を中心とする法制度などについて教育を行っているほか、パソコンを業務利用する従業員に「情報セキュリティハンドブック」を配付し、セキュリティ知識の普及、向上に努めています。

※1 インターネットやメールを媒介とするWebサイトへの攻撃、コンピュータウイルスなど、安全にコンピュータを利用できる環境を脅かす事象。

※2 「Security Incident Response Team」の略称。

### (4) 情報漏えい時の対応について

- ・情報漏えいが発生した場合には、情報漏えいによって引き起こされる被害を最小限に止め、被害の拡大を防止するとともに、漏えいした情報が犯罪等に使用されるなどの二次被害を防止します。また、二度と同じことが起こることのないよう、再発を防止します。
- ・情報漏えいの対応にあたっては、正確な情報の把握に努めます。憶測や類推による判断や不確かな情報に基づく発言を慎み、正しい情報を把握して、一か所に集めて管理を行いません。把握した正しい情報は、速やかに草津市に報告します。
- ・被害拡大防止や類似事故の防止、説明責任の観点から必要と判断される場合には、情報公開により被害の拡大が見込まれるような特殊なケースを除いては、組織の透明性を確保し、情報を開示します。
- ・情報漏えい対応においては、さまざまな困難な判断を迅速に行なうとともに、経営、広報、技術、法律などさまざまな要素を考慮する必要があるため、JV本部や上記の「京阪グループSIRT」が組織として対応を支えます。

## (1) 地域への貢献の提案

## ① 地元での雇用の創出と人材の育成

- ・公園運営に関わる植栽管理スタッフや事務スタッフの求人・採用、さらに専門知識が必要なコーディネーターを地元採用で育成することで新たな雇いを創出し、地元へノウハウを提供します。
- ・草津川跡地公園周辺に立地している立命館大学から大学生のアルバイトを受け入れます。プロジェクトに積極的に関わっていただき、単純作業ではなく自ら考えて実際に実現することを重視して公園業務に関わっていただきます。

## ② 地域とのイベント連携による公園のにぎわいのまちへのしみだし

- ・さくら咲くくさつ花まつりやびわこ・くさつグルメライド、草津川ハイラインや健幸フェアなど、指定管理3年間でおこなってきたイベント連携を継続しておこない、公園のにぎわいをまちへとしみ出させます。

さくら咲くくさつ花まつり  
イベントチラシ

## ③ 周辺施設との連携

- ・公園の利用者を増やすため、周辺の商業施設や交通機関などと連携して、お互いのイベントのチラシやポスター等を相互に設置し、互いの集客に活用します。
- ・周辺地域から公園へ、公園から周辺地域へと公園利用者の流れを誘導することにより、人の流れがつながり相乗効果が起きるように図ります。
- ・移動図書館わかくさ号の区間2、区間5それぞれ月1回の巡回を継続しておこなうことで、図書館利用の利便性向上とともに公園への訪問機会の創出を行います。



公園への移動図書館の巡回

## ④ 市民の学習の場の提供

- ・公園における小・中学生の遠足やハイキング、植物や昆虫の観察会や写生会などの団体ご利用について一般利用者に配慮して実施できるように調整します。
- ・公園の運営・管理の仕事に携わりたいと希望する学校や学生があれば、職業体験学習の受入れや研究資料の提供などを前向きに行います。
- ・公園での観察会や研究資料として調査などを行う学校について、スタッフの補佐や園内の説明など協力を行います。

### ⑤ 地域の小学校・高校・大学等との連携活動

- ・湖南農業高校には、設計の段階から植栽や毎月の維持管理にご協力を頂いています。これからも、インターンシップの受け入れ依頼や、ガーデニング講座の講師依頼、植栽スキルの向上を目的としたスキルアップセミナーの実施など、双方向での協力体制を図ります。
- ・立命館大学や龍谷大学とも積極的に協同活動を推進します。公園における植栽管理や栽培技術の向上のための協同活動などを検討します。また、大学からのインターンシップ生を受け入れ、大学生の学びの場としていただきます。
- ・区間2に立地する学校農園において、山田学区の環境学習の場として学校農園を活用いただくことで、公園を教育の場として活用いただきます。



湖南農業高校による  
ステップガーデン管理への参画

### ⑥ 地域事業者との連携と応援

- ・これまでの3年間の指定管理を通して発見した課題の解決や、公園の運営や様々な企画・イベントの実施によって発生する需要に関して、市内地元事業者様との取引を行い、地域経済が活性化するように努力致します。
- ・やさいバスなど、周辺事業者にも公園を活用いただくことで、地域事業者への協力をおこないます。
- ・新型コロナウイルス流行により打撃を受けた地域飲食店をメインターゲットとした企画を実施し、公園で店舗のPRや営業を行っていただくことにより、地域事業者の応援を行います。
- ・区間5商業エリア各店舗前に七夕時期に合わせて笹を設置、短冊を用意し来園者に願い事を記載していただきます。記入いただいた短冊は立木神社に奉納することで、公園内事業者と連携して地域の関係性を築きます。



コロナ特例を活用し道路を活用したイベント(ガーデンピクニック)

### ⑦ 企業の特性を活かした地域活性化への貢献

- ・草津まちづくり株式会社、草津市商工会議所が実施する「ガーデンストリートプロジェクト」に技術講師として継続して参加することで、公園外に植物管理のノウハウを発信、公園だけでなくまち全体をみどりで潤す、地域活性化への協力を行います。
- ・区間2民間活動エリアの未利用地を有効活用した花壇を継続して利用し、季節の花が楽しめるフォトスポットや公園の魅力発信を行います。
- ・ローズガーデンの維持管理をロザリアン倶楽部のメンバーを中心に継続します。バラを通じた市民参加のイベントを実施し、バラに興味がある市民を発掘、次期受講生の募集をおこない、バラの魅力を発信するコミュニティガーデナーの育成を継続して行います。
- ・ニワタス等公園外の周辺施設の植栽維持管理に積極的に協力を行います。



ガーデンストリートプロジェクトでは技術のレクチャーをおこなう

## ⑧ 地域と連携した安全の創出

- ・草津まちづくり協議会が実施する夜間の防犯パトロールへの参加を継続しておこない、周辺地域および公園内の夜間パトロールを実施します。

## (2) 地域への配慮の考え方

### ① 交通警備業務

- ・土日祝やイベント開催時など来園者の多い日は、駐車場周辺での適切な警備員の配置を行い、安全誘導を実施します。特に来園者が多いイベントでの交通混雑時には、来園者以外の周辺住民の車両や業務車両の通行に支障が出ないように適切に交通整備を行います。
- ・交通警備において、苦情や事故等が生じた場合は責任をもって対応します。周辺のイベント等の把握に努めて車両通行に支障の出ないように交通警備を行います。
- ・交通警備員の配置箇所は町と協議します。また配置人数については業務仕様書に基づいて行い、別途必要な場合は交通誘導員を追加で配置します。

### ② 作業やイベントなどについての事前告知

- ・来園者の多い時やイベントで音が出る時などは、原則的に1週間前には近隣の方々に案内のポストインなどを行っての周知、さらに公園 HP お知らせ覧を用いて周知し、ご理解を頂くように努めます。
- ・また、民地に隣接している場所での高木の剪定や、法面での草刈り作業（4 回程程度/年）においても同様に隣接する家々に作業内容のご案内を配布および公園 HP お知らせ覧への掲載を通して周知を図ります。

#### 東口駐車場 全面駐車禁止のお知らせ

期間：7月21日（木）17：30 から  
7月22日（金）10：00 まで

駐車場周りの芝刈り作業に伴い、  
上記の期間、全面駐車禁止とさせていただきます。  
ご迷惑をお掛け致しますが、ご協力お願い申し上げます。  
(☆西口駐車場は開いております)  
草津川筋地公園マネジメント・パートナーズ  
(TEL：077-562-5010)

### ③ 違法駐車など

- ・公園及び公園周辺の駐車場の案内をしっかりと行い、違法駐車を発見した場合は警察に通報します。特に違反が起りやすい場所は、違反告知やポールを立てるなどして対処します。
- ・イベントなどで駐車場が不足する場合は、県や市と協議して臨時駐車場の確保に努め、民間の駐車場事業者とも協力して対処するように努めます。

#### 駐車禁止



近隣の皆様の迷惑になりますので  
この付近への駐車は  
お遠慮願います。

### ④ ゴミの持ち帰り運動

- ・公園利用に伴うゴミについては原則的に持ち帰って頂くように提案告知を行います。

### ⑤ 安全見守り活動

- ・公園巡回時には、子供や年配の方々の様子について、危険や体調の変化などが無いか、特に留意するように努めます。

### (3) 地域への貢献の実績

#### ① E-DESIGN の実績

- ・草津川跡地公園（区間 2、区間 5）の基本設計、実施設計、施工監理を受託
- ・草津市西渋川 1 丁目のショッピングセンターエイスクエアの外構設計、重点施工監理を受託
- ・草津川跡地公園（区間 6）の実実施設計他業務を受託

#### ② 京阪園芸の実績

- ・草津川跡地公園の区間 2 の植栽工事を東亜・三国 J V から受注して施工  
同じく、区間 5 の植栽工事について技術的助言・アドバイスを実施
- ・草津市追分町の新築物件フォレストローズ南草津 25 区画の外構工事を施工
- ・湖南農業高校の生徒の実習を毎年受け入れ  
2019 年度は 4 月～11 月の金曜日に学校が指定した 17 回実施  
2018 年度は同校の卒業生を 1 名採用

#### ③ 京阪グループの実績

##### A. 京阪電鉄不動産(株)の住宅建設による住民の増加など

- a. 戸建分譲事業として草津市追分町丸尾のフォレストローズ南草津 25 区画
- b. サブリース事業として京阪草津タウン 4 区画
- c. マンション分譲事業として以下の分譲販売
  - ・滋賀県草津市大路 1 丁目ファインフラッツ草津ザフロント 41 戸
  - ・滋賀県草津市大路 2 丁目ファインフラッツ草津ザレジデンス 47 戸
  - ・草津市野路 1 丁目ファインレジデンス南草津 70 戸



フォレストローズ南草津



京阪草津タウン



ファインフラッツ草津ザフロント

##### B. 琵琶湖汽船(株)の地元協力

- ・琵琶湖・鳥丸半島魅力向上活性化協議会に参加

草津鳥丸半島の活性化を推進するために必要な事業等を行うことを目的とする会議体。協議会の構成員は、当社のほか、草津市環境経済部商工観光労政課、草津市観光物産協会、草津市立水生植物公園みずの森、滋賀県立琵琶湖博物館、びわこビジターズビューロー、近江鉄道ほか

## (1) 誰もが安心して参画できる公園づくり

公園には、職業や年齢、国籍等の異なるさまざまな人が訪れますが、一人ひとりの立場に応じた適切な配慮が行われないと、不便な思いをさせることになり、安心できる場所ではなくなってしまう。高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が、安心して訪れ、快適に過ごすことができる公園となるように、適切に対応してまいります。

## ●公園は、多様な立場、属性、人種、性別の人方が集う場所

- ・社会的弱者、あるいは社会的マイノリティな方々を含め、多様な人々の活動と参画を促進する公園運営に尽力します
  - ①参加の機会づくり
  - ②活動の支援提供
  - ③マッチング情報の発信

## ① スタッフの接遇

公園を訪れる中で、さまざまなお手伝いが必要な方への接遇については、「公共サービス窓口における配慮マニュアル」（2005年 内閣府）に挙げられている障害のある方への対応の基本をもとに、公園スタッフは次のとおり対応します。障害の有無に関わりなく、加齢や傷病等に起因する心身機能の低下により不自由を感じている方、妊産婦やベビーカーを使用した小さなお子さんを連れている方などに対してもこれに準じて、適切かつ柔軟に対応します。

## ●相手の「人格」を尊重し、相手の立場に立って対応します

- ・相手の立場に立って、「明確に」「ていねいに」分かりやすい対応を心掛けます
- ・介助の方や手話通訳の方等ではなく、ご本人に直接対応するようにします
- ・何らかの配慮が必要と思う場合でも、思い込みや押しつけではなく、ご本人が必要と考えていることを確認します

## ●障害の有無や種類に関わらず、困っている方には進んで声をかけます

- ・窓口を訪れる方の障害の有無や種類は明確ではないため、常に来園者の中に障害のある方も含まれていることを念頭に置いて、困っていそうな状況が見受けられたら、速やかに適切な対応をするようにします
- ・障害の種類や内容を問うのではなく、「どのようなお手伝いが必要ですか」と、ご本人にたずねます



内閣府(障害者施設推進本部)マニュアルより

## ●コミュニケーションを大切にします

- ・コミュニケーションが難しいと思われる場合でも、敬遠したり分かったふりをせず、「ゆっくり」「ていねいに」「くり返し」相手の意思を確認し、信頼感の持てる対応を心掛けます

### ●柔軟な対応を心掛けます

- ・相手の話を良く聞き、必要なお手伝いを的確に把握し、「たらい回し」にしないようにします
- ・対応方法がよく分からないときは、ひとりで抱えずに周囲に協力を求めます
- ・想定外のことがおきても、素早く柔軟に対応します

### ●不快になる言葉は使いません

- ・差別的な言葉はもとより、不快に感じられる言葉や子ども扱いした言葉は使いません
- ・障害があるからといって、ことさら特別扱いした言葉は使いません

### ●プライバシーには立ち入りません

- ・障害の原因や内容について、必要がないのに聞いたりしません
- ・仕事上知り得た個人情報については、守秘義務を守ります

## ② 入手しやすく分かりやすい情報の提供

安心して公園に訪れていただくために、来園に必要な情報を分かりやすく入手できるようにします。

特に、トイレやおむつ交換場所、授乳スペースがどうなっているか、清潔なのかは、小さなお子さんがいるママやパパには来園を判断する上で、重要なポイントです。また、トイレの場所や園内の移動状況に関しては、誰にとっても事前に確認しておきたい情報なので、ホームページまたはSNS等で、写真付きで分かりやすく載せて、安心して来園していただけるようにします。

### 【情報提供の例】

- ・貸出し用の車いす、車いすでの利用時に通れる園路、多機能トイレや休憩場所の紹介と園内マップ
- ・乳幼児とその親が来園する際の遊び場、おむつ交換シートなどがある多機能トイレ、授乳室の場所やサービス内容などの紹介と園内マップ

## ③ 緊急時・災害時の対応

移動が困難な人、情報を得ることが難しい人、コミュニケーションが困難な人などにとって、緊急時や災害時には特に配慮が必要です。安全な移動ルートの確保、多様な手段による情報の提供、的確なコミュニケーションによる安全の確保など、様子を確認した上で、的確かつスピーディーな対応を行います。

- ・急に具合が悪くなった、ケガをした、パニックになっているなど、緊急の対応が必要である場合には、救援を行うことに努めます
  - ・救援を行う際は、緊急の連絡先やかかりつけ医の情報などを確認し、連絡します
  - ・ヘルプマークやヘルプカード等を持っている場合は、緊急時連絡先や必要な支援等が記載されている場合があるため、記載内容を確認の上対応します
  - ・地震や火災などの災害時には、利用者の安全を確認し、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人等が安全に避難できるよう誘導、介助を行います
- また、適宜一般の利用者にも誘導、介助の協力を求めます

#### ④ 研修、PDCA、ブラッシュアップ

接遇や対応について研修を行うとともに、利用者やスタッフから意見を収集し、適宜改善して、情報を全スタッフで共有します。

#### ⑤ その他の取組み

- ・車いす2台を事務所で貸し出します
- ・話し言葉に代わるツールとして絵を用いた「コミュニケーション支援ボード」・筆談具を事務所に準備して、障害のある人たちだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある障害者、外国人や高齢者、病気療養中の人、幼児などとの意思疎通を図ります
- ・おむつ交換台がある授乳室は、ママだけではなく、パパが使用することもできるように、授乳に限らず赤ちゃんのお世話スペースとして周知、活用します
- ・トイレと授乳室におむつ専用ゴミ箱を設置します
- ・教養室が空いているときは、休憩スペースとして開放することを検討します

